

第②次久米島町総合計画

後期基本計画

第2次久米島町総合戦略

2021
令和3年



2025
令和7年

夢
つむぐ
島

島人みんなで織り上げる未来

・・・町長あいさつ・・・

島人みんなで織り上げる未来を目指して

久米島町では、これまで平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とする「第2次久米島町総合計画基本構想」（以下「第2次基本構想」としています。）、並びに平成28年度から令和2年度までの5年間を計画期間とする「前期基本計画」及び「久米島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各種施策を推進してきました。

このたび前期基本計画と総合戦略が同時期に計画期間を終了するとともに、総合計画と総合戦略の目指す方向性は同一のものであること、そして行政改革大綱についても実効性を一層高めるために、後期基本計画及び総合戦略と一体的に策定することとしました。（以下「後期基本計画」としています。）

今回策定した後期基本計画は、行政のマネジメントのための計画と位置づけ、第2次基本構想で定めた行政の役割を具現化する「行政の計画」として策定作業を進めました。策定後の運用については、継続的な改善を行い、着実に町政の発展を図っていきます。

さらに、久米島町も持続可能な自治体であり続けるために、後期基本計画では、2015年に国連サミットで掲げられ、国や県でも推進しているSDGsの理念を取り入れました。SDGsは、「誰一人取り残さない」ことを念頭に、2030年までに持続可能なより良い世界を目指すものです。行政だけではなく、町民や民間企業と協力し、SDGsの17のゴールと169のターゲットを意識した事業展開を積極的に行うことにより、久米島町内外の方にとって住みやすく訪れやすいまちづくりを進めていきます。

現在、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症が社会全体に甚大な影響をもたらしており、経済・生活環境などあらゆる面において、新たな生活様式への転換が求められています。後期基本計画ではこのような状況も考慮いたしました。

結びに、後期基本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました町民の皆さまをはじめ、久米島町振興計画審議会の皆さまや関係機関の皆さまに、心からお礼を申し上げるとともに、今後も久米島町の発展のため格段のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月

久米島町長 大田 治雄



目 次

第1部 基本構想 1

第2次久米島町総合計画の将来像	2
総合計画の目標	3
総合計画の構成と期間	4
計画の位置づけと役割	4

第2部 後期基本計画 -第2次久米島町総合戦略- ... 5

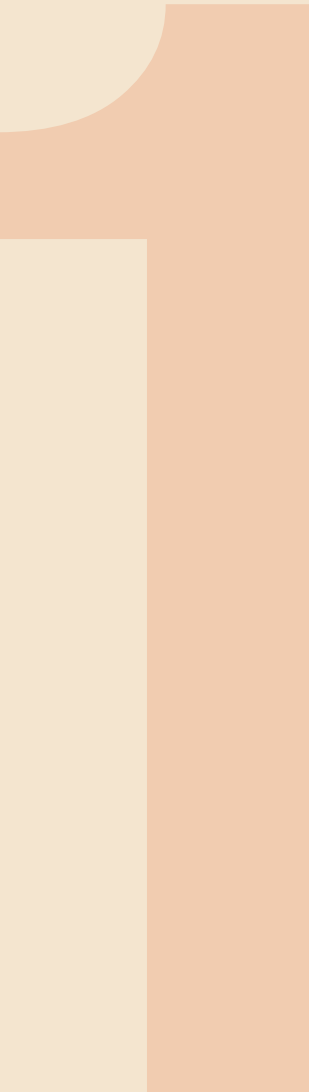
後期基本計画の施策体系	6
後期基本計画の見方	8
SDGsについて	10
「生まれる」世代のために	11
「育つ」世代のために	17
「学ぶ」世代のために	27
「働く」世代のために	39
「暮らす」すべての世代のために	53
「老いる」世代のために	77
「次世代」のために	85
「島を訪れる・島に帰る」人たちへ	103
目指そう指標 一覧表	115

第3部 行革大綱 -行財政経営- 121

行財政経営のこれからの取り組み	122
1.社会の変化に対応できる組織づくり及び人材の育成による 町民サービスの向上	124
2.行政のデジタル化による町民サービスの向上	126
3.持続可能な財政運営	128
4.公共施設マネジメント	130

第4部 参考資料 133

SDGs 施策対応表	134
久米島町振興計画審議会	136
計画策定の経過	137



第 1 部

基 本 構 想



第2次久米島町総合計画の将来像



島人みんなで織り上げる未来

久米島が先人たちから受け継いできた強さとは何でしょう。

古来先人たちが守り抜いてきた海と土と豊富な水。

農業・漁業での自給自足を礎とする独立国家、それがかつての久米島でした。

周辺の強大な国家と対等に渡り合い、交易で繁栄し、多様な文化を受け入れ育む。

教育と技を重んじて「ひとづくり」「ものづくり」を推し進め

豊かな暮らしを営んでいた久米島。

その基盤となる豊かな自然と共に生きる智慧は、

今も、久米島の遺伝子としてこの島に残っています。

激変する社会の情勢の中で、久米島の遺伝子に深く根付いた「久米島らしい未来」を描く。

食糧の自立、経済の自立、エネルギーの自立、文化・教育の自立。

島人同士がつながり、さらに、島外の智慧や力とつながる。

抜本的な解決が必要な「人口減少に歯止めをかける」という課題と向き合いながら

さまざまな住民ニーズを抽出し、その解決策を考え、島人の幸福を築くには

「内を充たし、外からいざなう」ための取り組みが必要です。

『すべての人が生き活きと暮らせる島』になること。

『外から人を惹きつける島』になること。

数々の工程を経て丁寧に織り上げられるからこそ美しい「久米島紬」のように、

島人一人一人が強い意志と絆でつながり合い、縦系と横系のように夢と営みを交差させ

「つむぐ」ことで、久米島の未来を織り上げる。

『夢つむぐ島』 一島人みんなで織り上げる未来— が今、始まります。

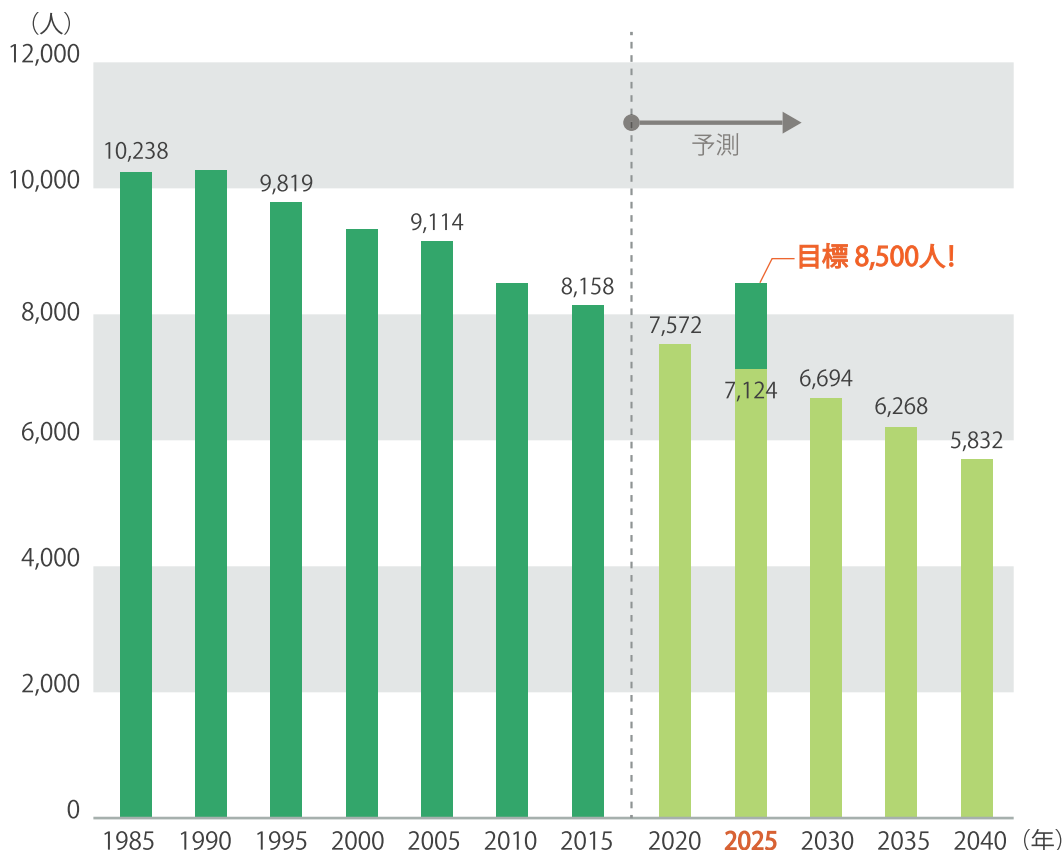
総合計画の目標



2025年（令和7年）の人口目標を8,500人とします。

「住民がずっと住み続けられる島づくり」と「交流人口・定住人口の増加」はもはや個別の政策ではなく、あらゆる分野に関わる人が立場を超えて密接に連携して、初めて実現できるものです。

第2次久米島町総合計画では、2025年（令和7年）の島の目標人口を8,500人とし、そこに向けて官民一体となり、それぞれが「自分ごと」としてこの問題に取り組んで行くことを目指します。



すべての世代が生き活きと暮らせる島づくり

島で生まれ育った人、帰ってきた人、移住してきた人。縁あって島に暮らす、すべての人が生涯を通して、安全で生き活きと暮らすことができる島を目指します。

毎年100人のスケールで人口減少する理由の背景を探っていくと、単に産業が活性化し雇用が増えればいい、単に医療体制を充実させれば解決するという単純な施策では済まないことに気付きます。出産から子育て、教育、仕事、老後まで人生のそれぞれの局面でいくつもの「島を離れる」理由となる問題があり、それらの課題は複雑に絡み合っています。当然、それを解決するための施策も総合的・多角的に連携するものでなくてはなりません。

総合計画の構成と期間

平成28年3月に策定した「第2次久米島町総合計画」は、将来にわたってすべての世代が生き生きと暮らすことができるまちの実現を目指し、久米島町が目指す将来像を示すとともに、それをいかにして実現するかという44の施策を掲げた最上位計画です。

久米島町の総合計画は、「基本構想」・「基本計画」・「実施計画」の三層構造としています。

【基本構想（計画期間10か年度）】

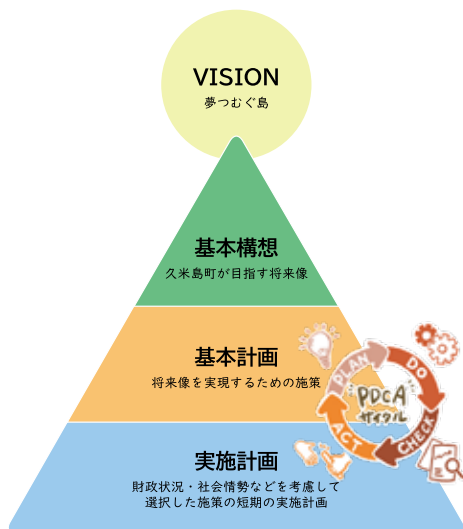
まちづくりの基本方針と施策の大綱を総括的に取りまとめたものです。

【基本計画（計画期間5か年度）】

基本構想を実現するための施策の内容を体系的に示したものです。将来の社会経済情勢の変化などに的確に対応するため、中間年次となる令和2年度に見直しを行います。

【実施計画（計画期間3か年度）】

基本計画で定めた施策内容を計画的かつ効率的に実施するため、向こう3か年度の具体的な事業内容を明らかにしたものです。現実と長期計画のズレを埋め、財政状況に応じて事業の見直しや部分的な修正を行うことができるよう、毎年度PDCAサイクルによって見直しを行います。



計画の位置づけと役割

総合計画は、久米島町の最も上位の計画であることを踏まえ、久米島町全体のまちづくりを進めるにあたって、総合計画、総合戦略及び行革大綱を一体的に包括して改定します。



総合計画は、町の行政施策を総合的・体系的に示す計画です。基本構想と基本計画及び実施計画によって構成されます。



地方創生を推進するため、人口減少や東京圏への人口集中を食い止め、地方を活性化するための市町村計画です。人口の目標を示す人口ビジョンと、それを実現するための施策を示す総合戦略により構成されます。



行財政改革に関する基本的な考え方や、取り組みを実行していくための方針を定めたものです。



第 2 部

後期基本計画

— 第2次久米島町総合戦略 —



後期基本計画の施策体系

将来像

島づくりの目標

夢
つむぐ島

島人みんなで織り上げる未来

人を惹きつける島

すべての世代が生き活きと暮らせる島

生まれる
世代のために



安心して「出産」できる島の実現

育つ
世代のために



安心して「子育て」できる島の実現

学ぶ
世代のために



幼児・小中高等学校教育の充実

生涯教育の充実

働く
世代のために



連携する産業振興

働く質の向上

暮らす
すべての世代
のために



安心・快適な生活環境づくり

島民の健康づくり推進

共に暮らせる島づくり

老いる
世代のために



高齢者福祉の充実

次世代
のために



次世代のための島づくり

総合計画実現に向けて

島を訪れる
島に帰る
人たちへ



久米島らしさの醸成

情報発信力の強化

交流人口・移住定住人口の増大

施策の柱

1.	出産できる島の実現	12
2.	出産サポートの充実	14
3.	子育て支援体制の充実	18
4.	子どもの遊び場の充実	20
5.	発達障がい児の支援充実	22
6.	子ども健康プロジェクトの推進	24
7.	幼児教育の充実	28
8.	小中学校教育の充実	30
9.	高校教育の充実	32
10.	文化・社会教育環境の充実	34
11.	生涯学習体制の充実	36
12.	連携する産業振興体制づくり	40
13.	くらしの立つ農業地域づくり	42
14.	多面的な漁業の振興	44
15.	製造業の振興	46
16.	商業・サービス業の振興	48
17.	働きやすい職場環境の整備	50
18.	交通の便利な島づくり	54
19.	安全な水の安定供給	56
20.	ゴミのない島づくり	58
21.	環境を守る下水道・し尿処理	60
22.	安心して暮らせる島づくり	62
23.	災害に強い島づくり	64
24.	快適な住環境づくり	66
25.	島民の健康づくり推進	68
26.	スポーツ・レクリエーションの振興	70
27.	福祉の充実	72
28.	多様なニーズに応えられる町づくり	74
29.	高齢者の生きがいある暮らしづくり	78
30.	高齢者の健康増進	80
31.	高齢者が安心して暮らせる島づくり	82
32.	新しいビジネスの創出	86
33.	未来を見据えた人材育成	88
34.	伝統文化の継承と文化遺産の保護・活用	90
35.	食料自給率の向上	92
36.	再生可能エネルギーによるエネルギー自給率向上	94
37.	島の豊かな自然資源の保護・活用	96
38.	連携する総合計画推進	98
39.	住民にわかりやすく効率的な行財政運営	100
40.	久米島らしいライフスタイル・ブランドの確立	104
41.	情報発信力の強化	106
42.	交流文化の推進	108
43.	観光の振興	110
44.	移住定住促進体制の充実	112

後期基本計画の見方

後期基本計画の各施策については、下記のような構成となっています。

島づくりの目標

8つの分野と関連する目標を示しています。

施策大項目

総合計画で示す44の施策の柱を示しています。

分野別アイコン

8つの分野の目標アイコンとテーマカラーを示しています。

「生まれる」世代のために ▶ 安心して「出産」できる島の実現



【施策1】

出産できる島の実現

SDGs

施策に関連するSDGsのアイコンを表示しています。



現状と課題

現状と課題

町の現状や課題、取り組み状況を記載しています。

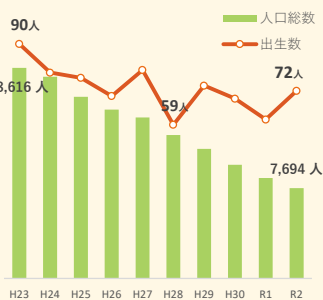
出生数

- ◆直近10年間における本町の出生者数は、平成23年の90名が最も多く、令和2年は72名となっています。
- ◆人口減少に伴い、若い年代が減少することで、出生者数や合計特殊出生率が低くなることが想定されています。

出産体制

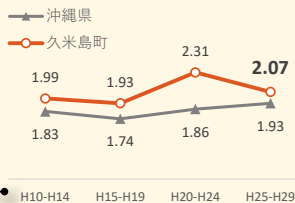
- ◆不妊治療は島外の医療機関を複数回受診する必要があるため、経済的・心理的負担が大きくなっています。
- ◆令和3年現在、本島から巡回診療を行う医師により、島内での妊婦健診受診は可能ですが、より精密な検査や突発的な事態には対応できないため、島外の医療機関を受診する必要があります。
- ◆分娩可能な医療機関が島内になく、分娩時期においては、島外での長期滞在となるため、妊婦とその家族への経済的・心理的な負担があります。

人口と年間出生数の推移



資料：住民基本台帳（12月末時点）

合計特殊出生率



資料：人口動態保健所・市町村別統計

関連データ

現状に関連するグラフや表、写真等を掲載しています。

施策の展開

施策の取り組みの方向性や、具体的に取り組んでいくことを記載しています。

担当課（主導又は司令塔となる課）アイコン

施策の実施を担当する課、又は主導、司令塔となる課を示しています。

町民 町民課	産業 産業振興課	プロ プロジェクト推進課	消防 消防本部
税務 税務課	農業 農業委員会	商観 商工観光課	博物 久米島博物館
福祉 福祉課	出納 出納室	議会 議会事務局	給食 学校給食センター
建設 建設課	総務 総務課	水道 上下水道局	空港 空港管理事務所
環境 環境保全課	企画 企画財政課	教育 教育課	

施策の展開

安心して出産できる体制の整備 福祉

- ◆不妊治療や妊婦健診の受診費・渡航費の助成を継続・拡充します。
- ◆島内でも安心して妊娠期を過ごせるよう医療体制の充実を図ります。
- ◆多胎妊娠や若年妊娠等、様々な状況の妊婦が安心して出産を迎えられるように支援を行います。
- ◆町外の医療機関等で出産する際に、安全で安心した出産を迎えられるように渡航費・滞在費等の一部助成（出産助成金）を継続し、妊産婦やその家族の経済的負担の軽減を図ります。

目指そう指標

合計特殊出生率

基準値（平成 29 年） 目標値（令和 7 年）
2.07 2.31

出生数

基準値（令和元年） 目標値（令和 7 年）
62 人 85 人

目指そう指標

施策や施策に基づき実施される事業は多岐にわたりますが、「目指そう指標」はそれぞれの施策や事業に対する目標達成の指標（KPI）を示すものです。施策に対する「目指そう指標」の一覧表は 115 ～ 120 ページに掲載しています。

K P I : 重要業績評価指標

(Key Performance Indicator)

K P I とは、目標を達成する上で、その達成度合いを計測・監視するための定量的な指標です。

フリースペース

自由に書き込めるメモ欄
施策の進捗や課題、気が付いたことを記入できます。

キーワード

施策の関連するキーワードを解説しています。

≡ keyword ≡

合計特殊出生率
15 歳から 49 歳の女性の、年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子供を産むかを表しています。

SDGs 持続可能な開発目標

誰ひとり取り残されことなく、人類が安定してこの地球で暮らし続けることができるように、世界のさまざまな問題を整理し、解決に向けて具体的な目標を示したのが、SDGs (Sustainable Development Goals- 持続可能な開発目標) です。

2015年に国連で採択され、国際社会は一致団結して、2030年までにこの目標を達成しよう、と合意しました。久米島町としても、SDGsの推進に積極的に努力していきます。

SDGs 17の目標

1 貧困をなくそう 	1. 貧困をなくそう 地球上のあらゆる形の貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう 	10. 人や国の不平等をなくそう 世界中から不平等を減らそう
2 飢餓をゼロに 	2. 飢餓をゼロに 飢えをなくし、だれもが栄養のある食糧を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう	11 住み続けられるまちづくりを 	11. 住み続けられるまちづくりを だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくらう
3 すべての人に健康と福祉を 	3. すべての人に健康と福祉を だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう	12 つくる責任 つかう責任 	12. つくる責任 つかう責任 生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう
4 質の高い教育をみんなに 	4. 質の高い教育をみんなに だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう	13 気候変動に具体的な対策を 	13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう
5 ジェンダー平等を実現しよう 	5. ジェンダー平等を実現しよう 男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし、可能性を広げよう	14 海の豊かさを守ろう 	14. 海の豊かさを守ろう 海の資源を守り、大切に使う
6 安全な水とトイレを世界中に 	6. 安全な水とトイレを世界中に だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう	15 陸の豊かさを守ろう 	15. 陸の豊かさを守ろう 陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使う
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようなしよう	16 平和と公正をすべての人に 	16. 平和と公正をすべての人に 平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくらう
8 働きがいも経済成長も 	8. 働きがいも経済成長も みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	17. パートナリシップで目標を達成しよう 世界のすべての人がみんなで協力しあい、これらの目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

参考：公共財団法人 日本ユニセフ協会 SDGs CLUB

島づくりの目標

生まれる 世代のために

安心して「出産」できる島の実現

施策 1 出産できる島の実現

施策 2 出産サポートの充実



「生まれる」世代のために▶安心して「出産」できる島の実現



〔施策1〕

出産できる島の実現



現状と課題

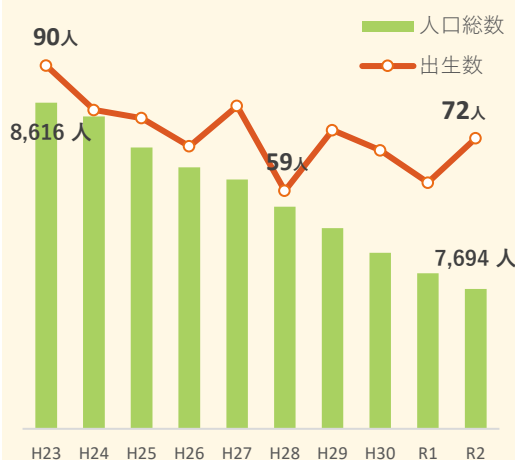
出生数

- ◆直近10年間における本町の出生者数は、平成23年の90名が最も多く、令和2年は72名となっています。
- ◆人口減少に伴い、若い年代が減少することで、出生者数や合計特殊出生率が低くなることが想定されています。

出産体制

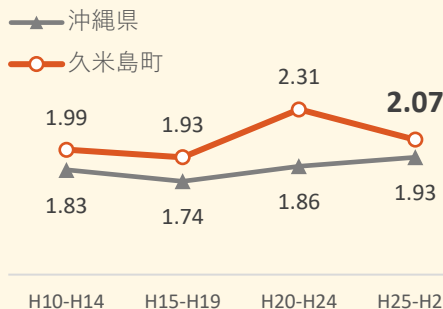
- ◆不妊治療は島外の医療機関を複数回受診する必要があるため、経済的・心理的負担が大きくなっています。
- ◆令和3年現在、本島から巡回診療を行う医師により、島内での妊婦健診受診は可能ですが、より精密な検査や突発的な事態には対応できないため、島外の医療機関を受診する必要があります。
- ◆分娩可能な医療機関が島内になく、分娩時期においては、島外での長期滞在となるため、妊婦とその家族への経済的・心理的な負担があります。

人口と年間出生数の推移



資料：住民基本台帳（12月末時点）

合計特殊出生率



資料：人口動態保健所・市町村別統計

施策の展開

Free Space

安心して出産できる体制の整備 **福祉**

- ◆不妊治療や妊婦健診の受診費・渡航費の助成を継続・拡充します。
- ◆島内でも安心して妊娠期を過ごせるよう医療体制の充実を図ります。
- ◆多胎妊娠や若年妊娠等、様々な状況の妊婦が安心して出産を迎えられるように支援を行います。
- ◆町外の医療機関等で出産する際に、安全で安心した出産を迎えられるように渡航費・滞在費等の一部助成（出産助成金）を継続し、妊産婦やその家族の経済的負担の軽減を図ります。

目指そう指標

合計特殊出生率

基準値（平成 29 年）

2.07

目標値（令和 7 年）

2.31

出生数

基準値（令和元年）

62 人

目標値（令和 7 年）

85 人

≡ keyword ≡

合計特殊出生率

15 歳から 49 歳の女性の、年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子供を産むかを表しています。

「生まれる」世代のために▶安心して「出産」できる島の実現



「施策2」

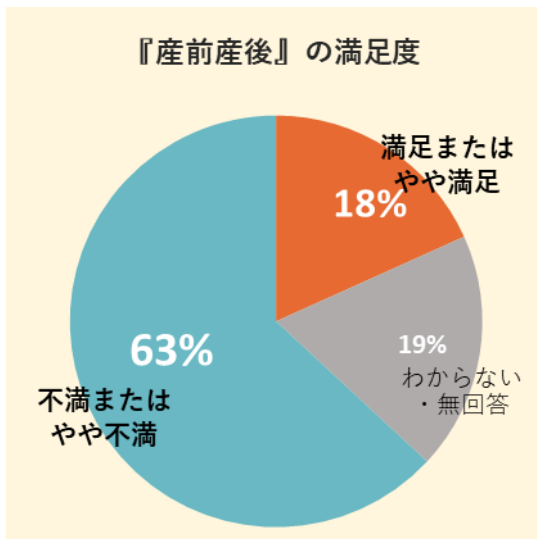
出産サポートの充実



現状と課題

産前産後の支援

- ◆妊婦やその家族をとりまく環境が多様化しており、特に若年妊婦へのサポートが必要となっています。
- ◆親子健康手帳（母子手帳）交付時に妊娠期や乳幼児期の生活・栄養について、保健師と栄養士から相談・指導を行っています。
- ◆島内における産前産後の母子へのサポート体制が必ずしも十分ではありません。
- ◆第2子以降の出産の場合、先に生まれた子を島に残すことが、妊婦とその家族の不安となっています。
- ◆住民アンケートにおいても、産前産後の満足度が18%と低い結果となっています。



資料：令和2年住民アンケート（n=482）

出産に関する経済的支援一覧		
種類	支援目的	助成額等
出産助成金	妊産婦及びその家族の経済的負担の軽減を図る。	25万円
出産奨励金	町の人口増加の促進を図る。	第1子 5万円 第2子 10万円 第3子 15万円 第4子以降 20万円
出産祝品贈呈	子どもの健やかな成長の促進を図る。	紙おむつ、布おむつ、粉ミルクの購入券(6万円分)

資料：福祉課資料

施策の展開

Free Space

妊娠に関する知識の普及 **福祉**

- ◆思春期から性についての正しい知識を身に付け、妊娠・出産について主体的に考える基礎を作るための思春期教育を推進します。

母子保健の充実 **福祉**

- ◆保健師と栄養士が連携し、親子健康手帳（母子手帳）交付時から育児期まで切れ目なく、生活や栄養等について相談・支援を行います。

妊産婦への支援とケア **福祉**

- ◆父母学級等を開催し、出産・子育てに関する不安等を取り除き、安心して出産を迎えられるよう支援します。
- ◆出産奨励金や出産祝い品等を交付し、子育て家庭へ経済的な支援を行います。
- ◆産婦健診や産婦・新生児訪問など、産後ケア等の実施により、肉体的・精神的に不調を感じる産婦を早期に発見し、ケアや治療に努めます。

目指そう指標

低体重児出生率

基準値（令和元年）

11.3%

目標値（令和7年）

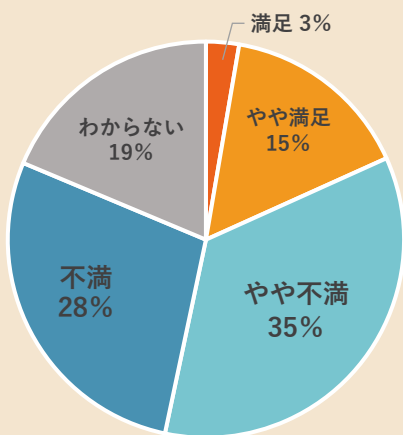
9.4%



住民アンケート結果①

—— 生まれる世代のために編 ——

Q. 久米島町での出産についてどう感じていますか？



- 1位：やや不満 35%
- 2位：不満 28%

出産の環境について、「やや不満」および「不満」の合計が、6割と満足度が低い結果となりました。

理由をみると、島内に産婦人科がないため、出産や不妊治療を行う際に困るという意見が多くみられました。また、島内で出産、不妊治療ができないために生じる経済的・精神的負担や、出産に対する職場の理解不足など、様々な要因があるようです。

希望出生に向けた取り組みが大きな課題となっています。

みなさんの声



- 産婦人科や乳児の病院が無く、島内でお産や不妊治療ができない。(30代女性)
- 出産のために島外へ出なければならないため、金銭面・精神面での不安がある。(40代女性)
- 緊急時や何かあった場合の通院など、どこに相談すればよいのか対応に不安がある。(40代女性)
- 出産休暇が取れず仕事をやめなければならない。(30代女性)
- 2人目以降の出産時が心配…。(40代男性)

計画づくりの流れ

これまでの計画



ステップ1 『前期計画の検証』

- ・住民アンケート
- ・職員ヒアリング

現在の生活はどう？

施策の効果はどう？

これからどんな島をつくっていきたい？

ステップ3 『方向性の確認』

- ・久米島町 振興計画審議会
- ・庁内検討委員会

計画の方向性に過不足はないか？

新たな5年間の計画



ステップ2 『新たな施策づくり』

- ・住民ワークショップ
- ・職員ワーキンググループ

行政としてどう島をサポートする？

島づくりの目標

育 つ

世代のために

安心して「子育て」できる島の実現

- | | |
|-----|----------------|
| 施策3 | 子育て支援体制の充実 |
| 施策4 | 子どもの遊び場の充実 |
| 施策5 | 発達障がい児の支援充実 |
| 施策6 | 子ども健康プロジェクトの推進 |



「育つ」世代のために ▶ 安心して「子育て」できる島の実現



「施策3」

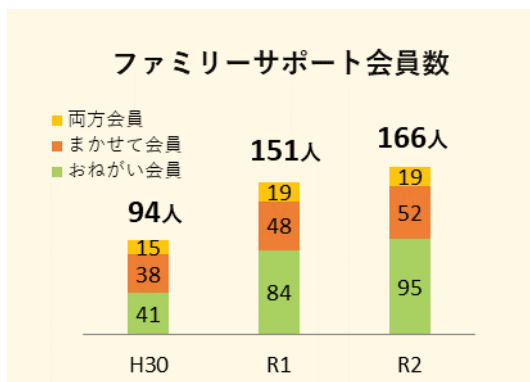
子育て支援体制の充実



現状と課題

子育て支援

- ◆子育てに係る費用への助成や、放課後児童クラブの開所など、ひとり親世帯や共働き世帯の子育て支援に取り組んでいます。
- ◆平成30年4月から、地域で子育てをサポートする組織として、ファミリーサポートセンターを開設し、子どもの一時預かり支援に取り組んでいます。
- ◆子育てに係る関係機関等と連携し、児童虐待の防止・早期発見や子ども医療の充実、医療費の軽減対策など支援の充実・強化に取り組む必要があります。
- ◆乳幼児健診、5才児健診、就学時健診において支援が必要と判断された親子への支援として親子支援事業を平成27年度より実施しているほか、保護者の子育て支援の場を提供しています。
- ◆住民アンケートにおいては、島での子育てのしやすさが評価されています。今後は保健・医療体制の充実、教育・保育の質の向上など、さらなる子育て支援の充実が求められています。
- ◆平成30年度久米島町子ども調査報告書による本町の貧困世帯の割合は27.4%となっており、沖縄県の25%を2.4ポイント上回っています。



資料：福祉課統計資料

保育環境

- ◆保育環境の充実を図るため、公立の保育機関だけではなく、民間の保育園等への支援と連携により、より質の高い保育環境の確保に取り組む必要があります。
- ◆乳幼児教育や発達の気になる子への対応のため、保育士や幼稚園教諭の研修を充実させる必要があります。
- ◆母子保健推進員による乳幼児健診等で早期に発見した、支援が必要な親子の家庭への訪問や、平成30年度から実施している各保育所での歯みがき教室を今後も継続的に取り組む必要があります。

施策の展開

Free Space

子育て支援の充実 **福祉** **教育**

- ◆引き続き子育てに係る費用への助成や放課後児童クラブを開所するほか、ファミリーサポートの利用しやすい仕組みづくりに取り組むなど子育て支援に努めます。
- ◆子育て支援施設の利用にかかる経費の負担軽減に努めます。
- ◆児童虐待の防止・早期発見など関係機関との連携を図り、切れ目のない支援に取り組めます。
- ◆子どもの医療費の通院対象年齢を中学校卒業まで拡大し、子育て家庭の経済的負担の軽減に努めます。
- ◆親子支援事業（子育て相談、親子療育、子育て講座）の周知に努めるとともに、内容や実施場所の充実を図ります。
- ◆子育てに関する情報や活動、支援を包括的に推進するため、新たな組織体制を検討します。
- ◆乳幼児健康診査について周知徹底を図り、受診率の向上に努めます。
- ◆貧困状態にある子育て世帯に対し、必要な支援を検討します。

保育・幼児教育の充実 **福祉** **教育**

- ◆園児・幼児が安全・安心で楽しい保育園・幼稚園生活を過ごせるよう環境整備に努めます。
- ◆保育士の質の向上や関係機関と連携強化を図り、保育環境を充実させることで、園児・児童の健やかな成長・発達を促進します。
- ◆待機児童の解消に必要な保育士の確保に努めます。
- ◆快適な保育・幼児教育が図れるよう幼稚園と保育園の2つの機能を持ち合わせた認定こども園の設置を推進します。
- ◆地域に根差した母子保健推進員の活動を強化するため、人員の増加及びスキルアップを推進します。

目指そう指標

ファミリーサポ
ート利用件数

基準値（令和元年）

141 件

目標値（令和7年）

160 件

Keyword

ファミリーサポートセンター
育児や介護において、
援助を受けたい人で行い
たい人との橋渡しをし、
相互援助が円滑に行われ
るよう調整を行う組織。
または、その制度のこと。

認定こども園

就学前の子供に幼児教
育と保育の両方を提供し、
また地域における子育て
支援事業を行う施設とし
て、都道府県知事の認定
を受けた施設のこと。

「育つ」世代のために▶安心して「子育て」できる島の実現



「施策4」

子どもの遊び場の充実



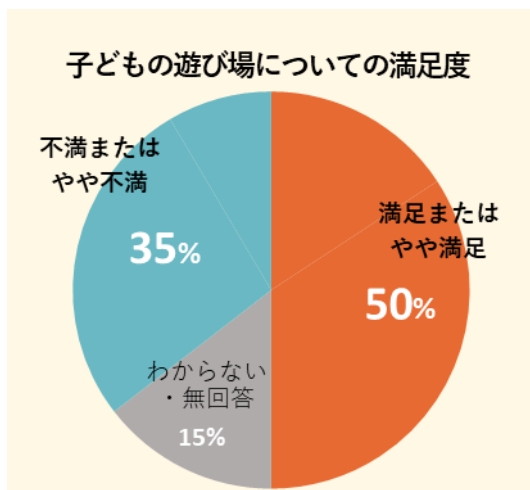
現状と課題

子どもの遊び場

- ◆公園は、子どもたちにとって魅力的な遊び場で、アクティビティ、レクリエーションの他、放課後の子どもたちの居場所として利用される重要な公共空間であることから、遊具を含む施設の維持管理並びに防災・防犯への対策を徹底する必要があります。

子どもの居場所

- ◆放課後児童クラブの運営に対する費用に助成を行っています。
- ◆公園や学童クラブなど、子ども達が集まる施設並びに遊び場の適切な維持管理、ニーズに応じた環境の改善や機能充実を行い、子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所を確保し、子育て環境の向上を図る必要があります。



資料：令和2年住民アンケート（n = 482）



仲里公園（令和3年供用開始）



ふれあい公園（平成29年供用開始）

施策の展開

Free Space

子どもの遊び場の充実 **建設** **環境** **総務**

- ◆公園内の遊具を充実させ、気軽に安全・安心に遊べる憩いの場の確保に努めます。
- ◆地域の拠点となる公民館等は、放課後の居場所、地域交流・コミュニティの場として活用を図ります。
- ◆公園などの子ども達が集まる施設の安全点検や定期的なパトロールを実施し、引き続き安全・安心な施設運営に努めます。

子どもの居場所の充実 **教育** **福祉**

- ◆放課後児童クラブの活動に対する支援を継続します。
- ◆学年の違う仲間や大人との世代間交流や、様々な体験を通じた交流など、つながりを深める活動を推進します。
- ◆無料で学習サポートを実施している中学生対象の「まなびや」は、学習はもとより、居場所の役割も担っていることから、継続して運営を行います。

目指そう指標

子どもの遊び場の
満足度
(住民アンケート)

基準値（令和２年）

50%

目標値（令和７年）

80%

≡ keyword ≡

アクティビティ
活気。活動。特に、リゾート地などでのさまざまな遊びのこと。

レクリエーション
仕事・勉強などの肉体的・精神的疲労をいやし、元気を回復するために休養をとったり娯楽を行ったりすること。

「育つ」世代のために ▶ 安心して「子育て」できる島の実現



〔施策5〕

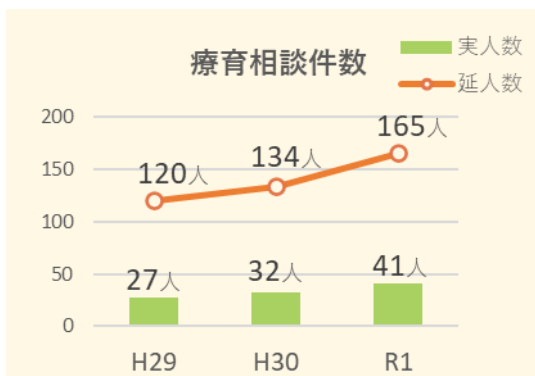
発達障がい児の支援充実



現状と課題

発達障がい児への支援

- ◆発達障がい児等を支援する放課後等デイサービス・児童発達支援多機能型事業所が令和2年5月に開所し、サービスの利用が可能となっています。
- ◆発達障がい児の早期療育を推進するため、外来医療費の自己負担に対して助成を実施し、保護者の経済的負担の軽減に取り組んでいます。
- ◆発達障がいへの理解促進のため、発達障がい専門職による町民及び支援者向けの講演会を行う必要があります。



資料：福祉課統計資料

- ◆平成27年度から子育て相談、親子療育及び子育て講座を実施し、親子への支援をしています。

発達障がい児の教育

- ◆年々増加する支援が必要な幼児児童生徒に対し、それぞれの発達に応じた必要な支援策を講じていくことが求められています。
- ◆支援を必要とする子の在籍する小中学校の各学級に対して、学級運営が円滑に行えるよう、生活支援や安全確保などの学習活動上のサポートを行う特別支援教育支援員を配置しています。

施策の展開

Free Space

発達障がい児とその家族へのサポート **福祉** **教育**

- ◆発達障がい児を支援するサービスの充実と周知・普及に努めます。
- ◆外来医療費自己負担への助成の継続により、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、心理的負担の軽減にも努めます。
- ◆引き続き、親子への支援を通して、発達障がい児とその家族へのサポートに努めます。
- ◆保護者及び児童生徒が安心して生活を送ることができる体制づくりの強化に努めます。

発達障がいへの理解促進 **福祉** **教育**

- ◆シンポジウムや講演会を通じて、発達障がい児への理解や支援に対する周知・普及に努め、島民一人ひとりが障がい児をサポートできるコミュニティづくりを推進します。
- ◆福祉課及び教育委員会と関係機関で連携し、発達障がいに対する理解促進や支援充実に努めます。

発達障がい児の就学支援 **教育**

- ◆就学教育相談会を継続実施し、発達に不安を抱えている保護者に対し早期からの就学・教育相談を行い、幼児の適性かつ円滑な就学の援助に努めます。
- ◆特別支援教育支援員の配置を継続していくとともに、支援員の研修会等を充実させ、支援員の質の向上に努めます。
- ◆特別支援教育就学奨励費の給付を継続し、保護者の経済的負担を軽減するとともに、特別支援教育の普及奨励に努めます。

目指そう指標

5歳児健診対象児童のうち、要フォローと診断された児童への支援率

基準値（令和2年）

100%

目標値（令和7年）

100%

保育所・園における保育の質の向上（保育士研修参加者の割合）

基準値

—

目標値（令和7年）

90%

※令和3年度より集計開始のため基準値の設定はありません。

≡ keyword ≡

放課後等デイサービス
障がい児を対象に、放課後や長期休暇中において生活技能の向上のために必要な訓練や社会との交流の促進等を行う。

「育つ」世代のために ▶ 安心して「子育て」できる島の実現



「施策6」

子ども健康プロジェクトの推進



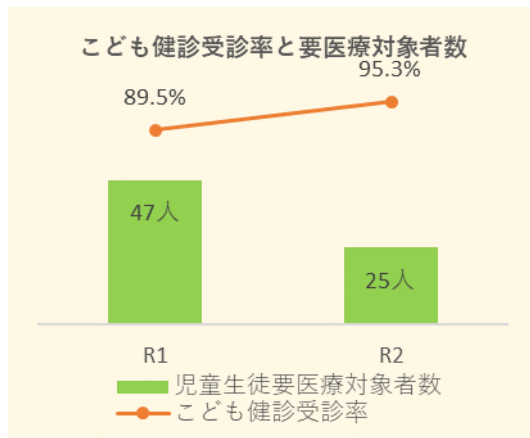
現状と課題

子どもの生活習慣病

- ◆本町における成人の特定健診受診者の約7割が糖尿病・糖尿病予備軍となっています。
- ◆大人と同じ生活をしている子どもたちの健康も危機的状況にあるという懸念から、平成21年より児童生徒の採血検査等を行う「子ども健診」を実施しています。
- ◆健診では毎年約2割の子どもがインスリン値異常などの糖尿病予備軍であり、全国と比較して10倍以上の異常率であることがわかっています。
- ◆将来の生活習慣病を予防するために、小児科医師による健康教室や保健師・栄養士による個別指導を実施し、子どもの生活改善に取り組んでいます。

子どもの健診結果の管理・分析

- ◆平成22年より乳幼児期から高校生までの健診結果の一本化を実施しています。
- ◆蓄積した健診結果データから、本町における子どもたちのデータ分析を実施しています。
- ◆分析結果より有効な手立てを見出し、周産期から乳幼児期、学童期、思春期、成人期等の各ライフステージの保健事業に活用・展開していく必要があります。



資料：福祉課統計資料

施策の展開

Free Space

子どもの健全な身体づくり **福祉** **教育** **給食**

- ◆子ども健診の実施及び事後経過観察を学校と連携して行い、健診異常率の改善に努めます。
- ◆小中高校と連携し、学校教育の中で、生活習慣病や健康づくりへの学習理解の促進に引き続き取り組むとともに、子どもの生活改善を推進します。
- ◆子どもの健康診断の受診を積極的に実施し、継続的な健診結果の収集や指導結果のデータ化、結果分析等を通じて、子どもの健全な身体づくりや保健事業への展開に努めます。

目指そう指標

糖尿病になる可能性があり生活の改善が必要な子の割合【小5】

基準値（令和元年）

30.1%

※基準値は過去2年間の最低値を設定しています。

目標値（令和7年）

27%

糖尿病になる可能性があり生活の改善が必要な子の割合【中1】

基準値（令和2年）

33.3%

※基準値は過去2年間の最低値を設定しています。

目標値（令和7年）

30%

keyword

ライフステージ

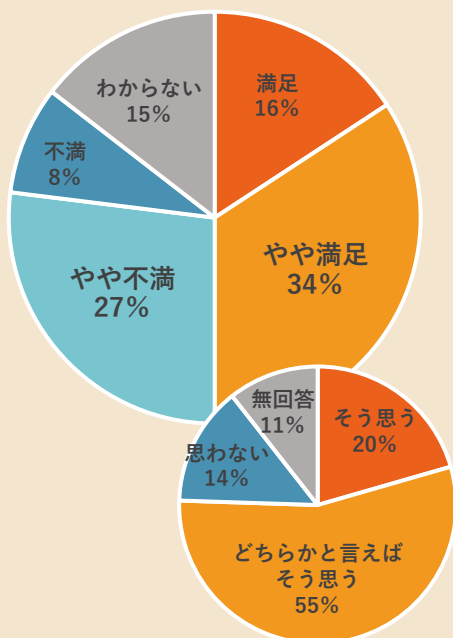
人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられます。



住民アンケート 結果②

—— 育つ世代のために 編 ——

Q. 久米島町での遊び場についてどう感じていますか？



● 1位：やや満足 34%

● 2位：やや不満 27%

Q. 子育てはしやすいと思いますか？

● 1位：どちらかと言えばそう思う 55%

● 2位：そう思う 20%

子どもの遊び場に関して、「満足」および「やや満足」の合計が半数に留まったものの、7割以上の回答者が、町での子育てはしやすいと感じていることがわかりました。

理由をみると、自然がたくさんあり、子育て環境に良いとする意見が多くあがった一方、地域によって子どもが歩ける距離への公園の設置や雨の日に利用できる屋根のある空間への要望も見られました。

公園や子育て支援施設などの立地などを踏まえて、子育て世帯が住みよい地域づくりが課題となっています。

みなさんの声



- 自然がたくさんあり、子育て環境としてよい。（40代女性）
- 安全に遊べる遊具や、雨の日などに遊べる屋内施設などがほしい。（30代男性）
- 各校区など、子ども自身で行くことができるように公園を分散して配置してほしい。（30代女性）
- 障がいのある子どもたちも一緒に活動できるよう、特別支援教育を進めてほしい。（50代女性）
- 図書館に学童、児童デイ、さらに近々こども園もでき、島での子育てが充実してきている。（50代女性）

計画づくりの一幕



フォトギャラリー

住民ワークショップ①

久米島町の産業分野を担う地域経済5団体*の方々とともに、島の現状や課題、未来について話し合いました。

*地域経済5団体：久米島商工会、久米島漁業協同組合、JAおきなわ久米島支店、久米島町観光協会、久米島紬事業協同組合



島づくりの目標

学 ぶ

世代のために

幼児・小中高等学校教育の充実

- | | |
|------|-----------|
| 施策 7 | 幼児教育の充実 |
| 施策 8 | 小中学校教育の充実 |
| 施策 9 | 高校教育の充実 |

生涯教育の充実

- | | |
|-------|--------------|
| 施策 10 | 文化・社会教育環境の充実 |
| 施策 11 | 生涯学習体制の充実 |



「学ぶ」世代のために▶幼児・小中高等学校教育の充実



「施策7」

幼児教育の充実



現状と課題

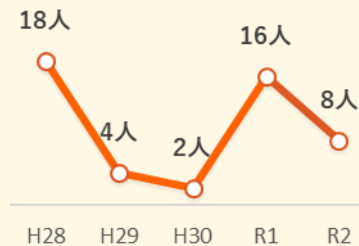
幼児教育の重要性

- ◆幼児教育の負担軽減や生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育を推進するため、令和元年10月より幼児教育の無償化を実施しました。
- ◆様々な研究結果より、幼児期に質の高い幼児教育を受けることの重要性が示され、幼児教育の現場にはより一層の保育の質の向上と、教材などを含む環境整備が求められています。

子育て支援機関との連携

- ◆子育て支援に係る関係機関等との連携を深め、保育士の確保や育成、預かり保育など、保育環境の向上及び切れ目のない支援を継続的に取り組む必要があります。
- ◆子どもの就学をスムーズに迎えられるよう、保育施設と幼稚園、小学校、教育委員会との連携が必要です。
- ◆久米島の伝統工芸や文化など様々な各種教室・講座等を開催し、子どもたちの自主性や創造力の向上に繋がるきっかけづくりを行っています。

子育て講座への保護者の参加人数



資料：福祉課統計資料

施策の展開

Free Space

就学前教育の充実 **福祉** **教育**

- ◆保育所（園）、幼稚園、小学校と連携し、就学前教育の充実を図ります。
- ◆保育士と幼稚園教諭は、年齢にあった発達を促すような関わり方や教材を取り入れ、質の高い幼児教育を推進します。
- ◆安全で充実した預かり保育の運営に引き続き努めます。
- ◆関係機関との連携を強化し、切れ目のない子育て支援の体制強化に努めます。
- ◆就学前教育に関する資質向上を図るため、保育士や幼稚園教諭を対象とした研修の開催に努めます。
- ◆自主性や創造力など幼児の能力向上につながる各種教室・講座等の開催に努めます。

目指そう指標

幼稚園就園率

基準値（令和 2 年）

100%

目標値（令和 7 年）

100%

幼児 1 人当たり 図書貸出冊数

基準値

—

目標値（令和 7 年）

30.5 冊

※令和 3 年度より集計開始のため基準値の設定はありません。

「学ぶ」世代のために▶幼児・小中高等学校教育の充実



〔施策8〕

小中学校教育の充実



現状と課題

教育現場

- ◆令和元年度全国学力・学習状況調査の結果は、全国に照らして小学生+1.3ポイント、中学生+1.7ポイント上回っています。
- ◆令和2年度からは新学習指導要領に基づき、SDGs 達成に向けた「ESD（Education for Sustainable Development／持続可能な開発のための教育）」に取り組んでいます。

教職員の育成・確保

- ◆教職員の資質向上を図り、小中学校における授業改善を行うための支援が求められています。

- ◆令和2年度から小学校において英語が必修化されました。専科制でないことや授業実数の増加により小学校においては教員の負担が大きくなっています。

保護者や地域との連携

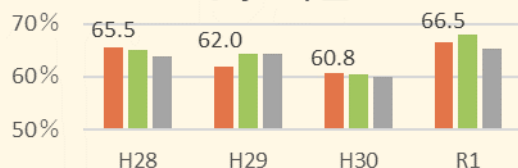
- ◆経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を継続的に実施し、十分な学習機会の提供に取り組む必要があります。
- ◆保護者と連携した家庭教育の充実を図る必要があります。

学校及び関連施設

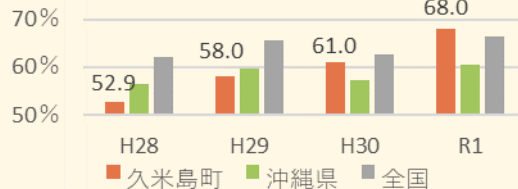
- ◆わかりやすく理解深まる授業の実践のため、授業におけるICT活用の推進が求められています。
- ◆未耐震の棟を有する学校施設があり、早急な対策が必要となっています。
- ◆学校施設の老朽化が進んでおり、快適な教育環境の提供に支障をきたしています。施設の不備等が多岐にわたり、対策や維持管理がままならない状況にあります。
- ◆教職員住宅の老朽化が進み、通常の修繕対応は限界に達しています。
- ◆学校給食センターは、整備から40年以上経過しています。より安全・安心な給食の提供に向けて、施設の早期建て替えが必要となっています。

全国学力調査結果

小学6年生



中学3年生



資料：教育課統計資料

施策の展開

Free Space

教育内容の充実 **教育**

- ◆学習活動の充実と強化を今後も継続し、学力及び体力の向上を図ります。
- ◆ESD 教育を通して持続可能な社会づくりの担い手育成を推進し、SDGs の達成に努めます。
- ◆豊かな心を育むためにも、道徳教育や人権教育、食育、児童生徒指導など、学力や体力以外での教育の充実も図ります。
- ◆スポーツ・文化等の各種大会への派遣、修学旅行の交通費等への補助など、格差のない充実した教育を推進します。
- ◆生活習慣や環境・文化・気候の異なる地域での様々な体験や交流を通して広い視野を持った児童生徒の育成に努めます。
- ◆学校の働き方改革として、教職員の業務の効率化（負担軽減）、校務の情報化、研修会への参加（町主催含む）を推進します。

地域・家庭と連携した教育力の向上 **教育**

- ◆家庭の状況により援助が必要な児童生徒の保護者に対し、必要な援助が適切な時期に支給されるよう、制度の周知に努めます。
- ◆地域コーディネーターや家庭教育支援員を確保・育成し、学校と地域が連携した教育支援体制の強化、地域人材バンクの共有化を図ります。

教育環境の整備 **教育** **給食**

- ◆学校における ICT 環境整備（GIGA スクール構想）を推進し、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。
- ◆小中学校施設及び関連施設のランニングコストを軽減するとともに、適切な維持管理及び快適な教育環境の整備を図ります。
- ◆教職員の安全・安心な住居の確保に努めます。
- ◆老朽化が進む学校給食センターの建て替えは、PFI 手法等の民間活力の活用を視野に入れた検討を行います。

目指そう指標

全国学力・学習
状況調査における
平均正答率の
全国との差

基準値 (平成 27 年～令和元年平均)	目標値 (令和 3 年～7 年平均)
小 6 + 1.1 ポイント	+ 2 ポイント
中 3 - 6 ポイント	± 0 ポイント

key word

ESD（持続可能な開発のための教育）

地球的な視野をもつ住民を育成することを目的とする教育。「一人ひとりが、世界の人々や将来世代、環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を変革するための教育」と定義されています。

ICT

情報通信技術。IT とほぼ同義。日本では、情報処理や通信に関する技術を総合的に指す用語として IT が普及したが、国際的には ICT が広く使われています。

ランニングコスト

運転資金。設備や装置などを維持していくための経費のこと。

GIGA スクール

一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し活用することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現すること。

PFI

プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略。民間資金を活用した公共施設整備。公共事業・公共工事に民間の資金やノウハウを導入し、経費の節減やよりよい公共サービスの提供を図る手法のこと。

「学ぶ」世代のために▶幼児・小中高等学校教育の充実



〔施策9〕

高校教育の充実



現状と課題

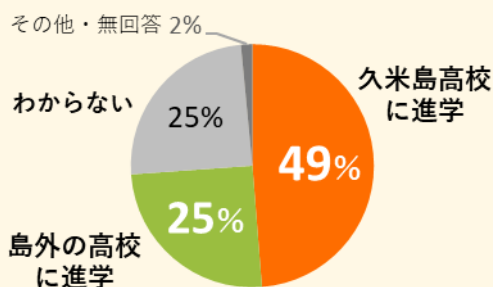
教育内容

- ◆久米島高校魅力化プロジェクトにより、島外出身者の久米島高校への進学者及び希望者が増加しています。
- ◆久米島高校魅力化支援員の配置により、行政と高校との意見調整や情報交換が効果的に実施されています。
- ◆生徒の進路目標に合わせた指導体制の充実に取り組んでいます。

教育体制

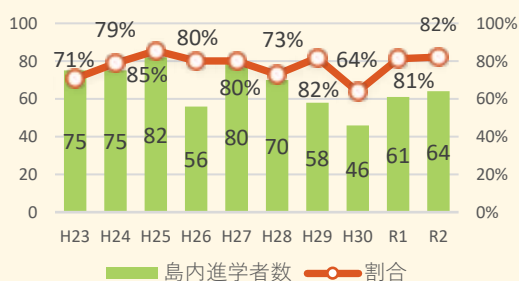
- ◆意欲、能力のある学生に対して奨学金で支援を行っています。
- ◆前村幸秀人材育成基金の運用において、大学等への進学に係る授業料への補助を実施しています。
- ◆島外出身者の受け入れや学習環境をサポートするため、じんぶん館（町営寮）を運営しています。
- ◆学習センター（町営塾）において、生徒一人ひとりの進路実現に対するサポートを行っています。

中学卒業後の進路希望
(全学年 R2.10月調査)



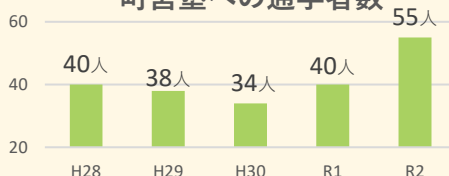
資料：令和2年中学生アンケート（n = 200）

町内中学生の久米島高校への
進学者数とその割合



資料：沖縄県「離島関係資料」

町営塾への通学者数



資料：学習センター統計資料

施策の展開

Free Space

教育内容の充実 教育 企画

- ◆生徒の進路目標に合わせた指導体制を充実させるため支援を継続します。
- ◆久米島高校魅力化プロジェクトの推進及び強化、中学生への周知に努めます。
- ◆高等教育を通して、SDGs への理解促進と関連する活動へのサポートに努めます。

高等教育の支援 教育 企画

- ◆奨学金の支援により、経済的な面で心配することなく、安心して学べる修学機会の確保を図ります。
- ◆前村基金を継続的に運用できる仕組みづくりを検討します。
- ◆じんぶん館の充実を図り、より良い生活環境の提供に努めます。
- ◆学習センター（町営塾）指導者のサポート体制の充実を図るとともに、人材の確保に努めます。

目指そう指標

**高校卒業後の
進路決定率**
(町立中学校出身者のみ)

基準値（令和元年）

92.7%

目標値（令和 7 年）

94.8%

大学等進学率
(町立中学校出身者のみ)

基準値（令和元年）

64.4%

目標値（令和 7 年）

72.8%

keyword

久米島高校魅力化プロジェクト

園芸課の廃課問題がきっかけとなり始まったプロジェクト。農業を基幹産業とする島において園芸科は不可欠と、地元の人々が立ち上がり、高校・行政・地域が連携して高校全体の活性化を推進しています。

「学ぶ」世代のために▶生涯教育の充実



「施策10」

文化・社会教育環境の充実



現状と課題

文化・社会教育施設

- ◆久米島町複合型防災・地域交流センター「ほんのもり」（令和2年10月開所）は、「学び」の場である図書館をはじめ、生涯学習や地域交流などで活用できるほか、災害時には住民が安全・安心に避難できる複合型地域交流拠点として利用しています。
- ◆町民の交流・防災の拠点である具志川改善センターは、築30年以上の経過に伴い老朽化が進んでいます。

文化・社会教育施設等の状況（令和3年3月現在）

施設名	完成年	主な施設内容
農村漁業研修施設	S52	ホール、映写室、会議室
集落センター	S56	ホール、小会議室、調理室
老人福祉センター	S59	集会室、娯楽室、機能回復訓練室
集落センター	S59	ホール、小会議室、調理室
具志川農村環境改善センター	S59	ホール、研修室、会議室、調理実習室
B & G仲里海洋センター	S52	プール、テニスコート
高齢者コミュニティセンター	S58	集会室、事務室、準備室、調理実習室
ホタルドーム	H14	屋内運動場
イーフ情報プラザ	H17	ホール、情報連絡室、会議室
久米島紬ユイマール館	H18	共同作業場、展示室
あじま一館	H19	会議室、電算管理室、特産品開発室、食堂

文化・交流イベント

- ◆社会教育委員の会議を定期的に行い情報交換を行っています。
- ◆地域の人材力を活用し、親のまなびあいプログラムを実施しています。
- ◆イベントや交流機会については、継続的な実施や町民ニーズの把握・反映、参加者の増加に向けた企画と工夫が必要です。
- ◆人口減少や担い手不足・高齢化が進んでおり、伝統文化の保存・継承に取り組む必要があります。
- ◆書道展や久米島現代版組踊りの公演等の文化イベントを開催しています。また文化協会へ補助金を交付し文化の振興に取り組んでいます。

町内の文化イベント

教育委員会主催・共催
現代版組踊「月光の按司笠末若茶良」
久米島町新春書道展
久米島町文化協会*主催
古典民謡大会
「工四の日」演奏会
文化祭
三線の日演奏会
民俗芸能発表会
その他教室発表会等
各字、青年団協議会等
兼城十五夜村遊び
伝統エイサー
エイサーまつり
久米島大綱引き
ハーリー
全島角力大会

施策の展開

Free Space

文化社会教育施設の管理・運営 **教育** **企画**

- ◆「ほんのもり」内の図書館を利用しやすく、親しみのある施設となるよう運営の充実に取り組むとともに、図書館に来ることが難しい利用者のために移動図書館（ほたる号）の運営の再開を検討します。
- ◆「ほんのもり」内の多目的室等は、町民の生涯学習や地域交流の場所として広く開放し、多くの町民が利用できるよう充実を図ります。
- ◆町民が快適に利用できるよう具志川改善センターの維持管理を適切に行うとともに、新たな拠点の整備に向けた検討に努めます。

町民活動の支援、文化・交流イベントの充実 **教育**

- ◆社会教育・生涯学習の推進体制の充実に努めます。
- ◆社会教育委員と連携し、社会教育・生涯学習の一層の充実を図ります。
- ◆各地域にある伝統文化を継承していくための支援に努めます。
- ◆書道展や文化まつり、民俗芸能発表会、現代版組踊等の文化イベントが発展的に継続開催出来るよう支援に努めます。

目指そう指標

町が主催又は支援する
文化関連イベント
の参加人数

基準値（令和元年）

764 人

目標値（令和 7 年）

840 人

町が主催又は支援する
社会教育関連イベント
の参加人数

基準値（令和元年）

381 人

目標値（令和 7 年）

510 人

≡ keyword ≡

移動図書館

自動車に図書を積み、定期的に各地を巡回して貸し出しをする公共図書館サービスのこと。

「学ぶ」世代のために▶生涯教育の充実



「施策11」

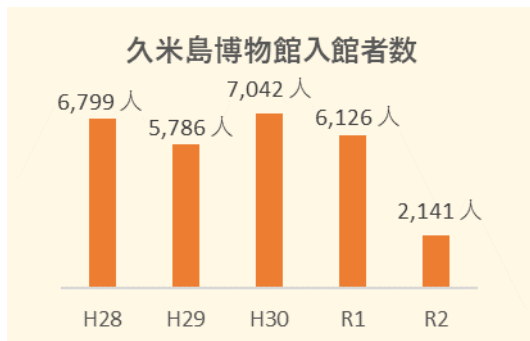
生涯学習体制の充実



現状と課題

地域交流イベント

- ◆子どもたちが日頃から取り組んでいる舞踊や三線、ピアノ、合唱などの成果を発表するヤングフェスティバルを開催し、地域住民との交流の機会を設けています。
- ◆博物館などの施設を活用し、展示会、講座・教室等の開催により、町民、観光客に対して島の歴史・文化や自然に関する情報の発信及び保存継承を行っています。



資料：博物館統計資料（令和3年2月末現在）

スポーツ交流

- ◆各種スポーツ団体へ補助金を交付し、競技力の向上を図っています。
- ◆体育協会や小体連などのスポーツイベントのサポートを行っています。
- ◆毎年4月～9月の期間B & G海洋センターのプールを開放しており、校内にプールがない3小学校が授業で利用しているほか、土日及び夏休み期間は多くの児童が利用しています。

電子図書館

- ◆インターネット端末を活用し、いつでもどこでも電子書籍を読むことができる電子図書館を運営しています。引き続き、広報誌や町ホームページを活用し電子図書館に関する情報を分かりやすく発信する必要があります。

施策の展開

Free Space

生涯学習の充実 教育 博物

- ◆博物館を活用するなど、様々な文化交流イベントを通した生涯学習機会の提供を図ります。
- ◆子どもからお年寄りまで参加できる講座の開設に努めます。

社会体育の充実 教育

- ◆スポーツ推進委員の活動を支援し、町民の更なるスポーツ活動普及を図ります。
- ◆外部指導者等と連携し、ニーズに応じたスポーツ教室が実施できるよう努めます。
- ◆プールの開放時期において、施設管理やプール監視など、町民が安全・安心に利用できる体制づくりに努めます。

電子図書館の推進 教育 博物

- ◆町民ニーズに合ったコンテンツの充実に努めるほか、役場各課、博物館等と連携し町独自の地域資料のデジタル化と導入により地域学習支援に努めるとともに、これらの利用方法を情報発信することで利用促進を図ります。

目指そう指標

町民 1 人当たり
図書貸出冊数

基準値

—

目標値（令和 7 年）

3.62 冊

※令和 3 年度より集計開始のため基準値の設定はありません。

博物館入館者数

基準値（令和元年）

6,126 人

目標値（令和 7 年）

6,950 人

keyword

電子図書館

文献資料を電子化し、インターネットなどのコンピュータネットワークを通じて情報提供をはかる図書館のこと。

ホームページ

ウェブサイトのトップ（最上位）のページ。またはウェブページ自体の総称のこと。

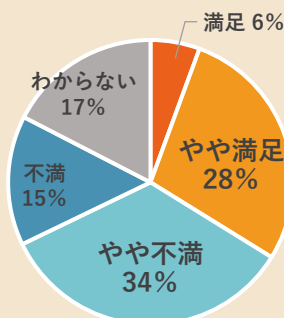


住民アンケート結果③

—— 学ぶ世代のために編 ——

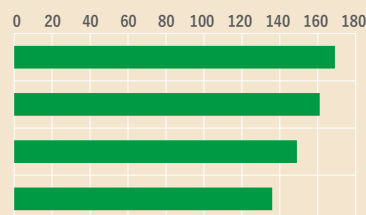
Q. 久米島町の教育環境について どう感じていますか？

- 1位：やや不満 34%
- 2位：やや満足 28%



Q. 島での子育てに必要なことは？

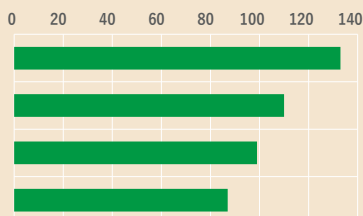
- 1位：施設での教育・保育の質の向上 169名
- 2位：母子の保健・医療体制の充実 161名
- ・ 託児サービスの拡大や時間の延長、料金の見直し 149名
- ・ 経済的なサポートや現物給付 136名



【中高生へのアンケート】

Q. 学びを支援するために重要なことは？

- 1位：専門的な資格について情報提供 133名
- 2位：学習センター（町営塾）の充実 110名
- ・ 奨学金制度の充実 99名
- ・ 企業との連携によるキャリア教育の推進 87名



教育環境について、「やや不満」および「不満」の合計が約半数と、満足度が低い結果となりました。子育てに必要なことについても「施設での教育・保育の質の向上」が最も回答が多く、島での教育環境の充実が求められており、中高生へのアンケートの学びに必要な支援についての回答でも、将来や進学を意識した学力向上に直結する項目に多く回答が集まりました。

理由をみると、生徒の数が少ないために切磋琢磨できる環境ではないと心配する声が多く子ども達の将来への選択肢を広げながら、成長できる教育プログラムが求められています。

また、高校魅力化プロジェクトなど、教育に関する様々な取り組みがあり評価する意見もみられましたが、知らない住民も多いと考えられるため、今後、さらに周知にも力を入れていく必要があります。

みなさんの声



- 人数も少ないため、子ども同士が切磋琢磨する環境ではない。（20代男性）
- 教育に関する様々な取り組みがあるが、知らない島民が多い。（30代女性）
- 塾などがなく、学ぶための選択肢が少ない。（40代女性）
- 島に誇りをもてるような教育を行ってほしい。（50代男性）
- 離島留学など高校魅力化プロジェクトの活動はよいと思う。（40代男性）

島づくりの目標

働く く 世代のために

連携する産業振興

- | | |
|------|---------------|
| 施策12 | 連携する産業振興体制づくり |
| 施策13 | くらしの立つ農業地域づくり |
| 施策14 | 多面的な漁業の振興 |
| 施策15 | 製造業の振興 |
| 施策16 | 商業・サービス業の振興 |

働く質の向上

- | | |
|------|--------------|
| 施策17 | 働きやすい職場環境の整備 |
|------|--------------|



「働く」世代のために▶連携する産業振興



〔施策12〕

連携する産業振興体制づくり



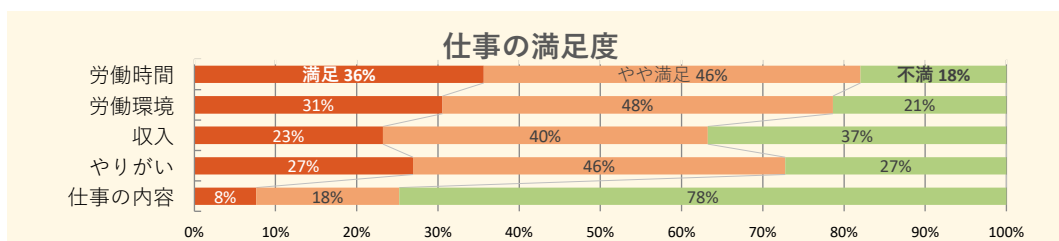
現状と課題

産業分野の連携

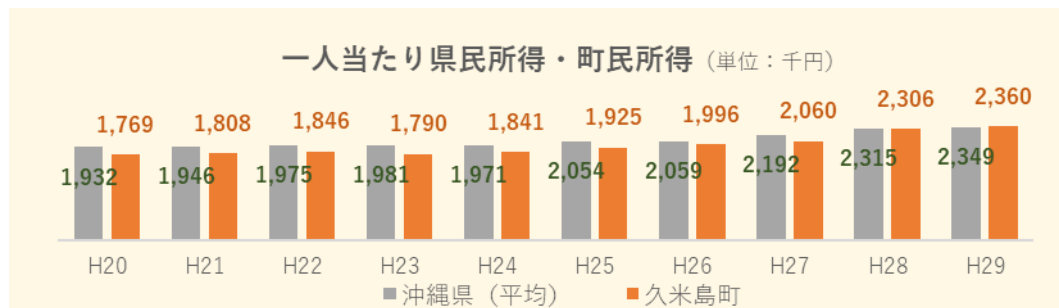
- ◆久米島町は農業や漁業、観光業など様々な分野の産業が成長・発展し、近年では海洋深層水の活用や複合利用による産業展開が行われています。
- ◆JA おきなわ久米島支店、久米島漁業協同組合、久米島町観光協会、久米島商工会、久米島紬事業協同組合からなる久米島町の経済 5 団体は、久米島町の産業活性化をけん引し、町民所得向上に寄与しています。
- ◆島を代表する経済 5 団体が横断的に連携しながら、人材確保や技術向上に努め、久米島町のしごとの魅力及び経済の発展に繋げていく必要があります。
- ◆令和 2 年 6 月に久米島版DMO推進協議会が設立されました。

就業と定住

- ◆久米島を含む県内離島は、人口の減少が加速しており、働く場所と機会を島内に確保することが重要な課題となっています。
- ◆就業環境の向上に取り組むとともに、島内企業就業者の島外からの確保に向けて、I ターン・U ターンを継続的に呼びかけ、定住・移住に繋げていく必要があります。



資料：令和 2 年住民アンケート（n = 482）



資料：沖縄県統計年鑑

施策の展開

Free Space

横断的な産業連携 企画 商観 産業

- ◆産業間の人材交流やワークショップなど横断的な連携を図り、魅力のある島づくりやしごとづくりを推進します。
- ◆人材や技術、経験と知識など、島の強みと課題を共有し、久米島町での働き方、産業のあり方を検討し、産業振興・発展に繋がります。
- ◆産業間の連携を図り、6次産業化に取り組みます。
- ◆久米島町経済5団体と久米島版DMO推進協議会が一体となり地域の「稼ぐ力」を引き出す取り組みを推進します。

求人・求職情報の集約 企画 商観

- ◆島内企業就業者を確保するため、島ぐらしコンシェルジュと共に体制づくりを推進します。
- ◆ワーキングホリデーや様々な体験を通して久米島への移住を促進します。

目指そう指標

1人当たり 町民所得

基準値（平成29年）

2,360 千円

目標値（令和7年）

2,600 千円

町内総生産 （実数）

基準値（平成29年）

239 億円

目標値（令和7年）

264 億円

key word

DMO

（観光地域づくり法人）

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人のこと。

6次産業化

農林水産業の生産（一次）、食品加工（二次）、流通販売・情報サービス（三次）の一体化を推進して、地域に新たな食農ビジネスを創出しようとする取り組みのこと。

コンシェルジュ

フランス語でアパートの管理人を意味する。現在では、客の希望に応じてさまざまな提案や手配などをする総合世話係という意味合いで使われる。

ワーキングホリデー

他国で働きながら休暇を楽しむのを認める制度のこと。

「働く」世代のために▶連携する産業振興



「施策13」

くらしの立つ農業地域づくり

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



現状と課題

農業の安定経営

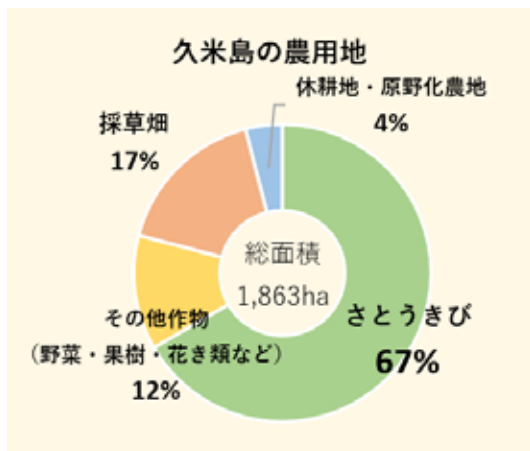
- ◆ほ場整備などの農業基盤整備や機械化による農産物の生産体制の強化等、農業の振興が推進されています。
- ◆遊休農地や原野化農地の解消が十分ではありません。
- ◆優良な肉用牛の生産に向けて、徹底した個体管理、畜産施設の老朽化への対応、獣医不足解消などに取り組む必要があります。

農家支援

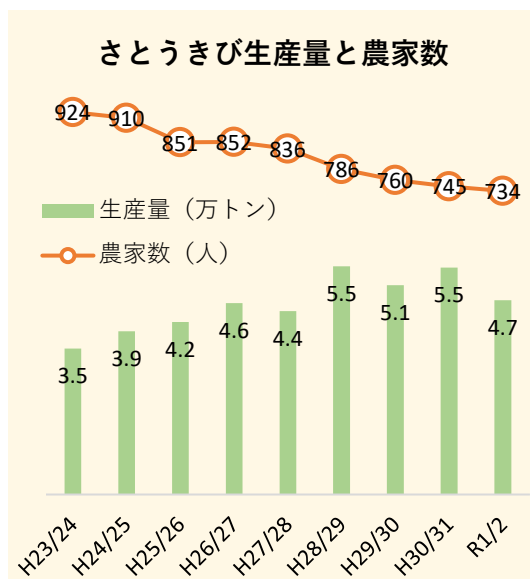
- ◆農家数は年々減少傾向にあり、少子高齢化に伴う担い手不足が懸念されています。
- ◆新規就農者（若手農家）の初期経営の安定化・健全化を図るため、経済的支援や適切な農地の管理指導など、担い手の確保及び育成に取り組んでいます。

環境保全

- ◆赤土流出防止対策を行い、島の豊かな自然資源の保全に取り組む必要があります。
- ◆化学肥料の適正使用及び低減化、家畜排せつ物、集落排水の適正処理を行い、環境負荷の低減や水質保全に取り組む必要があります。
- ◆農地は、久米島の豊かな田園風景を特徴づけていますが、一部の農地で堆肥袋や粗大ごみ、廃車の投棄が見られ、農地景観を阻害している状況があります。



資料：久米島農業振興地域整備計画書（平成31年3月）



資料：沖縄県糖業農産課

「さとうきび及び甘しょ糖生産実績」

施策の展開

Free Space

効率的な生産環境づくり **産業**

- ◆農業基盤の整備及び維持管理（長寿命化を含む）を継続的に実施し、生産性の向上と農家の経営安定化を図ります。
- ◆海洋深層水や大型機械、IoT（Internet of Things）、5G、ドローンの活用など、先進的な農業技術の展開と持続可能な生産環境づくりを推進します。
- ◆付加価値の高い農作物の導入、生産量の拡大に向け、関係機関と連携した栽培講習会等の開催を図ります。
- ◆地域資源を活用した循環型農業の構築や野菜の地産地消を促進します。
- ◆農地の集積・集約化、農地協定など様々な対策を講じ、遊休農地及び原野化農地の解消を推進します。

競争力の高い畜産業の推進 **産業**

- ◆くめじま牛の販路拡大に努めるとともに、徹底した品質・個体の管理、適切な施設の維持管理・機能強化を推進します。
- ◆子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖雌牛の導入に係る支援を引き続き行います。

農業経営者の育成 **産業** **農業** **プロ**

- ◆農業者に対する支援体制の確立、また、集落支援員制度を活用し、地産地消推進事業を自立運営させるための体制構築を図ります。
- ◆農業従事者向けの研修会・講習会への参加促進や機械化への支援など、効率的かつ持続可能な農業生産体制づくりを推進します。

環境保全型農業の促進 **産業** **建設**

- ◆農家や関係機関と連携し、赤土流出防止及び環境保全を推進します。
- ◆田園風景を保全し、景観阻害要因の適切な清掃、撤去を促進します。

目指そう指標

農業産出額

基準値（平成 30 年）

32.2 億円

目標値（令和 7 年）

39 億円

keyword

IoT
(Internet of Things)
あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称のこと。

5G
(第五世代移動通信システム)
第四世代移動通信システム(4G)の通信速度をより高めた次世代の移動通信システムのこと。

「働く」世代のために▶連携する産業振興



「施策14」

多面的な漁業の振興

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

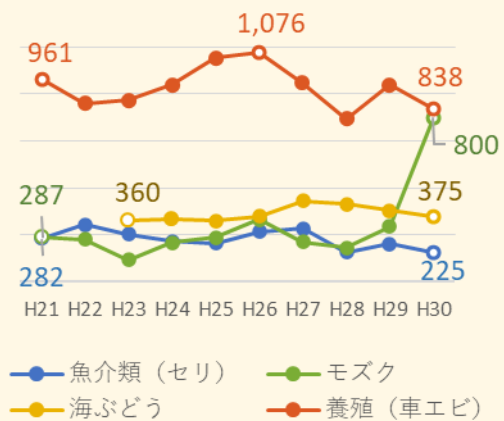


現状と課題

養殖業

- ◆久米島の養殖業は、海洋深層水を活用し、生産量が急増しています。
- ◆モズク養殖は、加工場の整備により、養殖業における生産量の9割を占めています。
- ◆もずくや車エビ、アーサなどの養殖生産物は、島の特産品として認知されており、さらなる販路開拓に努める必要があります。
- ◆牡蠣やトラウトサーモンの陸上養殖など、海洋深層水を活用した新たな養殖展開も期待されており、関係機関と連携した水産振興に取り組む必要があります。

水産業生産額（単位：百万円）



資料：産業の概況（産業振興課）

海洋漁業

- ◆マグロ類を中心とした海洋漁獲が行われる一方、有望漁種の開拓や稚魚の放流が望まれています。
- ◆中層型浮魚礁の複数設置により、効率的で安定した漁業生産活動が行えるようになっていきます。
- ◆新たな水産関係の加工品開発や安定して販売できる加工品への対応が望まれています。

安定的な経営

- ◆漁港内の施設の老朽化がみられるため、適切な維持管理が必要です。
- ◆養殖業を営む若い漁業経営者の育成・確保に継続して取り組む必要があります。
- ◆台風等による被害に対して支援を行っています。

漁業環境

- ◆畑からの赤土流出防止対策は、農家の理解と協力が必要です。
- ◆久米島漁業協同組合の総会で安全対策に関する指導を行い、海上事故の防止に取り組んでいます。

施策の展開

Free Space

養殖漁業の推進 **産業**

- ◆もずく加工施設の増設により、もずく生産者の増加が想定されることを踏まえ、関係機関との連携や養殖体制の強化を促進します。
- ◆水産養殖施設の整備を推進します。

海洋漁業生産性の向上 **産業**

- ◆漁獲量の拡大や有望漁種の開拓、稚魚の放流強化を推進します。
- ◆引き続き、中層型浮魚礁設置など、漁場環境の整備を支援します。
- ◆一本釣り漁業については、久米島漁業協同組合及び漁業者が策定した資源管理計画に基づく管理を推進します。
- ◆釣りや遊漁などの観光需要に対応するため、観光業との連携を推進します。
- ◆新たな水産関係の加工品開発や安定して販売できる加工品の取り組み強化を推進します。

安定的・持続的な水産業の基盤整備 **産業** **建設**

- ◆老朽化の見られる漁港施設・海岸施設の定期的な点検や補修を行い、適正な維持管理に努めます。また、不法投棄船・長期駐艇船への適切な行政指導を行います。
- ◆市場で求められる品質管理水準である HACCP 対応を目指し、温度管理や衛生管理を徹底した水産加工施設の整備を推進します。
- ◆漁業経営者の増加を図るため、安定した漁業経営ができる環境づくりを行い、漁業従事者の育成・確保に努めます。

海岸及び海域環境保全対策 **産業** **建設**

- ◆畑からの赤土流出防止対策について、啓発活動の強化や監視活動を行い、未然防止に努めます。
- ◆漁具の海上廃棄及び港内廃棄防止、海洋資源の乱獲防止など、環境保全への意識啓発を推進します。

目指そう指標

水産業町内総生産
(実数)

基準値 (平成 29 年)

817 百万円

目標値 (令和 7 年)

900 百万円

keyword

HACCP

ハサップ。NASA (米国航空宇宙局) が宇宙食の衛生管理のために考案した手法で、食品工業やレストランの衛生管理に応用される。

「働く」世代のために▶連携する産業振興



「施策15」

製造業の振興



現状と課題

久米島紬

- ◆久米島紬は平成16年に国の重要無形文化財として指定されました。
- ◆現代ニーズに合わせた商品開発が注目を呼び需要が高まりつつあるものの、限られた織子しか生産できないため、織子全体が安定生産できる商品開発及び技術力の向上を行う必要があります。

海洋深層水事業

- ◆海洋深層水は、水産業や食品、化粧品製造などに活用され、島に経済的利益をもたらすとともに新たな雇用の場を創出しています。
- ◆海洋深層水の複合利用による「クリーンエネルギー供給」、「産業創出」、「食料・水の生産」は、海外からも注目を集めています。

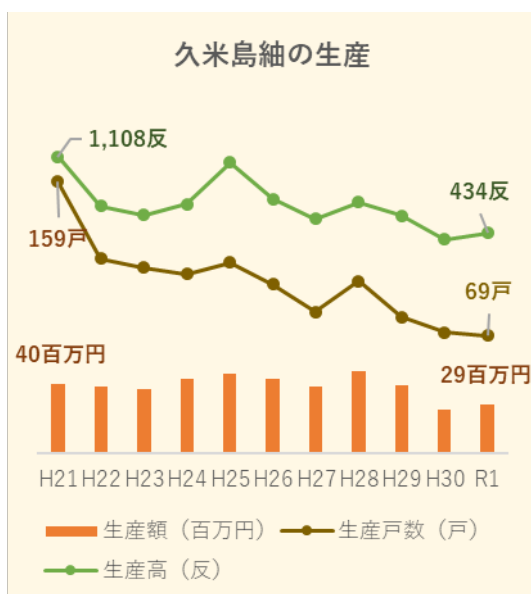
- ◆海洋深層水事業の規模拡大には、国及び沖縄県との連携・協力が必要です。

その他の製造業

- ◆製糖業については、島のさとうきび産業を支える重要な基幹産業のひとつであるため、農業と連動した産業振興が必要です。
- ◆その他の製造業については、島の経済及び就業を支える企業として、官民が連携した地方創生に取り組む必要があります。

販売拠点・製品PR

- ◆平成27年度に沖縄本島にアンテナショップを設置しましたが、約1年で撤退したため、事業の目的や必要性を踏まえた慎重な場所の選定が望まれています。
- ◆ふるさと納税の返礼品として久米島町の特産品を送付することで、久米島町の特産品のPRにつなげています。
- ◆企業経営の高度化を目指して、久米島の産業魅力向上プロジェクト事業を実施しました。



施策の展開

Free Space

伝統工芸産業の安定化 **商観**

- ◆久米島紬織子全体の技術向上や担い手の育成を図り生産体制の強化に努めるとともに、経営安定を図るための販路拡大を推進します。
- ◆現代のニーズに合った商品開発により安定した売上確保に努めます。

製造業振興 **商観** **産業** **プロ**

- ◆海洋深層水事業は、国及び沖縄県、また大学等の研究機関や関連機関と連携を図りながら、多面的な活用及び産業展開を推進します。
- ◆製糖業は、農家及び農協と連携した生産体制の強化を推進します。
- ◆その他製造業については、島での「しごとづくり」に直結するよう、官民が連携し、第2次産業の活性化に努めます。

多彩な販売体制の確立 **商観** **企画**

- ◆久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、販売会や問屋呉服店への販促訪問等に対し支援します。
- ◆安定した経済の構築を図るため島独自の流通販売システムを確立させ、特産品販売強化に努めます。
- ◆久米島商工会と連携した人材育成セミナーや企業の生産性向上の取り組みを推進するとともに、創業支援体制の構築及び強化を図ります。

目指そう指標

製造業
町内総生産
(実数)

基準値 (平成 29 年)

2,609 百万円

目標値 (令和 7 年)

3,076 百万円

製造業事業所数
(従業者 4 人以上)

基準値 (令和元年)

11 事業所

目標値 (令和 7 年)

15 事業所

keyword

クリーンエネルギー
大気汚染物質を発生しないエネルギー。風力・太陽熱・水力・地熱・潮力などを指す。

「働く」世代のために▶連携する産業振興



〔施策16〕

商業・サービス業の振興



現状と課題

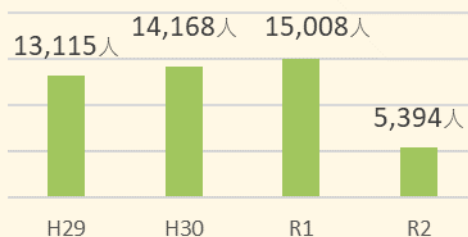
観光交流施設

- ◆バーデハウス久米島は開業から16年を経過し、施設の劣化や設備の破損がみられ、大規模な改修が必要です。また、営業再開に向けた取り組みとして民間提案制度の導入が求められます。
- ◆あじま〜館を体験型交流施設（島の学校）の拠点とし、久米島町観光協会と連携し活用していますが、屋外ステージなど未利用空間の活用が今後の課題です。
- ◆イーフ情報プラザは、地域コミュニティや観光振興に繋がるイベント・会議が行われるなど、地域に根ざした総合観光案内所となっています。

特産品のPR・販売体制

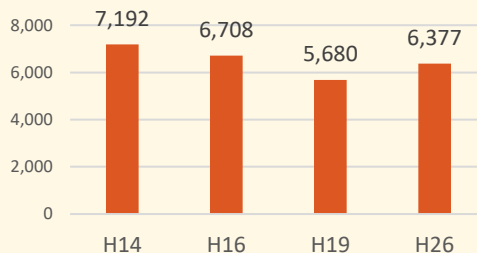
- ◆島の特産品を物産展等で広くPRし、販路開拓・拡大に繋げることで事業所の育成及び地域経済の安定化に取り組んでいます。
- ◆島外市場に進出する上で必須となる成分表示など個々の商品が抱える課題を解決していく必要があります。
- ◆商工会への支援を行い組織体制の強化に努めています。

空港の観光案内所利用者数



資料：商工観光課統計資料

商業年間販売額（百万円）



資料：商業統計調査

施策の展開

Free Space

観光交流施設の有効活用 **商観**

- ◆民間提案制度を活用し、バーデハウス久米島の再開に向けた取り組みを推進することと併せて、周辺施設と一体となった民間主体の運営方法の確立を目指します。
- ◆あじま〜館全体の稼働率の向上に努め、定期的な点検や補修を行い、適正な維持管理に努めます。
- ◆久米島町観光協会と連携し、イーフ情報プラザをはじめ、久米島全域における観光案内体制を強化し、観光サービスの向上を図ります。

販売体制の強化 **商観**

- ◆久米島商工会と連携した人材育成セミナー、講習会などの開催により、企業の生産性及びサービスの質の向上を図ります。
- ◆物産展への参加支援等を通して、安定した久米島経済の構築を目指します。
- ◆島の特産品の売上増加を図るため、特産品の販路拡大に向けたPR活動に対し支援します。
- ◆オンラインを活用した販売を促進するため、事業者への支援に努めます。
- ◆中央通り及び振興通りの空き店舗の解消を図り、商店街の活性化に向けた取り組みを強化します。

目指そう指標

卸売業・小売業
町内総生産
(実数)

基準値(平成29年)

1,199 百万円

目標値(令和7年)

1,300 百万円

宿泊・飲食サービス業
総生産
(実数)

基準値(平成29年)

1,295 百万円

目標値(令和7年)

1,430 百万円

keyword

オンライン
端末がインターネット
などの通信回線に接続さ
れていること。

「働く」世代のために▶働く質の向上



「施策17」

働きやすい職場環境の整備

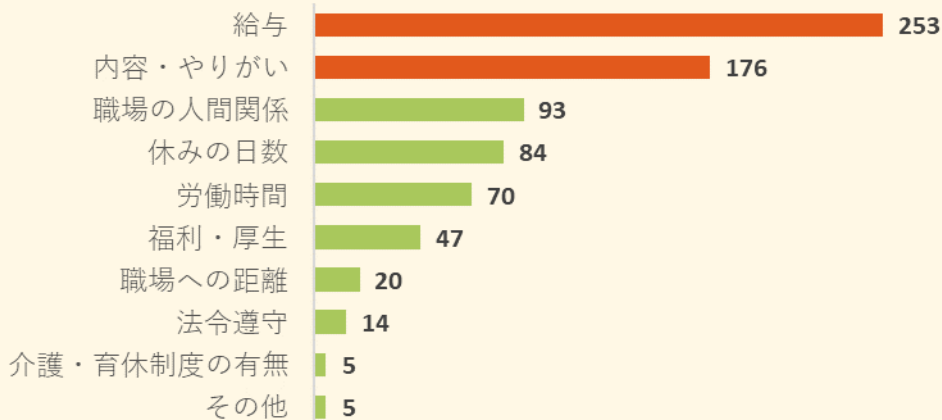


現状と課題

就労環境

- ◆久米島を含む県内離島は、人口の社会減少が加速しており、働く場所と機会を島内に確保することが重要な課題となっています。（施策12再掲）
- ◆住民アンケートにおいては、職種が少なく、島の物価に対しての賃金が少ないため、条件にあう仕事を見つけにくいといった意見が多く見られました。また、島外で学び資格を取得しても島内で活かすことができないという意見もみられました。
- ◆Iターン・Uターンを増やしていくためには、企業誘致やテレワークできる環境の整備、スキルを活かせる仕事に就けるような環境づくりなどが必要です。

仕事を選ぶ上で重視すること（複数回答）



資料：令和2年住民アンケート（n = 482）

施策の展開

Free Space

働きやすい環境づくり、福利厚生充実 **商観**

- ◆労働者数を増やすため、雇用関係助成金等の雇用保険関係の周知強化や久米島商工会と連携し事業所への支援強化に取り組み、働きやすい環境の整備に努めます。
- ◆就労の場面で、全ての女性が輝けるよう、各企業への働きやすい環境づくりを促進・支援するとともに、女性が活躍できる島づくりを推進します。
- ◆企業の遠隔就業（リモートワーク）と観光事業者の連携によるワーケーションを推進します。
- ◆島の環境に適した「ニューノーマル」な働き方の検討や支援を推進します。

目指そう指標

就業率

	基準値（平成 27 年）	目標値（令和 7 年）
男女	93.3%	97.3%
女性	93.6%	97.6%

完全失業率

基準値（平成 27 年）	目標値（令和 7 年）
6.7%	2.7%

≡ keyword ≡

I ターン

都会生まれの人が、地方に移住すること。

U ターン

地方で生まれ育った人が都会で就職して働き、その後また生まれた地方へ戻ること。

ワーケーション

《work（ワーク）＋vacation（バケーション）からの造語》休暇中に旅行先でテレワークを行うこと。

ニューノーマル

新たな常態という意味。構造的な変化が避けられない状況を示唆しています。

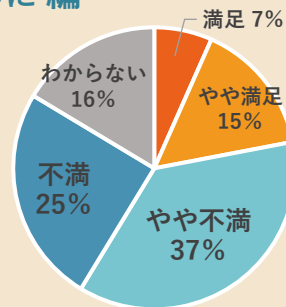


住民アンケート結果④

働く世代のために編

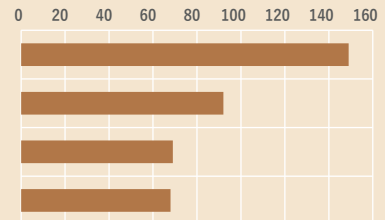
Q. 久米島町での仕事の選択肢について
どう感じていますか？

- 1位：やや不満 37%
- 2位：不満 25%



Q. 島での「仕事」について町が取り組むべきことは？

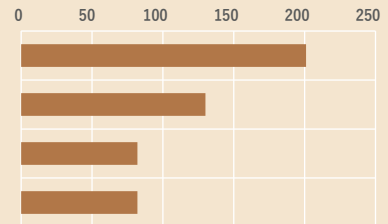
- 1位：地域資源の活用による産業振興 149名
- 2位：就労に関する相談窓口の設置 92名
- ・企業誘致 69名
- ・中小企業、小規模事業者への支援 68名



【中高生へのアンケート】

Q. 将来、久米島で暮らすために大事なことは？

- 1位：働く場所が多い 201名
- 2位：本島との交通が便利 130名
- ・子育てがしやすい 82名
- ・医療体制・健康づくりが充実している 82名



仕事の選択肢について、「やや不満」および「不満」の合計が6割を超え、満足度が低い結果となりました。仕事について町が取り組むべきこととしても、地域資源の活用による産業振興への回答が多く、中高生は、将来久米島で暮らすために、「働く場所」が最も大事だと回答しています。

満足度が低い理由として、「職種が多くない」、「島の物価に対し賃金も低い」、「条件にあう仕事が見つけにくい」という意見が多くみられました。

また、せっかく島外で学び資格を取得しても島内で活かすことができないという意見もあり、これからIターンやUターンを促進していくためにも、産業振興を積極的に行い、さらに企業誘致やテレワークできる環境の導入、スキルを活かした仕事に就けるような環境作りが必要です。

みなさんの声



- 職業の選択肢が限られており、給与や労働時間、勤務内容など条件にあう仕事が見つけにくい。(40代男性)
- 島の物価に比べて賃金が低い。(40代女性)
- 専門の資格や大学卒業のスキルを活かせていない。(30代女性)
- IターンやUターンを増やすためにも、企業誘致やテレワーク環境を作ってほしい。(20代男性)

島づくりの目標

暮らす

すべての世代のために

安心・快適な生活環境づくり

- | | |
|------|---------------|
| 施策18 | 交通の便利な島づくり |
| 施策19 | 安全な水の安定供給 |
| 施策20 | ゴミのない島づくり |
| 施策21 | 環境を守る下水道・し尿処理 |
| 施策22 | 安心して暮らせる島づくり |
| 施策23 | 災害に強い島づくり |
| 施策24 | 快適な住環境づくり |

島民の健康づくり推進

- | | |
|------|------------------|
| 施策25 | 島民の健康づくり推進 |
| 施策26 | スポーツ・レクリエーションの振興 |

共に暮らせる島づくり

- | | |
|------|------------------|
| 施策27 | 福祉の充実 |
| 施策28 | 多様なニーズに応えられる町づくり |



「暮らす」すべての世代のために▶安心・快適な生活環境づくり



「施策18」

交通の便利な島づくり



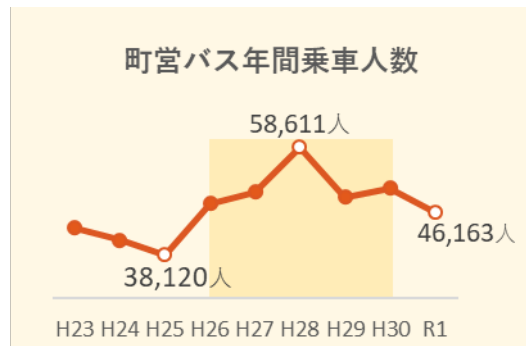
現状と課題

道路整備・維持管理

- ◆道路や橋梁は、利便性及び安全性の向上に向けた整備、維持管理が重要です。
- ◆日常の維持管理に努めるとともに、台風や万が一の自然災害に備える必要があります。
- ◆道路空間は景観を特徴づける重要な要素であるため、自然やまちなみに調和する景観づくりが必要です。

町営バス（島内公共交通）

- ◆令和元年度の町営バス利用者数は 46,163 人となっています。
- ◆運賃、運行ダイヤに関する要望があり、現状の分析、検証に取り組む必要があります。
- ◆免許返納者等の交通弱者が利用しやすい仕組みづくりに取り組む必要があります。



資料：商工観光課統計資料

航空輸送

- ◆島民にとって航空機は、身近な公共交通機関であり、生活に欠かすことのできない移動手段です。
- ◆久米島町における交流人口の増加や観光産業の活性化に繋がっています。
- ◆空港施設を定期的に巡回し、防犯対策及び安全確保に努めています。

海上輸送

- ◆海上輸送（フェリー）は、島民及び来島者の重要な移動手段であるとともに、生活物資を運ぶ重要な役割を担っています。
- ◆海上輸送コストが島内の商品価格を押し上げており、住民生活及び家計を圧迫する要因の一つと考えられます。
- ◆高速船のニーズ把握調査において、肯定的な意見が多数を占めていますが、採算性等の確保に懸念を示す声も多く寄せられています。

施策の展開

Free Space

島の生活を支える交通 **建設**

- ◆安全・快適に利用できるよう、適切な道路・橋梁の整備、維持管理を推進します。
- ◆自然や集落景観に調和するよう、道路の修景整備及び沿道美化を推進します。

利便性の高い公共交通の実現 **商観**

- ◆地域公共交通の充実を図り、公共交通利用者の利便性の向上を目指します。
- ◆路線に適した車両導入を推進し路線充実に努めます。
- ◆免許返納者等の交通弱者への支援に努めます。
- ◆町営バスの運営への民間事業者の参入を促進します。

航空輸送の充実 **商観** **空港**

- ◆航空路の利用に伴う住民負担の軽減を推進します。
- ◆久米島空港利用者が、より安全で安心した利用ができるよう、防犯・防災対策や空港職員の各種訓練の充実及び強化を図ります。

海上輸送の充実 **商観** **プロ** **建設**

- ◆沖縄県と連携し、安定的な港湾利用や適切な維持管理に努めます。
- ◆生活物資や建設資材などの輸送コストの低減化を図ります。
- ◆高速船の導入については、関係機関と緊密に連携を図りながら可能性について検討します。

目指そう指標

町営バス乗車人数

基準値（令和元年）

46,163 人

目標値（令和 7 年）

58,000 人

航空便を利用した 町民の人数

基準値（令和元年）

80,197 人

目標値（令和 7 年）

81,600 人

「暮らす」すべての世代のために▶安心・快適な生活環境づくり



「施策19」

安全な水の安定供給



現状と課題

生活水（上水道）の供給

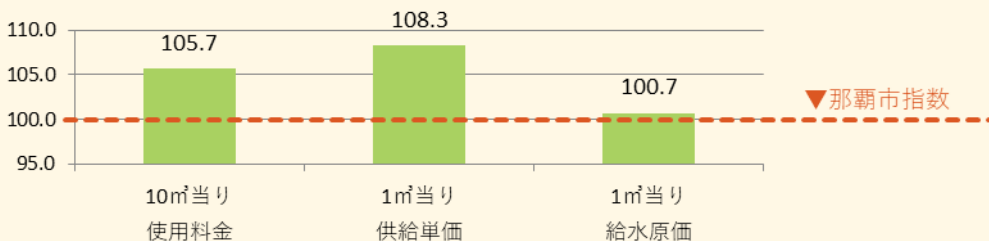
- ◆町における水道普及率は概ね100%に達しており全国に比べて高い水準となっています。しかし、水道施設の老朽化に伴う更新、人口減少等による経営逼迫に対する運営基盤の強化など、これからの水道を取り巻く環境は厳しい状況にあります。
- ◆安全・安心な生活水の安定供給の維持に努め、水源施設及び浄水場の維持管理を徹底する必要があります。

■水道料金比較指数（那覇市との比較）

	10m ³ 使用料金 (家庭用・メーター使用料・税込)		1m ³ 当り (円銭)			
			供給単価 (税込)		給水原価 (税込)	
	価格	指数	価格	指数	価格	指数
久米島町	1,490	105.7	199.79	108.3	170.55	100.7
那覇市	1,410	100.0	184.47	100.0	169.34	100.0

資料：沖縄県保健医療部衛生業務課「沖縄県の水道概要（令和元年度版）」

那覇市（=100）との水道料金比較指数



施策の展開

Free Space

安全な水の安定供給 **水道**

- ◆安全・安心な生活水の安定供給を維持するため、水源施設及び浄水場の適正管理に努めます。
- ◆老朽化した管路や配水池等の関連施設の計画的な更新を図ります。
- ◆水道料金の見直しや管理コストの縮減等を図ります。
- ◆水道技術管理者の育成を推進します。

目指そう指標

水の安全度
(水質基準項目達成率)

基準値 (令和 2 年)

100%

目標値 (令和 7 年)

100%

**施設維持管理
財源の確保**
(水道料金徴収率)

基準値 (令和元年)

99.1%

目標値 (令和 7 年)

100%

「暮らす」すべての世代のために▶安心・快適な生活環境づくり



「施策20」

ゴミのない島づくり



現状と課題

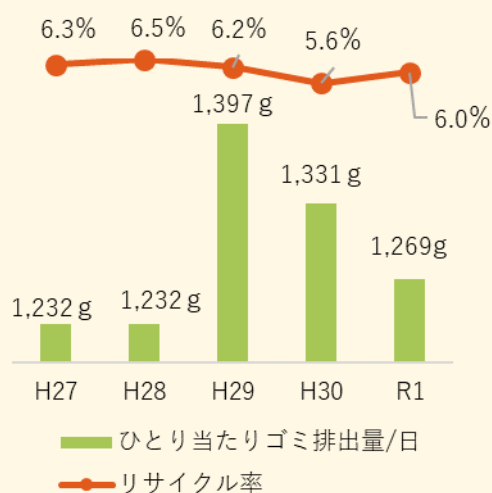
ゴミ処理施設・運営体制

- ◆クリーンセンターの老朽化がみられます。
- ◆クリーンセンターの運転を専門運営会社に委託することで、故障等の未然防止に取り組んでいます。
- ◆ごみの分別が行われていない状況もみられることから、指導や周知が望まれます。
- ◆家庭ごみの排出量の削減に寄与する指定ごみ袋の利用の徹底が求められています。
- ◆リサイクル処理された「鉄屑」や「アルミ缶」などは、沖縄本島内の処理業者に計画的に搬出しています。

環境美化への意識

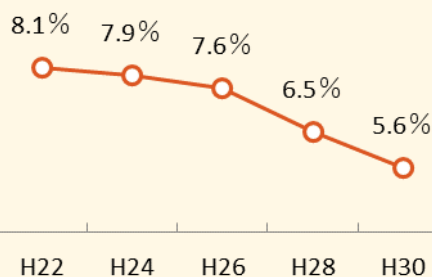
- ◆環境教育を通してごみ問題への町民の意識の醸成が図られています。
- ◆不法投棄やポイ捨てなどの意識改善・モラル向上の周知を行っています。
- ◆ゴミ収集時において分別がされていない状態や不法投棄等が確認されています。
- ◆ごみ分別の啓発活動を通して、町民一人ひとりのごみ減量が必要です。
- ◆町民協働で集落内外清掃を実施しています。
- ◆貴重な資源である森林や海岸など豊かな自然や農地環境、居住環境を適正に保全するため、不法投棄パトロールを実施しています。

ゴミの排出量（ひとり当たり/日）
とリサイクル率



資料：一般廃棄物処理実態調査結果

リサイクル率



資料：一般廃棄物処理実態調査結果

施策の展開

Free Space

ゴミ処理施設の機能充実と強化 **環境**

- ◆老朽化が進むクリーンセンターの修繕・改修を施し運営しつつ、新たなクリーンセンターの建設を推進します。
- ◆町民へゴミ分別の啓発活動を推進するとともに、リサイクルに対応した処理機能の充実を図ります。
- ◆指定ごみ袋の活用に対する周知活動の強化を推進します。
- ◆島内で処理できないゴミを沖縄本島の処理業者に搬出できる体制づくりを引き続き推進します。

家庭ゴミの削減、リサイクルと環境美化の推進 **建設** **環境**

- ◆次世代を担う子どもたちのために「リサイクル教育」の実施に努めます。
- ◆不法投棄及び放置車両問題に対する美化推進活動への支援充実を図ります。
- ◆ゴミの発生、排出を抑制するため普及・啓発の取り組みを推進します。
- ◆ごみ分別の啓発活動を通して、町内から出るごみの減量を推進し、快適で潤いのある生活環境づくりに努めます。
- ◆町民協働による集落内外清掃の実施を引き続き推進します。
- ◆住民やボランティア団体への花苗の提供や花いっぱいコンクールの開催等により、緑化推進の意識向上を図り、美しく快適な生活環境づくりに努めます。
- ◆連絡体制の構築及び関係機関との連携を密にし、環境に関する問題発生時の迅速な対応が可能な体制強化を図ります。

目指そう指標

一般廃棄物
1日1人当たり
排出量

基準値（令和元年）

1,269 g

目標値（令和7年）

1,071 g

一般廃棄物
資源化率

基準値（令和元年）

6%

目標値（令和7年）

10%

≡ keyword ≡

リサイクル
廃棄物や不用物を回収・再生し、再資源化、再利用すること。

ボランティア
自主的に社会事業などに参加し、奉仕活動をする事。

「暮らす」すべての世代のために▶安心・快適な生活環境づくり



「施策21」

環境を守る下水道・し尿処理



現状と課題

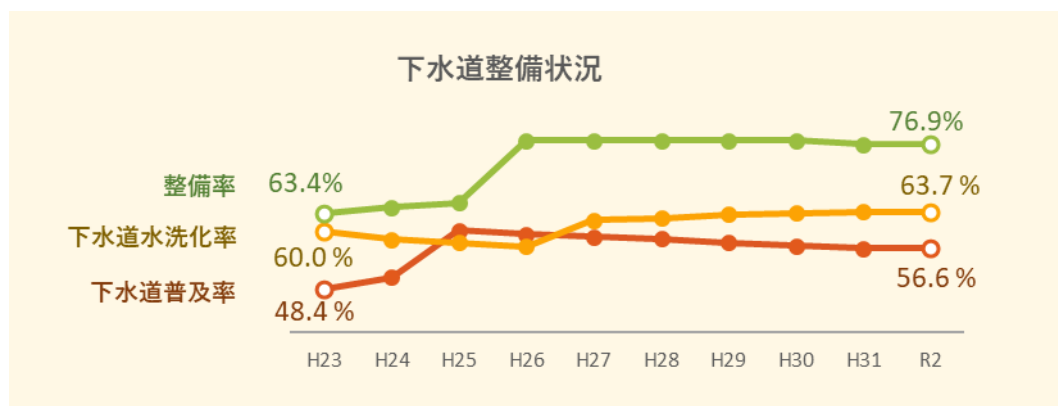
生活排水

◆生活環境の悪化を防ぐため、下水道や農業集落排水の整備を行っています。

し尿処理

◆民間のし尿汲み取り業者の処理施設において、し尿処理を行っています。

◆し尿処理施設において、堆肥の製造を行っています。



資料：上下水道課統計資料

下水道普及率	利用可能人口／計画処理計画人口
下水道水洗化率 (接続率)	利用人口／利用可能人口
整備率	整備面積／計画面積

施策の展開

Free Space

生活環境の改善と接続の推進 **水道**

- ◆下水道や農業集落排水の整備を推進するとともに、接続率の向上に努めます。
- ◆下水道使用料の適切な料金設定及び適正化に向けた検討を行います。

環境に配慮した処理の推進 **環境** **産業** **水道**

- ◆処理施設を完備していない業者に対して指導を行います。
- ◆処理施設で製造された堆肥を活用する循環型農業を推進・支援します。
- ◆下水道への接続が難しい区域は、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を推進します。

目指そう指標

水洗化率 (公共下水道接続率)

基準値 (令和 2 年)

64%

目標値 (令和 7 年)

88.1%

下水道整備の 計画面積整備率

基準値 (令和 2 年)

77%

目標値 (令和 7 年)

95%

keyword

下水道水洗化
風呂や台所などの雑排水（雨水は除く）やトイレの汚水を公共下水道に接続し、排水すること。

「暮らす」すべての世代のために▶安心・快適な生活環境づくり



〔施策22〕

安心して暮らせる島づくり

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

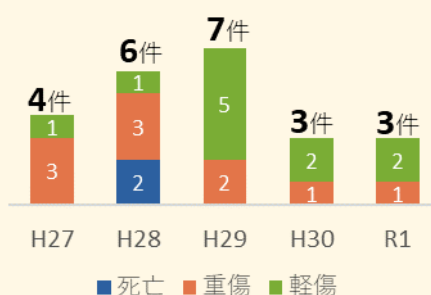


現状と課題

社会環境

- ◆健全な社会環境づくりのため、道徳教育の推進、家庭内暴力防止、児童虐待防止等を継続的に取り組む必要があります。
- ◆福祉施設や教育施設、公園等のパトロールを行い、地域の防犯に努めています。今後、更なる防犯体制強化のため地域との連携強化や防犯カメラの設置等の検討に取り組む必要があります。
- ◆カーブミラーや道路減速帯等の設置及び維持管理を行い、交通事故の未然防止を図っています。

交通事故の発生状況（単位：件）



資料：沖縄県交通白書

飼育動物・野生動物

- ◆飼い犬については、狂犬病の対策として予防接種を年に1回義務づけています。
- ◆野良犬・野良猫の繁殖及び病気などへの対策は、沖縄県や関係団体と連携し検討する必要があります。
- ◆その他の野生動物、害獣及び害虫については、町民生活、産業への影響を考慮し、適切な対策を講じる必要があります。

施策の展開

Free
Space

健全な社会環境づくり **福祉** **教育** **総務**

- ◆要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの専門機関と連携し、不安を抱える児童への支援に努めます。
- ◆地域における、効果的な防犯に関する対策を検討します。
- ◆交通事故の未然防止を図るため、カーブミラーや道路減速帯等の設置を推進するとともに、交通施設の維持管理に努めます。
- ◆沖縄県警察と連携しながら、飲酒に絡む事故や犯罪防止対策の強化を推進します。

飼育動物・野生動物への対応 **環境**

- ◆関係団体と連携しながら狂犬病対策の予防接種に対する啓発活動に努めるとともに、野良犬・猫については、里親制度を推進します。
- ◆関係機関と連携し、害獣及び害虫への適切な対策を検討します。

目指そう指標

交通事故発生件数

基準値（令和元年）

3 件

目標値（令和 7 年）

0 件

狂犬病予防接種率

基準値（令和 2 年）

68.7%

目標値（令和 7 年）

80%

「暮らす」すべての世代のために▶安心・快適な生活環境づくり



「施策23」

災害に強い島づくり

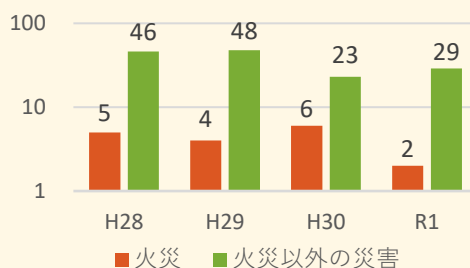


現状と課題

防災・減災対策

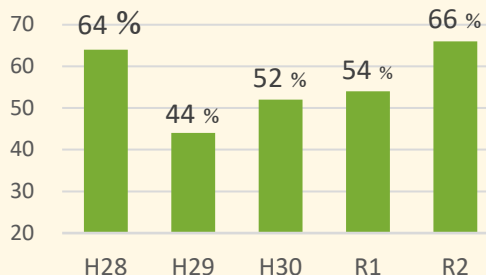
- ◆防災無線や町ホームページ、コミュニティラジオを通じて台風時などの防災情報を発信しています。
- ◆町民の災害危機管理意識の高揚が図れるよう、防災マップ・ハザードマップの作成及び防災訓練を行っています。
- ◆地震や津波などの大規模災害に備え、避難施設及び避難経路の周知徹底、防災訓練の充実が必要です。
- ◆独居老人宅の防火診断や住宅用火災警報器の設置推進に取り組んでいます。
- ◆防火対象物や危険物施設の立ち入り査察や消防用設備等点検報告の指導を行うなど、火災予防運動の更なる充実強化に取り組んでいます。
- ◆災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うため、令和2年度に防災情報システムを整備しています。

災害出動件数（単位：件）



資料：消防本部統計資料

住宅火災報知器の設置率



資料：消防本部課統計資料

消防体制

- ◆消防学校、医療機関等と連携した各種研修等を実施し、消防職員及び消防団員のスキルアップに努めています。
- ◆緊急消防援助隊の各種訓練に参加し、町における大規模災害時の応援・受援体制の強化に努めています。
- ◆消防活動の拠点となる消防庁舎の老朽化が顕著であることから、早急な改修が望まれます。

要配慮者対策

- ◆障がい者（児）や高齢者が、万が一の災害時に安全に避難できるよう、日頃の防災訓練や避難支援体制の構築が必要となっています。

施策の展開

Free Space

防災・減災体制の強化 総務 消防 建設

- ◆防災に関する個別計画の見直し・策定を推進します。
- ◆地域の防災力の向上を高めるため、消防団、女性消防クラブ員、自主防災組織の機能強化を推進します。
- ◆防災拠点の機能充実及び強化、緊急時の物資搬送拠点の整備、消防水利の改修を推進します。
- ◆防火対象物や危険物施設の立入査察、消防用設備等の設置指導及び維持管理、指導を徹底します。
- ◆毎年襲来する台風、万が一の自然災害に備え、日常の維持管理を徹底し災害に強いインフラづくりを推進します。

消防体制の充実 消防

- ◆消防職員や消防団員の知識及び技術の向上に向け、関係機関との合同訓練及び研修等への派遣を推進します。
- ◆老朽化した消防庁舎の改修を推進します。
- ◆消防車両の適切な維持管理に努め、各種災害への出動体制の充実強化を図ります。

災害時要配慮者対策 消防

- ◆障がい者（児）や高齢者が、火災や自然災害時に安全に避難できるよう、医療福祉機関と地域が連携した防災訓練や避難支援体制の構築を図ります。
- ◆災害時に避難が必要な高齢者や障がい者（児）等要支援者の個別避難計画づくりに努めます。

目指そう指標

町防災訓練参加率

基準値（令和元年）

25%

目標値（令和 7 年）

32%

出火件数

基準値（令和 2 年）

7 件

目標値（令和 7 年）

0 件

≡ keyword ≡

ハザードマップ

発生の予測される自然災害について、その被害の及ぶ範囲、被害の程度、さらに避難の道筋、避難場所等を表した地図のこと。

スキルアップ

技術力を高めること。

インフラ

（インフラストラクチャー）

社会的経済基盤と社会的生産基盤とを形成するものの総称。道路・港湾・河川・鉄道・通信情報施設・下水道・学校・病院・公園・公営住宅などが含まれる。

「暮らす」すべての世代のために▶安心・快適な生活環境づくり



「施策24」

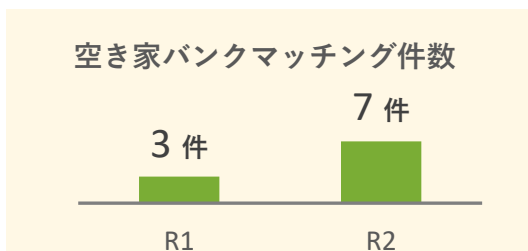
快適な住環境づくり



現状と課題

住環境

- ◆景観形成に取り組む各団体等は、道路沿いの花植えの緑化活動並び地域のごみ拾い等の美化活動を実施しています。
- ◆令和元年度に町内の空き家等実態調査を行い、島内に155件の推定空き家等があることがわかっています。
- ◆空き家活用の方針利活用協議会を立ち上げ、空き家調査や空き家活用に関する意見交換会を開催しています。
- ◆将来的に空き家等を増やさないためにも、発生を未然に防ぐ必要があります。



資料：企画財政課統計資料

■商店街の空き店舗

商店街 総店舗数	空き店舗 総数	R1 空き店舗率	H30 空き店舗率	空き店舗 増加ポイント R1-H30
30	12	40.0%	28.6%	11.4

資料：商店街実態調査結果報告書（令和元年）

- ◆商工会と連携し、空き店舗解消につながる補助金の支援メニュー等の情報収集や講師の招聘による研修の実施など、賑わいのある商店街の創出に取り組んでいます。

墓地・火葬場

- ◆引き取り手がいない故人の供養を行っています。
- ◆墓地の散在化を防ぐため、共同墓地の整備、共同墓への誘導が必要です。
- ◆葬祭場（平成30年5月供用開始）及び納骨堂（令和3年6月供用開始）は、適切な維持管理が必要です。

公共空間

- ◆集落内道路や排水路について、整備の緊急度調査を行っています。
- ◆公園や比屋定展望台など、町民の憩いの場所の適切な維持管理を行っています。

情報通信基盤

- ◆新型コロナウイルスの影響により、テレワークの促進、GIGAスクール構想の推進等、ICT環境の重要性が一層高まっています。

施策の展開

Free Space

住みよい住宅環境づくり **建設** **企画**

- ◆道路沿いの緑化活動及び美化活動を促進します。
- ◆景観計画に基づく取り組みを推進し、良好な集落景観の維持・保全を図ります。
- ◆空き家の有効活用において、取り組みの強化に努めます。

賑わいのある商店街の創出 **商観**

- ◆各商店街の空き店舗の解消を促進します。
- ◆まちなみや道路・沿道の景観形成など、賑わいと活気のある商店街づくりを推進します。

適切な墓地・火葬場の管理 **環境**

- ◆葬祭場の適切な運営を行い、葬儀に伴う町民負担の軽減を図ります。
- ◆納骨堂の利用を促進することで、墓地の散在抑制や無縁仏の適正管理に努めます。

快適な生活基盤の整備 **建設** **環境** **プロ**

- ◆役場や公民館、空港・港湾など、住民が利用する施設の維持管理と必要に応じた修繕・改修を推進します。
- ◆道路の安全な交通機能を維持し、沿道の緑化及び美化も推進します。
- ◆公園や比屋定展望台など公共空間の点検及び適切な維持管理に努めます。
- ◆ICTは離島の地理的特性を克服する重要なインフラであることから、その利活用と整備について関係機関と連携し推進します。

目指そう指標

空き家バンク
マッチング件数
(累計)

基準値 (令和 2 年)

10 件

目標値 (令和 7 年)

45 件

商店街の
空き店舗率

基準値 (令和元年)

40%

目標値 (令和 7 年)

9.8%

Keyword

空き家バンク
地方公共団体が住民から空き家の登録を募り、空き家の利用を希望する人に物件情報を提供する制度のこと。

「暮らす」すべての世代のために▶島民の健康づくり推進



「
施策
25
」

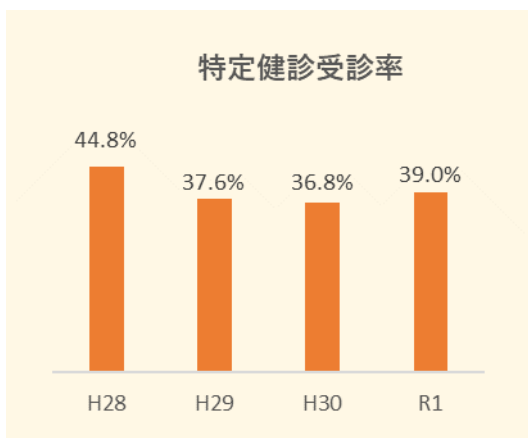
島民の健康づくり推進



現状と課題

健康づくり

- ◆メタボリックシンドロームによる高血圧、糖尿病、脂質異常症など有病者が増加傾向にあります。
- ◆特定健診未受診者を対象に健診受診勧奨を行っています。
- ◆特定保健指導は、保健師、管理栄養士、看護師のみが実施できるため、配置専門職の増減が保健指導率に大きな影響を与えています。
- ◆高齢化に伴い、がんによる死亡者は近年増加傾向にあります。早期に発見できたがんは、治療できる可能性が高まるとともに、治療内容・期間が縮小され、患者の負担軽減にもつながります。



資料：福祉課統計資料

感染症対策

- ◆風しんの抗体検査及び乳幼児を含む予防接種を対象者に無償で実施しています。
- ◆インフルエンザや新たな感染症に速やかに対応が出来る体制を整備する必要があります。

医療体制

- ◆公立久米島病院の設立から 20 年以上経過していることから、計画的な施設の整備や修繕、機器の更新が必要です。
- ◆理学療法士等の専門職の確保や育成が必要となっています。
- ◆難病等で通院している方に、通院に係る渡航費の一部を助成することで患者や家族の経済的負担を軽減しています。
- ◆島内における歯科医院は、令和 2 年 5 月から 1 医院体制となっています。必要な診療が受けられない町民の口腔内の健康に与える影響が危惧されます。
- ◆通院に係る渡航費の一部を助成することで患者や家族の経済的負担を軽減しています。

施策の展開

Free Space

町民ひとりひとりの健康づくり **福祉**

- ◆町民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組むための意識の醸成や仕組みづくりを推進します。
- ◆SMAP（スマートプロジェクト）を中心に、運動習慣の定着を図りながら、子どもから高齢者まで、町民全世代の健康づくりを支援します。
- ◆住民健診の実施により、生活習慣病の重症化予防を図るとともに健康増進に繋がります。
- ◆特定健診受診率増加を目指し、受診推奨や受診しやすい環境を整えます。
- ◆特定保健指導員の安定的な配置や、健康運動指導士の確保に努めます。
- ◆町が実施しているがん検診（住民健診、婦人検診等）は、期間や定員が限定的であることから、必要な方が受診できる環境づくりに努めます。

感染症対策の強化 **福祉**

- ◆風しん抗体保有率の向上に努めます。
- ◆感染症等に速やかな対応が出来るよう、医療機関と連携した防疫体制の構築に努めます。

医療体制の充実 **福祉**

- ◆沖縄県離島医療組合の運営健全化を図るとともに、公立久米島病院との連携強化を推進します。
- ◆島内で不足している医療専門職の育成や確保するための体制構築に取り組みます。
- ◆歯科医院や専門診療科を誘致するなど、関係機関と連携し早期に体制を構築できるよう努めます。
- ◆通院に係る渡航費の助成内容をさらに検討し、経済的負担軽減が図れるよう、助成回数や助成額等の見直しに努めます。

目指そう指標

特定健診受診者
におけるメタボ
リックシンドローム
該当者の割合
(国民健康保険ベース)

基準値（令和2年）

メタボ 34.7%

予備軍 21%

目標値（令和7年）

15%

11.9%

keyword

メタボリックシンドローム
内臓の周囲に脂肪がたまり、それに加えて高血糖・高血圧・高脂血・高コレステロールの症状のいくつかを複数併せもつ状態のこと。

SMAP
(スマートプロジェクト)
久米島町民の健康状態を改善する取り組み。利用者それぞれに合った運動量等を健康運動指導士が指導を行う。

「暮らす」すべての世代のために▶島民の健康づくり推進



「施策26」

スポーツ・レクリエーションの振興



現状と課題

スポーツ・レクリエーション活動

- ◆スポーツ・レクリエーションを目的とした観光客の増加に向けて、島内イベントの告知を島外発信する必要があります。
- ◆久米島マラソン大会を開催し、島民の運動習慣の醸成及び島外参加者との交流を行っていますが、参加数は比較的減少しています。
- ◆パークゴルフ場の利用者は減少傾向となっています。利用者増加に向けて関係団体との連携が必要です。

久米島マラソンの参加人数

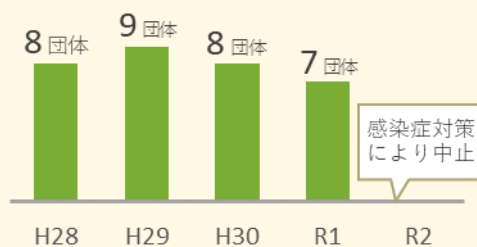


資料：商工観光課統計資料

運動施設

- ◆運動公園施設の老朽化が進むことから、施設の修繕が必要となります。
- ◆野球場施設の設備点検を行い、老朽箇所の修繕を行う必要があります。
- ◆久米島野球場及び仲里野球場においては、プロ野球球団が春季キャンプを実施し、町民のスポーツ振興に寄与しています。

スポーツキャンプ受入数



資料：商工観光課統計資料

施策の展開

Free Space

スポーツ・レクリエーション活動の機会創出 福祉 教育 商観

- ◆様々なスポーツ・レクリエーション活動を通して、町民の健康増進を図るとともに、交流の機会を創出します。
- ◆久米島の特色を盛り込んだイベントの企画や告知の強化を図り、町の活性化に努めます。
- ◆各種イベントの企画・開催にあたっては、久米島町観光協会と連携を図り、宿泊施設の確保、イベントの告知・PRを通して、観光客も参加できる、参加したくなるイベント・交流機会の創出を推進します。

施設の利用促進 環境 商観

- ◆スポーツ施設の利用促進に向けて、町民の健康増進やスポーツキャンプ誘致など、関係機関の施策や取り組みを有機的に連携させ、相乗効果を生み出していきます。
- ◆スポーツ施設の適正な管理、老朽化した施設の計画的な更新等に努めます。

目指そう指標

パークゴルフ場
利用者数（町民）

基準値（令和元年）

20,675 人

目標値（令和 7 年）

28,380 人

久米島マラソン
エントリー数
（町民）

基準値（令和元年）

522 人

目標値（令和 7 年）

600 人

keyword

スポーツキャンプ
スポーツチームが、公式戦の期間外などに、ある地域に宿営して全体練習や個人練習などを行うこと。

「暮らす」すべての世代のために▶共に暮らせる島づくり



「施策27」

福祉の充実



現状と課題

障がい者（児）福祉

- ◆特別な配慮や支援を必要とする方の相談窓口として専門職の確保が求められています。
- ◆障害者手帳を所持していない方、各種サービスを利用していない方に制度案内や利用方法の周知を行う必要があります。
- ◆日常生活に必要な装具・用具の支給、医療費の給付・助成、成年後見制度の利用案内など、障がい者（児）福祉の充実、生活の負担軽減に取り組んでいます。
- ◆障がい児を支援する放課後等デイサービス・児童発達支援多機能型事業所が令和2年5月に開所し、サービスの利用が可能となっています。（施策5再掲）
- ◆障がい者（児）が地域の中で自立した生活を送るための社会資源の充実を目指し、地域の方々の理解を深め、関係機関との連携強化にも取り組んでいます。

生活困窮者への福祉

- ◆民生委員・児童委員の活動により、地域で安心して暮らせることに寄与しています。
- ◆生活困窮者を対象に相談支援や就労支援などを行っています。
- ◆ひとり親家庭を対象に医療費の助成を行い、経済的負担の軽減を行っています。

福祉体制

- ◆地域で支えあう社会福祉の構築を目指し、社会福祉協議会を中心に障がい者や生活困窮者への支援など、関係機関と連携して、福祉事業に取り組んでいます。
- ◆社会福祉協議会の地域における役割として、関係機関との連携強化、支援等が求められています。
- ◆社会福祉の充実に向けて、社会福祉に関わる支援者の育成が必要です。
- ◆令和2年現在、町における認知症サポーター数は973名となっています。
- ◆健全な国保事業運営のため、国保税の適正な賦課及び徴収への取り組みを強化しています。

施策の展開

Free Space

障がい者（児）福祉サービスの充実 **福祉**

- ◆提供サービスの増加や質の向上のために、専門職の継続的な配置を行い、多くの町民の希望に沿った生活が送れるように支援します。
- ◆各事業所、関係機関と連携を図り、障がい福祉サービスの向上、制度の周知に努めます。
- ◆地域住民が障がい者（児）への理解を深められるよう、スポーツ交流、福祉交流の機会創出を図るとともに、社会全体で障がい者の自立を支援できるよう、啓発・広報活動を強化します。

生活困窮者等対策の強化 **福祉**

- ◆民生委員・児童委員の定数を満たす人材の確保に努めます。
- ◆生活困窮者等の要援護者を早期に把握し、自立・就労に向けた様々なサービスを社会福祉協議会と連携し、総合的、一体的に対応します。
- ◆ひとり親家庭を対象とした医療費の助成強化など、引き続き経済的・心理的負担の軽減を図ります。

社会福祉体制の強化 **福祉**

- ◆地域住民と障がい者（児）が共に生活を送れるよう、福祉サービスの充実や体制強化を通して、ノーマライゼーション社会の実現を目指します。
- ◆広報誌やパンフレット、電子媒体等を用いて周知を徹底し、町民が福祉事業を理解し、各種サービスをうまく活用できるよう努めます。
- ◆社会福祉協議会の事業の充実と地域福祉の推進・向上を図ります。
- ◆認知症サポーターの養成講座を開催するなど、認知症となっても暮らしやすい社会づくりに取り組みます。
- ◆安定的な国保運営を目指すため、適正な賦課、徴収率の維持又は向上に努めます。

目指そう指標

障がい福祉サービス
利用者のうち
島内でサービス
利用する者の割合

基準値（令和 2 年）

60.9%

目標値（令和 7 年）

70%

keyword

認知症サポーター制度

認知症患者について正しく理解し、見守りや生活上の細かな支援を行うボランティアを養成する制度。

ノーマライゼーション(社会)

障害のある人もない人も互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会を目指す理念のこと。

「暮らす」すべての世代のために▶共に暮らせる島づくり



「施策28」

多様なニーズに応えられる町づくり

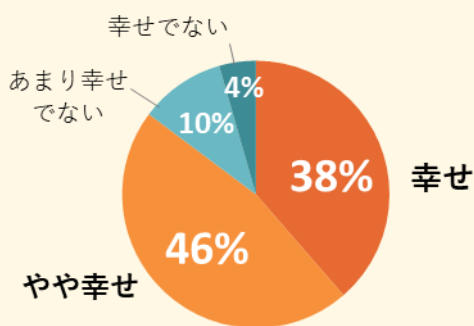


現状と課題

町民のニーズ把握

- ◆町民のニーズに応えられるよう、行政職員の育成及びスキルアップが求められます。
- ◆誰もが暮らしやすい島づくりの推進や満足度の高い行政運営を実施していくためには、定期的に町民のニーズを把握する必要があることから、広聴活動の強化が求められます。
- ◆まちづくりを担うNPO等への支援や育成が必要です。

島での暮らしの幸福度

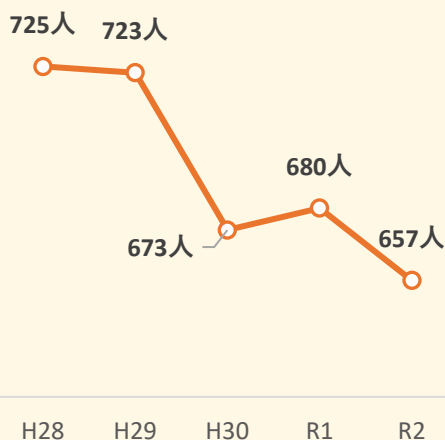


資料：令和2年住民アンケート（n=482）

少子化対策

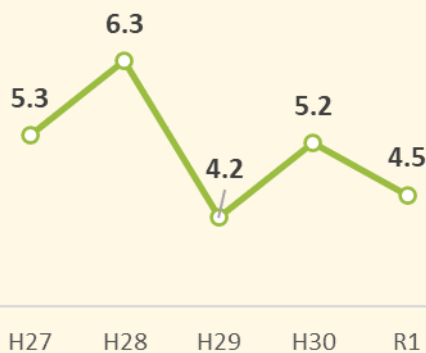
- ◆合計特殊出生率が2.31から2.07へと低下しています。
- ◆少子化の大きな原因に、経済的な不安に伴う未婚化、晩婚化が挙げられており、結婚しても仕事と子育ての両立が難しいといったことが指摘されています。

20歳～39歳の女性人口



資料：町民課統計資料

婚姻率（人口千人当たり）



資料：沖縄県統計年鑑

施策の展開

Free Space

多様なニーズへの対応 企画

- ◆経年的に島民の声や満足度を把握し、総合計画や個別計画などの策定や見直しに活用します。
- ◆暮らしの満足度の向上に向けて、町民ニーズを把握するための定期的な調査の実施を検討します。
- ◆ふるさと納税（NPO 等支援制度）の周知、登録団体増加に取り組みます。
- ◆SDGs を軸とする誰一人取り残すことのない優しい島づくりに努めます。
- ◆すべての男女がお互いにその人権を認め、責任を分かち合い、自分自身の個性と能力を発揮できるまちづくりに努めます。
- ◆若い新婚世代の新居確保に対する経済的支援に努めます。
- ◆女性が活躍できるまちづくりを推進します。
- ◆性の多様性を尊重し、性的マイノリティが生きやすい社会を目指すため、LGBT パートナーシップ制度の実現を目指します。

目指そう指標

20 歳～ 39 歳の
女性人口

基準値（令和 2 年）

657 人

目標値（令和 7 年）

725 人

婚姻率
（人口千人当たり）

基準値（令和元年）

4.5

目標値（令和 7 年）

5.8

≡ keyword ≡

NPO

非営利団体のこと。特に、政府や企業などではできない社会的な問題に、営利を目的とせずに取り組む民間組織のこと。

マイノリティ

少数派のこと。

LGBT

性的少数者のうち、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの総称のこと。

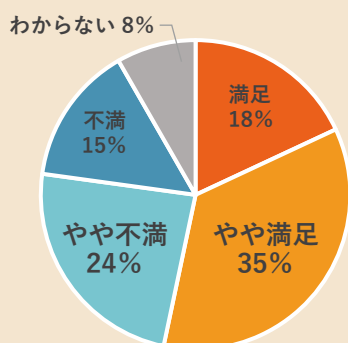


住民アンケート結果⑤

—— 暮らす 世代のために 編 ——

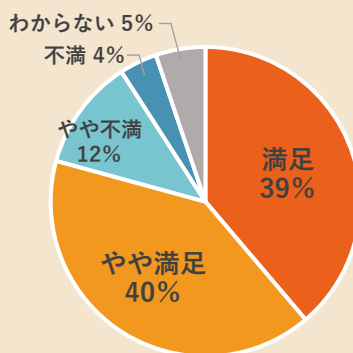
Q. 久米島町での暮らしについてどう感じていますか？

『移動手段』について



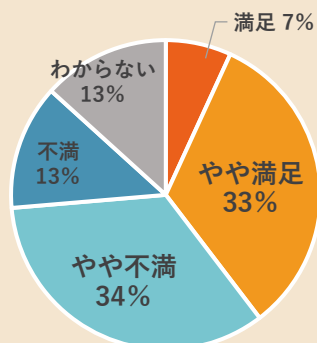
- 1位：やや満足 35%
- 2位：やや不満 24%

『治安』について



- 1位：やや満足 40%
- 2位：満足 39%

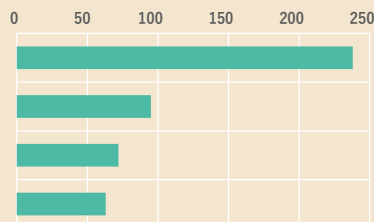
『防災』について



- 1位：やや不満 34%
- 2位：やや満足 33%

Q. 周辺の住環境について問題点がありますか？

- 1位：空き家・空き地の増加 238名
- 2位：遊休農地の増加 95名
- ・ 近隣の日用品店舗の不足 72名
- ・ 利用しやすい公園の不足 63名



暮らしの『移動手段』については、「満足」および「やや満足」の合計が半数に留まっており、理由をみると公共交通機関の利用者に不満が多いようです。『治安』については、満足度が高いが、空き家・空き地が増加しており問題点として認識されています。『防災』については、半数近くが「やや不満」および「不満」と感じており、避難や備蓄に対し不安という意見が多く、町の防災対策があまり周知されていない現状があるようです。

また、歯科や眼科、皮膚科など医療施設が少なく困っているという意見がとて多く、町としての対応策が必要です。

みなさんの声



- 飲酒運転や無免許運転、車検切れをよく見かけるため交通に関して不安がある。(30代女性)
- 事件事故の話をあまり聞かないため、治安はよく安心して暮らせると思う。(30代女性)
- 大津波が発生した場合の避難場所や備蓄に不安があり、台風などの悪天候時の流通に困っている。(20代男性)
- 医療機関が少ないため、受診のために島外へ行かなければならない。(50代女性)

島づくりの目標

老いる 世代のために

高齢者福祉の充実

- | | |
|------|------------------|
| 施策29 | 高齢者の生きがいある暮らしづくり |
| 施策30 | 高齢者の健康増進 |
| 施策31 | 高齢者が安心して暮らせる島づくり |



「老いる」世代のために▶高齢者福祉の充実



「施策
29」

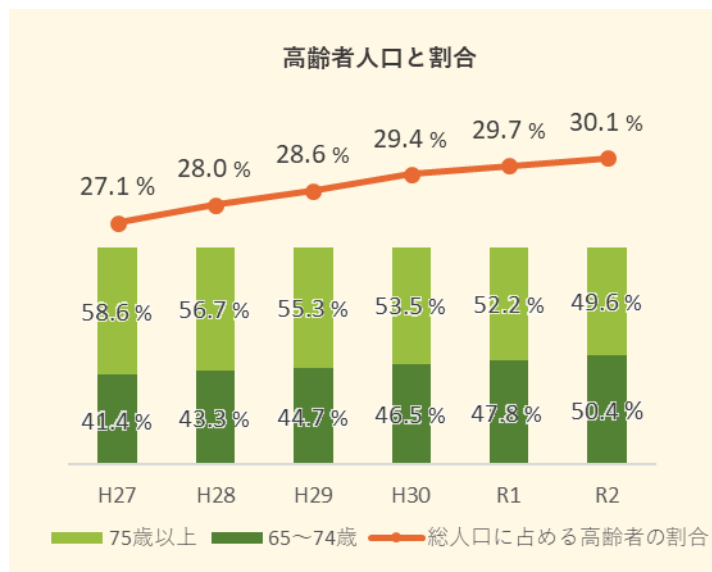
高齢者の生きがいある 暮らしづくり



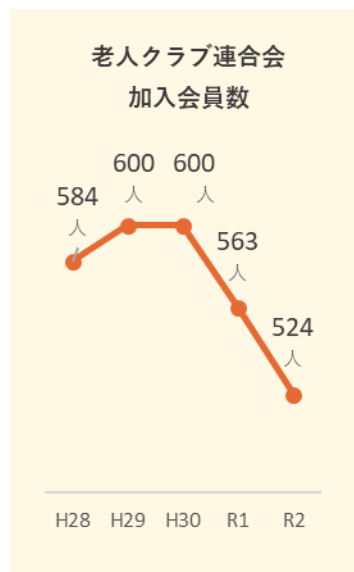
現状と課題

高齢者福祉

- ◆高齢者人口は年々増加する一方、75歳以上の人口及び割合は減少しています。
- ◆高齢化率の伸びとともに、独居高齢者や夫婦のみの高齢者世帯が増加傾向にあります。
- ◆高齢者の新しい挑戦やそのきっかけづくりを支援する体制づくりが必要です。
- ◆支援が必要な身寄りのない方や若年性認知症の方を早期に発見し、介護施設や病院など、関係機関と連携を密にして対応することが求められます。



資料：住民基本台帳人口（各年3月末現在）



資料：福祉課統計資料

施策の展開

Free Space

豊かな高齢社会の実現 **福祉**

- ◆高齢者が活動しやすい地域づくりとして、引き続き老人クラブへの助成や老人クラブの発展と会員の増加に繋がるよう、広報誌・ホームページ等で活動を適時紹介するなど、老人クラブを通じた生きがいづくりや居場所づくりに努めます。
- ◆高齢者がいつまでも元気で生き生きと暮らしていける、又は活動的に充実した生活が送れる社会の実現に努めるとともに、元気に働ける高齢者が活躍できる体制づくりを検討します。
- ◆多様化する高齢者のニーズに応えるため、国の基本方針に基づき、地域包括ケアシステムの構築を図りながら、認知症施策等を推進します。

目指そう指標

介護認定を
受けていない
高齢者の割合

基準値（令和２年）

76.9%

目標値（令和７年）

81.8%

久米島町
老人クラブ連合会
加入会員数

基準値（令和２年）

524 人

目標値（令和７年）

660 人

Keyword

地域包括ケアシステム

重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるケア体制のこと。

「老いる」世代のために▶高齢者福祉の充実



「施策30」

高齢者の健康増進

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



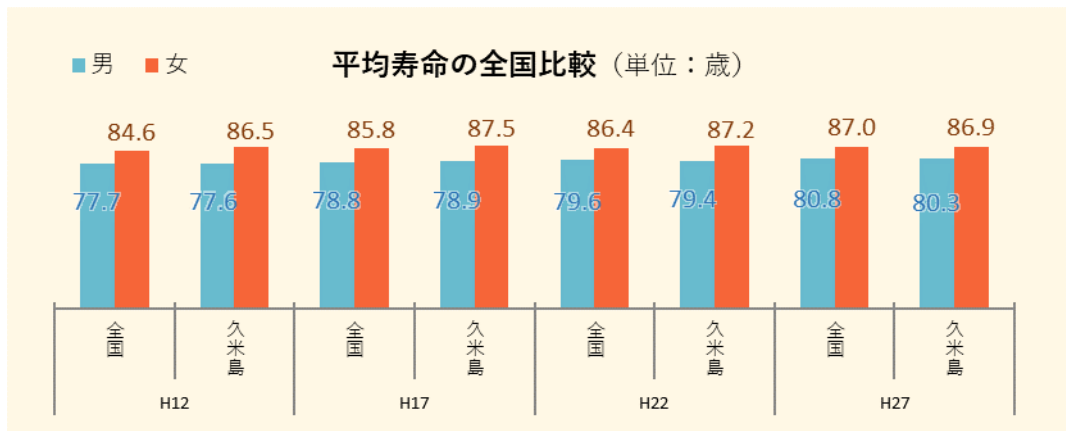
現状と課題

高齢者の健康増進

- ◆各地域の老人クラブでは、ゲートボールやパークゴルフなどの健康増進に繋がる活動が行われているとともに、地域のコミュニティも形成されています。
- ◆栄養改善が必要な高齢者に対する配食サービスを行っています。同サービスを行うことで、安否確認にもつながっています。
- ◆高齢者の筋力向上を目的とした予防教室を実施し、介護予防に努めています。
- ◆独居高齢者や高齢者世帯等の閉じこもり対策を行い、社会参加を促進しています。



パークゴルフの様子



資料：市町村別平均寿命

施策の展開

Free Space

高齢者の健康づくり体制の充実 **福祉**

- ◆高齢者がどのような心身の状態であっても、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい日常生活を営んでいけるよう努めます。
- ◆各地域で行われている老人クラブ活動への参加を促進します。
- ◆社会福祉協議会及び久米島町老人クラブ連合会と連携を強化し、パークゴルフ場等の運動施設を利用した高齢者の参加しやすいイベントを開催します。
- ◆高齢者の健康づくり・体力づくりに資するよう、健康運動指導員の確保と育成を推進します。
- ◆栄養改善が必要な高齢者を対象に栄養バランスの取れた食事を提供し、栄養改善を図ります。
- ◆特に要介護者の重度化防止を図るため、介護予防の普及啓発活動に努めます。
- ◆独居高齢者や高齢者を対象に通いの場を提供し、地域活動の充実や閉じこもり防止に努めます。

目指そう指標

平均寿命

基準値（平成 27 年）

目標値（令和 7 年）

男性 80.3 歳

82.2 歳

女性 86.9 歳

87.9 歳

「老いる」世代のために▶高齢者福祉の充実



「施策
31」

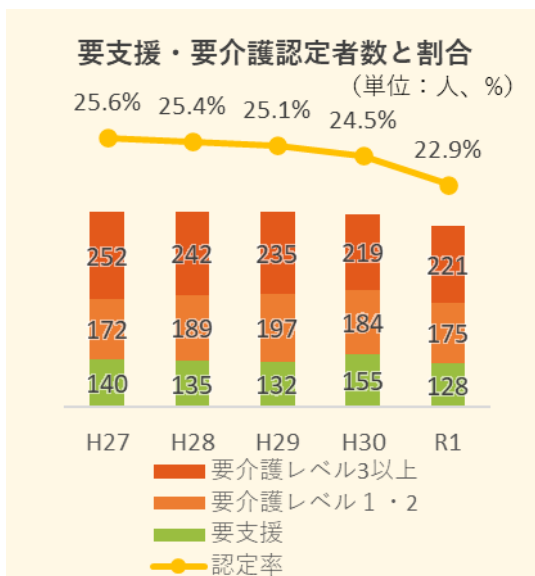
高齢者が安心して暮らせる 島づくり



現状と課題

介護・医療体制

- ◆栄養改善が必要な高齢者に対する配食サービスを行っています。同サービスを行うことで、安否確認にもつながっています。（施策 30 再掲）
- ◆生活支援コーディネーターと連携を図り、高齢者が必要としていること、困っていることを把握し、高齢者福祉や介護保険サービス、医療受診に繋げる必要があります。
- ◆介護保険被保険者が安心して介護保険サービスを受けることができるよう、医療機関や介護事業所などと連携した、介護・医療体制づくりに取り組んでいます。
- ◆居宅介護支援事業所等と連携し、介護支援専門員の負担軽減、人材の確保・育成が必要となっています。



- ◆介護福祉分野の専門職や従事者が人材不足となっています。増加する高齢者へ必要なサービスを提供するための介護に携わる人材の確保や育成が必要です。
- ◆市内の2つの特別養護老人ホームの利用率は常に高い状況にあり、入所定員数の増加について要望があります。特に島外の施設へやむを得ず入所する方への対応が必要です。
- ◆認知症初期集中支援体制の構築及び強化が必要です。また、多くの町民に認知症カフェを知ってもらうとともに、気軽に参加できるよう工夫する必要があります。

高齢者ケア

- ◆高齢者の筋力向上を目的とした予防教室を実施し、介護予防に努めています。（施策 30 再掲）
- ◆独居高齢者や高齢者世帯等の閉じこもり対策を行い、社会参加を促進しています。（施策 30 再掲）
- ◆法人後見の活動等に向けて、地域の実態把握や情報連携の強化が必要です。
- ◆自立支援や重度化防止に向けた地域ケア会議を早期に設置する必要があります。
- ◆地域で見守っていく中で重要な役割を担う民生委員・児童委員の定員充足が十分でない状況となっています。

施策の展開

Free Space

介護・医療制度の充実 福祉

- ◆栄養改善が必要な高齢者を対象に栄養バランスの取れた食事を提供し、栄養改善を図ります。(施策 30 再掲)
- ◆医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、医療機関や介護事業所などの関係者と連携を強化し、在宅医療と介護の一体的な提供を図ります。
- ◆島内の居宅介護支援事業所等と連携し、介護職員及び関係者の負担軽減や人材の確保・育成を図ります。
- ◆介護が必要となっても安心して暮らしていけるよう、介護給付サービスの充実や従事者の質の向上を図るとともに、介護保険料の低減に向けた介護予防等の取り組みを推進します。
- ◆認知症の早期診断や早期対応、継続的なケアに向けた支援体制を構築します。

健やかで活動的な高齢期を過ごせる地域づくり 福祉

- ◆特に要介護者の重度化防止を図るため、介護予防の普及啓発活動に努めます。(施策 30 再掲)
- ◆独居高齢者や高齢者を対象に通いの場を提供し、地域活動の充実や閉じこもり防止に努めます。(施策 30 再掲)
- ◆地域包括ケアシステムの構築、後見人制度の周知及び担い手確保・育成を推進し、地域包括ケアや見守りなどの体制の整備を図ります。
- ◆高齢者それぞれの価値観や生き方が尊重され、その人らしい人生を送ることができるよう、高齢者の自立をみんなで支える地域づくりに努めます。
- ◆コミュニティバスの導入や町営バスのルート変更など、県内外の事例を参考にしながら、本町における移動が困難な方への支援のあり方を検討します。

目指そう指標

地域サロン参加人数
(20 公民館等通いの場の提供)

基準値 (令和元年)

2,400 人

目標値 (令和 7 年)

2,640 人

≡ keyword ≡

認知症カフェ

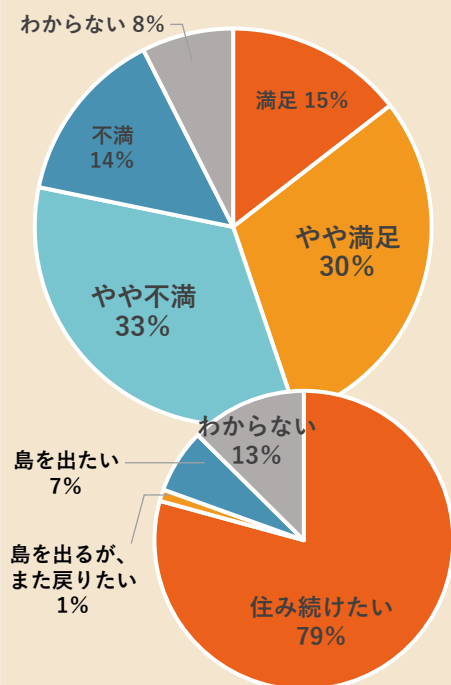
認知症の人の介護者の負担を軽減するため、認知症初期集中支援チーム等による早期診断・早期対応を行うなど、家族支援と初期の認知症の人の支援を行う場のこと。



住民アンケート 結果⑥

—— 老いる 世代のために 編 ——

Q. 久米島町での高齢者福祉についてどう感じていますか？



● 1位：やや不満 33%

● 2位：やや満足 30%

60歳以上の方

Q. これからも島に住み続けたいと思いますか？

● 1位：住み続けたい 79%

● 2位：わからない 13%

高齢者福祉については、「やや不満」および「不満」の合計が半数となっており、満足度はあまり高いことがわかりました。

理由をみると、介護施設やそこで働く職員の数が不足している現状に対する不安や病気になった際の島での医療体制、また免許返納後の移動手段など、この島で住み続けていくためのこれからを心配する声が多くみられました。

しかし、60歳以上の方々の居住意向では8割が今後も島に住み続けたいと回答していることから、高齢者が安心して住み続けられる島の環境作りが課題となっています。

みなさんの声



- 介護施設、また担い手も不足しているため最後まで島で暮らせるかが不安である。（80代女性）
- 車の免許を返納したら移動が難しくなる。（30代男性）
- 病気になった際の通院や手術など、島の医療体制と経済的にも不安がある。（40代男性）
- 高齢で一人になり困った場合の相談窓口を知りたい。（80代男性）

計画づくりの一幕



フォトギャラリー

住民ワークショップ②

ヤングチーム



アダルトチーム



『島暮らしを豊かにする「稼げる島」になるため』をテーマに、参加者をヤングチームとアダルトチームに分けて、島での働く環境についての課題やアイデアを出し合いました。

島づくりの目標

次世代 のために

次世代のための島づくり

- | | |
|------|----------------------------|
| 施策32 | 新しいビジネスの創出 |
| 施策33 | 未来を見据えた人材育成 |
| 施策34 | 伝統文化の継承と文化遺産の
保護・活用 |
| 施策35 | 食料自給率の向上 |
| 施策36 | 再生可能エネルギーによる
エネルギー自給率向上 |
| 施策37 | 島の豊かな自然資源の保護・活用 |

総合計画実現に向けて

- | | |
|------|------------------------|
| 施策38 | 連携する総合計画推進 |
| 施策39 | 住民にわかりやすく効率的な
行財政運営 |



「次世代」のために▶次世代のための島づくり



「施策32」

新しいビジネスの創出



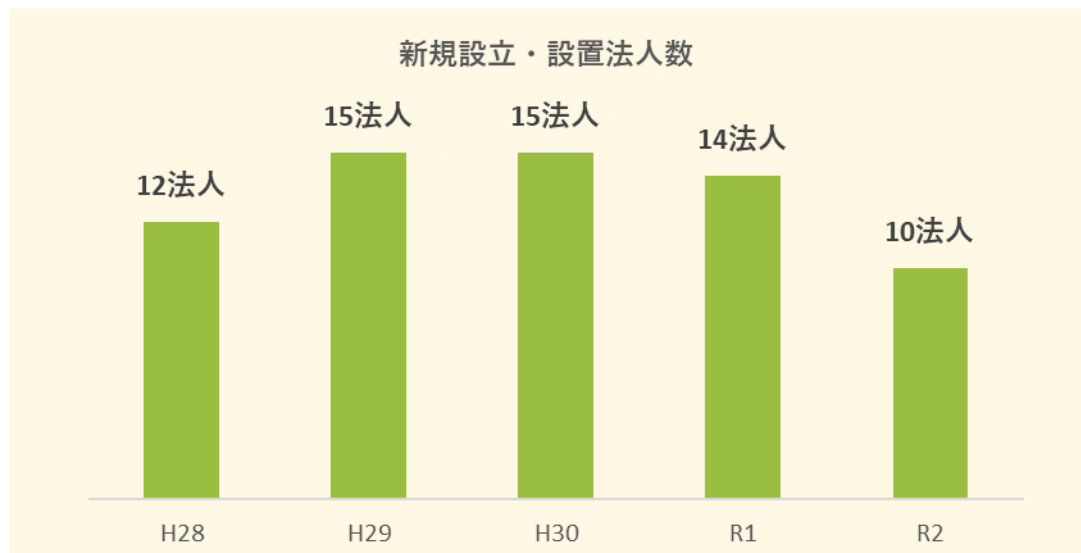
現状と課題

創業支援

- ◆地域資源を活用した新規ビジネス創業希望者を支援し、創業機会の確保に努めています。
- ◆風の帰る森プロジェクトに賛同する企業・団体の動向等の情報収集を行い、本プロジェクトの活動及び運営協力を働きかける必要があります。
- ◆在宅勤務や遠隔勤務など新しい生活様式に対応できるよう、島内のネットワーク環境の強化に向けた検討やニューノーマルな働き方への対応が求められています。

島の資源を生かしたビジネス

- ◆沖縄県海洋深層水研究所から深層水等の分水により、企業の深層水利用に繋げています。
- ◆海洋深層水の利用を検討している企業との情報共有や連携体制の構築が必要となっています。
- ◆久米島紬の後継者育成事業により、担い手の確保に繋げています。



資料：税務課統計資料

施策の展開

Free Space

創業支援体制の確立 商観

- ◆創業希望者への相談窓口を設置するなど、商工会や金融機関と連携し創業支援体制の強化に努めます。
- ◆新規創業に関する支援や協力ができるよう、創業支援体制の確立を図ります。

創業しやすい環境の整備 商観 プロ

- ◆風の帰る森プロジェクトに賛同する企業や団体の誘致を図り、新しいビジネスの創出や創出しやすい環境の整備を支援します。
- ◆島内のネットワーク環境の充実及び強化を官民協働により進め、在宅勤務や遠隔勤務に対応できる就業環境の整備を推進します。
- ◆久米島で旅行を楽しみながら仕事が可能となるよう、ワーケーションの受入体制や環境の整備を促進します。

島の特性を活かした新ビジネスの創出 商観 プロ

- ◆海洋深層水大規模取水管施設の新設に取り組み、深層水関連企業の新規事業の創出や雇用拡大に努めるなど、海洋深層水を活用した複合利用計画「久米島モデル」の実現を推進します。
- ◆久米島紬の担い手の確保と育成を推進します。
- ◆島の資源を活用した新規ビジネス創出等を促進します。

目指そう指標

新規設立・
設置法人数

基準値（令和2年）

10 法人

目標値（令和7年）

15 法人

民営事業所数

基準値（令和元年）

651 事業所

目標値（令和7年）

720 事業所

keyword

風の帰る森プロジェクト
久米島の環境保全と自然再生に向けて、未来の子どもたちが希望を持ち、安心して暮らすことができる社会づくりを目的とするプロジェクト。

ビジネスコンテスト

参加者がビジネスモデルを作り、その完成度と新規性により優劣を競うコンテストのこと。

「次世代」のために▶次世代のための島づくり



「施策33」

未来を見据えた人材育成

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



現状と課題

キャリア教育

- ◆児童生徒の就業意識の向上と地域に愛着を持ち将来地元で貢献できる人材の育成のため、キャリア教育を実施しています。
- ◆中学生がまちづくりについて考え、質問や提案などの体験を通して、議会の役割や仕組みを理解し、社会の一員としての自覚や政治への関心を深めることを目的として「子ども議会」を町議会と連携して開催しています。
- ◆高校魅力化プロジェクトの一環として、地域で活躍している人材の協力を得ながら久米島の課題と今後について考える「まちづくりプロジェクト」を実施しています。
- ◆海洋深層水関連産業の拡大やゼロカーボンシティの実現など、次世代のための島づくりを目指すうえで、ものづくり、理系の人材や持続的な環境保全活動を担う人材を育成する必要があります。



小学生キャリア教育の様子（久米島空港）



子ども議会の様子

各分野における人材育成

- ◆島の目指すべき姿を共有し、島人同士が協力して産業の活性化を図っていくためには、経済5団体が連携し、各分野における人材育成に取り組む必要があります。
- ◆「ニューノーマル」な働き方が全国的に浸透しつつあります。
- ◆介護需要の増加に対応する必要がありますが、サービスの提供を行うケアマネージャー等の人材不足が課題となっています。
- ◆障がい福祉サービスに対応する相談支援専門員等の人材が不足しており、障がい福祉需要への対応が必ずしも十分ではありません。
- ◆保育士の不足により、待機児童が生じています。

施策の展開

Free Space

地元貢献できる人材の育成 **商観** **企画** **プロ** **議会** **福祉** **教育**

- ◆経済5団体及び久米島版DMO推進協議会と連携し、児童生徒へ仕事に対する意識付けを行うとともに、地域産業の魅力を伝え、将来島に貢献できる人材の育成に努めます。
- ◆島の将来を担う子ども達が自分たちの住む地域に関心を持ち、理解を深めるための取り組みを推進します。
- ◆高校生が地域の課題や解決策を考える学習機会を引き続き確保するなど、生徒のキャリア形成を図りつつ、地域に必要な人材の育成につなげる取り組みを推進します。
- ◆エネルギーや環境学習などの教育活動等を通して、子ども達の科学や自然環境に対する興味を引き出し、持続可能な島づくりに貢献できる人材育成の取り組みを推進します。
- ◆横断的な産業振興を図るため、経済5団体及び久米島版DMO推進協議会が連携した人材育成を推進します。
- ◆専門職の育成強化や安定的な確保に向けて、人材バンクの活用や地域おこし協力隊の活用を検討します。
- ◆島内にいながら都市部の仕事を行うテレワークなど「ニューノーマル」な働き方に対応できる人材育成を促進します。
- ◆ケアマネージャー、相談支援専門員など介護・障がい福祉に携わる人材の育成・確保に向けて、島内で参加できる研修会やオンラインを活用した資格取得や更新に係る研修会の開催、奨学金の拡充などの支援に努めます。
- ◆待機児童の解消に必要な保育士の確保・育成の取り組みを推進します。

目指そう指標

将来、久米島で
暮らしたい
中高生の割合
(中高生アンケート)

基準値(令和2年)

35.8%

目標値(令和7年)

80%

前村幸秀人材育成
基金活用生徒数

基準値(令和2年)

50人

目標値(令和7年)

55人

keyword

キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てること。

ゼロカーボンシティ

2050(令和32)年に、二酸化炭素などの温室効果ガス的人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との均衡の達成を目指す旨を、首長自らがまたは地方自治体として公表された自治体を指す。

「次世代」のために▶次世代のための島づくり



「施策34」

伝統文化の継承と 文化遺産の保護・活用

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



現状と課題

文化資源の保存・活用体制

- ◆久米島町の貴重な文化遺産を適切に保存・活用するとともに、様々な文化遺産を展示し、多くの町民や観光客に重要性と必要性を広く周知しています。
- ◆展示会や各種講座・教室等の開催により、町民や観光客に対して島の自然文化に関する情報の発信を行うことで保存継承に努めています。

伝統文化の継承

- ◆久米島紬の後継者育成研修により、担い手を確保し、伝統技術の保存と継承に繋がっています。
- ◆大綱曳きを開催し継続していくことで、伝統文化の継承が図られ町の活性化に繋がることが期待できます。
- ◆沖縄角力は町において、古くから人気のスポーツとして定着しており、全県的な大会で優勝する力士を数多く輩出しております。

文化資源の保存と管理

- ◆史跡等の倒壊防止のため、管理用道の適切な維持管理と整備箇所の常時点検が必要です。
- ◆安全で快適な文化財の利用環境づくりに努めています。
- ◆真謝や仲地など、伝統的な集落形態を有する地域の景観保全が必要です。

登録・指定	種別	件数
国指定	有形文化財（建造物）	2
	重要無形文化財（工芸技術）	1
	記念物（史跡）	2
	天然記念物	2
県指定	有形文化財（建造物）	1
	有形文化財（絵画）	2
	有形文化財（工芸品）	2
	有形文化財（歴史資料）	1
	記念物（史跡）	4
	天然記念物	2
町指定	建造物	1
	歴史資料	4
	有形民俗	1
	史跡	19
	名勝	5
	天然記念物（植物）	12
	天然記念物（地質鉱物）	3

資料：沖縄県教育委員会文化財課要覧



国指定無形文化財 久米島紬（織りの様子）

施策の展開

Free Space

歴史、民俗、文化財等調査研究の拡充 **博物**

- ◆引き続き、様々な文化遺産の適正な保存・活用に努めます。
- ◆久米島の歴史文化の周知を図るとともに、大切な記録として後世へ伝えることに努めます。
- ◆博物館を活用し、様々な文化事業の開催を通して生涯学習機会の提供に努めます。

伝統文化の継承者の育成 **商観** **産業** **博物** **教育**

- ◆織子の後継者育成に取り組み、久米島紬の保存・継承に努めます。
- ◆大綱曳きの大綱の確保など、継続して開催するための体制づくりに努めます。
- ◆沖縄角力の保存・継承に努めます。

文化資源の保存と活用の促進 **博物** **建設**

- ◆具志川城跡の往時の姿を復元し、遺跡の保存及び活用を推進します。
- ◆指定文化財の管理を継続し、き損を防止しつつ美観維持に努めます。
- ◆地域の歴史・文化の継承を図るため、古文書の修復に努めます。
- ◆既設歌碑の利活用に支障のないよう清掃管理に努めます。
- ◆久米島ホテル館を自然学習の場として活用し、自然の大切さを普及・啓発し、湿地の保全に努めます。
- ◆伝統的な集落景観を有する地域の景観保全を図ります。

目指そう指標

博物館入館者数

現状値（令和元年）

6,126 人

目標値（令和 7 年）

6,950 人

文化財指定件数 （累計）

基準値（令和 2 年）

70 件

目標値（令和 7 年）

71 件

≡ keyword ≡

沖縄角力

琉球王朝時代からの歴史を誇る伝統文化の一つ。互いに右四つに組んだ体勢から始まり、相手を倒して背中を地面に付ければ勝ちとなる。

「次世代」のために▶次世代のための島づくり



「施策35」

食糧自給率の向上



現状と課題

久米島産食糧の確保

- ◆食糧生産を行う一次産業の担い手の育成が課題となっています。
- ◆自給率の向上に資する野菜農園や畜産の拡大、水産関連施設等の整備の検討が必要となります。
- ◆農産物や水産物を加工し、販売する6次産業化に取り組む必要があります。

地産物の消費 PR

- ◆久米島町産業まつりや各種イベントを通して、町民へ島の特産品をPRし、消費拡大に取り組んでいます。
- ◆地産地消の強化に向けて、域内循環を推進する必要があります。
- ◆地場産物の優先使用により生産者の所得向上が求められています。
- ◆学校給食食材に地場産物を活用していますが、安定的な供給や流通が課題となっています。



令和元年度久米島町産業まつり（ホテルドーム内）



（出展品）

施策の展開

Free Space

食糧の島内自給率の向上 **産業**

- ◆農業及び水産業の生産者の育成を図ります。
- ◆付加価値の高い商品の展開を推進し、久米島ブランドの構築と生産拡大を図ります。
- ◆生産者（団体）の法人化や6次産業化への展開を促進します。

地産地消の促進 **産業** **商観** **給食**

- ◆島内における消費や取引の現状を把握し、活性化に努めます。
- ◆各種イベントを開催し、地場産物の即売等を積極的に推進します。
- ◆各関係機関と連携し、地場産物の消費を推奨します。
- ◆学校給食への地場産物の活用に向けて、関係団体と連携します。
- ◆島内消費を促すとともに食品ロスの削減を推進します。

目指そう指標

学校給食食料材料
に占める
地元産物の割合
(費用ベース)

基準値（令和2年）

22%

目標値（令和7年）

26%

keyword

6次産業化

農林水産業の生産（一次）、食品加工（二次）、流通販売・情報サービス（三次）の一体化を推進し、地域に新たな食農ビジネスを創出しようとする取り組みのこと。

食品（フード）ロス

食べられる状態であるにもかかわらず廃棄される食品。小売店での売れ残り・期限切れ、製造過程で発生する規格外品、飲食店や家庭での食べ残り・食材の余りなどが主な原因となっています。

「次世代」のために▶次世代のための島づくり



「施策36」

再生可能エネルギーによる エネルギー自給率向上

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



現状と課題

環境への配慮

- ◆令和3年1月に久米島町ゼロカーボンシティを宣言しました。
- ◆2040年までに島内で消費されるエネルギーの100%を再生可能エネルギーによって自給することを目標にしています。
- ◆顕在化する気候変動危機の中、世界的に重要性が増している地球温暖化対策への取り組みとして、再生可能エネルギーの導入促進を行っています。
- ◆日常生活や事業所の活動など、町民一人ひとりが、様々な側面から環境に配慮した取り組みを進める必要があります。



海洋温度差発電施設



太陽光発電（球美中学校校舎屋上）

施策の展開

Free Space

クリーンエネルギーの導入 **プロ** **環境**

- ◆太陽光発電や海洋温度差発電などの再生可能なクリーンエネルギーの導入を促進します。
- ◆脱炭素やカーボンニュートラルな社会を目指し、次世代モビリティ等の導入の検討を行います。
- ◆公共施設等の省エネ設備導入を推進します。
- ◆小中学校へのエネルギー教室を通じて、児童生徒、各家庭、町民への省エネルギーへの普及・啓発を推進します。
- ◆久米島町エネルギービジョン 2020 に基づき地球温暖化対策を推進します。

目指そう指標

再生可能 エネルギーの 自給率

基準値（平成 30 年）

3.1%

目標値（令和 7 年）

14.1%

CO2 排出量 削減率

基準値

一般

—

公共

—

目標値（令和 7 年）

9.4%

12%

※令和 3 年度より集計開始のため基準値の設定はありません。

Keyword

ゼロカーボンシティ

2050（令和 32）年に、二酸化炭素などの温室効果ガス的人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との均衡の達成を目指す旨を、首長自らがまたは地方自治体として公表された自治体を指す。

再生可能エネルギー

自然の活動によってエネルギー源が絶えず再生され、半永久的に供給、継続して利用できるエネルギー。地熱・太陽光・風力などのこと。

カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成すること。

モビリティ

動きやすさ、可動性、移動性、流動性などの意味を持ち、交通や移動手段という意味で用いられることが多い。

「次世代」のために▶次世代のための島づくり



「施策
37」

島の豊かな自然資源の保護・活用



現状と課題

自然環境の保全

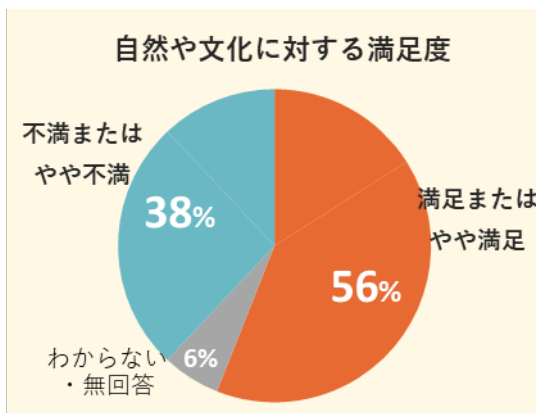
- ◆環境学習会やふれあい体験イベントを通じて野生生物への親しみや環境の保全に寄与しています。
- ◆ホテル館の展示及び活動を通して天然記念物のクメジマボタルを多くの人に周知しています。
- ◆久米島独特の生態系で、絶滅が危惧されている多くの固有種を含む希少種が生息する湿地は、学術的にも高い価値があります。
- ◆林業振興事業を活用し、重要な森林資源の保全に努めています。

海域への赤土流出防止

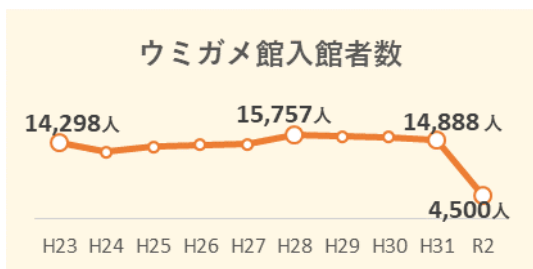
- ◆大雨時に農地より赤土（耕土）が流出し、海岸及び海域へ影響を及ぼしています。
- ◆防風林やグリーンベルトなど農業基盤の整備により、赤土等の流出防止に取り組んでいますが、整備状況は十分ではありません。

環境保全への意識

- ◆地域住民及び観光客のポイ捨て防止や適切なゴミの処理が求められます。
- ◆海洋ゴミの漂着が多いため、継続的な清掃活動に取り組む必要があります。



資料：令和2年住民アンケート（n=482）



資料：商工観光課統計資料



資料：博物館統計資料

施策の展開

Free Space

自然環境の保全及び希少動物の保護 環境 博物

- ◆クメジマボタルをはじめ希少種の保護、生物多様性の確保の取り組みを強化し、天然記念物（町・県・国指定 / 計 27 件）の保全に努めます。
- ◆久米島の希少種の不法採取の取り締まりを強化し、保護に努めます。
- ◆自然環境保全法や自然公園法など、関連する法令と連動しながら、島の豊かな自然の積極的な保全と育成を推進します。

赤土流出防止対策の推進 産業 建設

- ◆持続的な赤土等耕土流出防止対策推進体制構築に努めます。
- ◆沈砂池や排水路の整備を行い、赤土流出防止対策を推進します。

自然保護の普及と理解促進 環境 博物

- ◆指定管理団体やボランティア団体と連携し、町民の環境保全の意識向上に努めます。
- ◆町民の美化意識の向上に努めます。
- ◆良好な自然環境を守るため、海岸への漂着ゴミ対策に努めます。

目指そう指標

久米島ホテル館
入館者数

基準値（令和元年）

6,454 人

目標値（令和 7 年）

8,960 人

keyword

グリーンベルト

裸地や畑の周辺、斜面の下側などに、樹木や草木などの植物を帯状に植えることにより、水の流れを弱めたり、濁水中の土粒子を捕捉し、赤土等の流出を防ぐ方法のこと。

「次世代」のために▶総合計画実現に向けて



「施策
38」

連携する総合計画推進

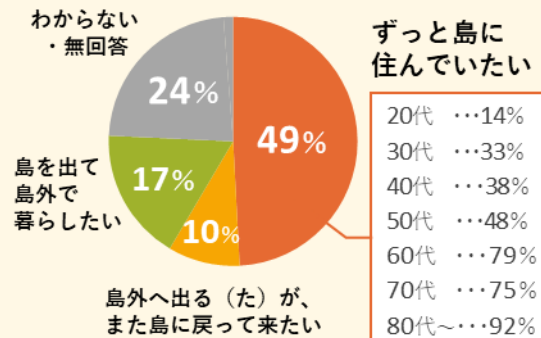


現状と課題

協働による計画づくり

- ◆役場職員全員が連携し、総合計画の掲げた目標の実現に向けて取り組んでいく必要があります。
- ◆総合計画の内容を周知し、町民、事業者、関係機関が連動した島づくりに取り組む必要があります。
- ◆適切な行政経営を推進するために、日頃から町民の声やニーズを把握し、総合計画や個別計画・事業等に反映する必要があります。
- ◆PDCAサイクルによる業務の改善に取り組んでいます。

今後の居住意向



資料：令和2年住民アンケート（n=482）

【地域団体と連携した総合計画推進イベント（第3回 夢まつり）】



第3回 夢まつりポスター



第3回 夢まつり：シンポジウムの様子

施策の展開

Free Space

住民満足度向上に向けて **企画**

- ◆町の振興や行政サービスの改善に向けて、役場職員の連携強化、町民との協働による総合計画の推進を図ります。
- ◆計画策定及び事業実施に当たっては、住民への広聴広報により、住民に寄り添う行政経営に努めます。
- ◆国連が掲げる持続可能な開発目標SDGsの達成に向けて、総合計画の中で一体的に推進します。
- ◆総合計画の着実な推進を図るため、Plan（計画）、Do（実行）、Check（検証）、Action（改善）を毎年度継続して実施するほか、目指そう指標に対する進捗状況や改善策などについては、ホームページや広報により、広く町民に周知していきます。

目指そう指標

島でのくらしの
幸福度
(住民アンケート)

基準値（令和２年）

83.7%

目標値（令和７年）

90%

本計画の各施策の
柱に掲げる
目指そう指標の
平均達成率

基準値

—

目標値（令和７年）

80%

※令和３年度より集計開始のため基準値の設定はありません。

keyword

PDCA サイクル

業務の計画（plan）を立て、業務を実行（do）し、実行した業務を評価（check）し、改善（act）が必要な部分はないか検討し、次の計画策定に役立てること。

「次世代」のために▶総合計画実現に向けて



「施策39」

住民にわかりやすく 効率的な行財政運営



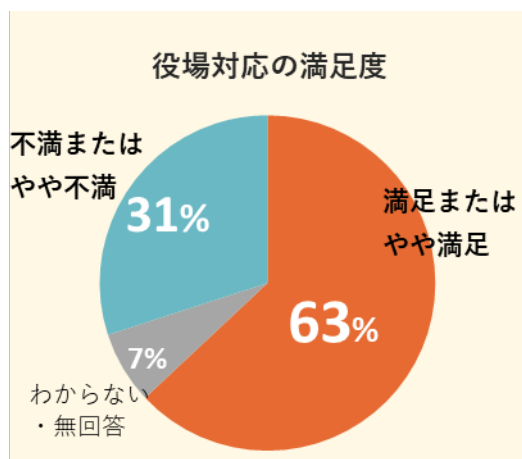
現状と課題

行政運営

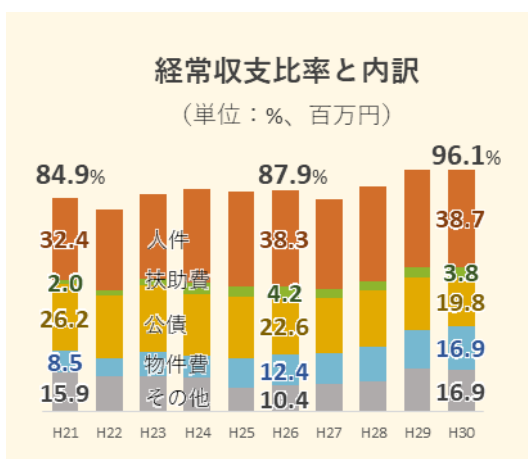
- ◆令和2年4月時点で、役場の一般行政職員は175名となっています。
- ◆町民への行政サービスの充実に取り組むとともに、質の高い窓口対応や効果的な事業の展開が求められます。
- ◆健全な行政運営に必要な自主財源の確保を推進するため、町税等の徴収率向上に取り組む必要があります。
- ◆高齢者の増加による社会保障費の増加や、老朽化したインフラ基盤の更新需要など本町をとりまく財政状況は一層厳しくなることが想定されます。
- ◆各公共施設の戦略的な施設経営を行うファシリティマネジメントを推進する必要があります。
- ◆沖縄県が策定する「新・沖縄振興計画（仮称）」に関連する補助金の有効活用を検討する必要があります。

業務効率化

- ◆戸籍・住民基本台帳事務、行政システムの安定的な稼働に努めています。
- ◆旧具志川村の地域住民を対象とした手続き等への負担軽減に努めています。
- ◆新しい生活様式への対応のため、リモートワーク等の環境整備に取り組んでいます。また、多様な行政サービス、手続きを維持するためには、さらなるデジタル化が必要です。



令和2年住民アンケート（n=482）



資料：沖縄県市町村概要

施策の展開

Free Space

職員業務の効率化 企画 税務

- ◆戸籍、住民票等に関する証明書発行業務、戸籍情報システムの安定稼働を維持しつつ、RPA、AI等のデジタル技術を活用することで職員の事務の効率化にも努めます。
- ◆町税や使用料等について、スマホ決済サービスなど時代に即した収納方法の検討及び導入を行い、徴収率の向上に努めます。

持続的な行政サービスの提供 企画 町民 総務

- ◆法定事務に遵守した登録・管理を行い、適切な対応に努めるとともに、住民サービス、満足度の向上を目指します。
- ◆大きな災害に備え、災害・復旧に強いシステムの構築に努めます。
- ◆久米島町自治基本条例の制定に向けた検討を進めます。
- ◆持続可能で、安定的な財政基盤の維持・推進に努めます。また、統一的な基準による財務書類を作成し、住民へ分かりやすく、見やすい決算の公表に努めます。
- ◆町有地の適正管理を行い、産業などへの利活用を推進します。
- ◆ファシリティマネジメント計画のもと、公共施設の適切な配置を図ります。

目指そう指標

行政サービスの
満足度
(住民アンケート)

基準値（令和2年）

62.4%

目標値（令和7年）

80%

町税徴収率

基準値（令和元年）

96%

目標値（令和7年）

97.2%

≡ keyword ≡

ファシリティマネジメント
企業内の設備・資源や空間などを、最も合理的、かつ効率的に管理し運用するための経営手法のこと。

RPA

ロボティックプロセスオートメーションの略。人工知能を備えたソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。

AI（人工知能）

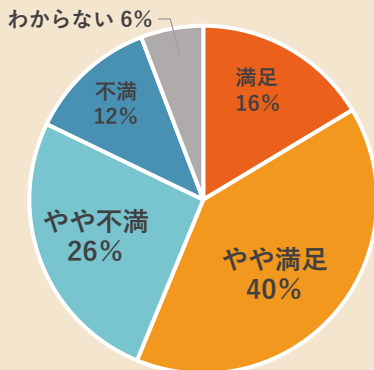
コンピューターで、記憶・推論・判断・学習など、人間の知的機能を代行できるようにモデル化されたソフトウェア・システムのこと。



住民アンケート結果⑦

—— 次世代のために 編 ——

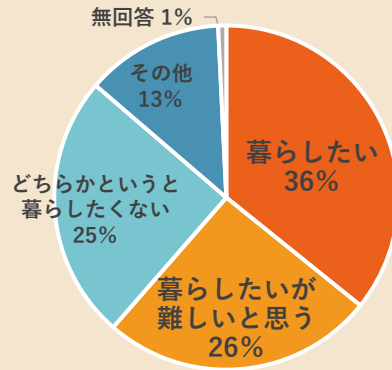
Q. 久米島町の自然や文化は大切に
されていると思いますか？



- 1位：やや満足 40%
- 2位：やや不満 26%

【中高生へのアンケート】

Q. 将来、久米島で暮らしたいですか？



- 1位：暮らしたい 36%
- 2位：暮らしたいが難しいと思う 26%

自然や文化について、「満足」および「やや満足」の合計が半数を超えているものの、満足度は高くはない結果となりました。理由をみると、ごみのポイ捨てが見られるという意見が多く、島の資源である自然環境への意識を高める必要があります。その一方で、島の資源を活かした事業展開や可能性を感じているという前向きな意見も多数みられ、島の発展のためにも地域の魅力を伸ばす取組が必要です。

また、中高生の将来における島での居住意向については「暮らしたい」が最も多いものの「暮らしたいが難しいと思う」の回答も多く、働く場が少ないことが要因の一つになっているようです。そのため、中高生が思い描く将来の夢が実現できる基盤づくりが必要です。

みなさんの声



- いろいろな可能性や資源があり、事業展開を考えるのが楽しい。(30代女性)
- 島の人々が作っている物を島で消費できるような、持続可能な島になってほしい。(60代男性)
- 自然は多いが、ごみのポイ捨てが多く自然が守られていない。(70代男性)

計画づくりの一幕



フォトギャラリー

職員ワーキンググループ（球美トーク）

将来の行政運営を担う若手職員で、これからの島について話し合う『球美トーク』を3度にわたって開催し、町民のための新たな施策づくりに取り組みました。



島づくりの目標

島を訪れる・ 島に帰る 人たちへ

久米島らしさの醸成

施策40 久米島らしいライフスタイル・
ブランドの確立

情報発信力の強化

施策41 情報発信力の強化

交流人口・移住定住人口の増大

施策42 交流文化の推進

施策43 観光の振興

施策44 移住定住促進体制の充実



島を訪れる、島に帰る人たちに▶久米島らしさの醸成



「施策40」

久米島らしい ライフスタイル・ブランドの確立

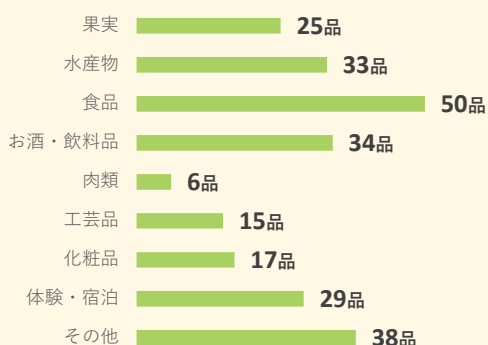


現状と課題

久米島ブランド

- ◆久米島紬や泡盛、車エビ、モズク、海洋深層水関連商品など、たくさんの特産品があり、久米島ブランドとして全国に発信されています。
- ◆豊かな海域環境で行われるダイビングや釣り、はての浜やイービーチでのレクリエーションは、久米島らしいライフスタイル、観光ブランドとして認識することができます。
- ◆それぞれのイメージを持つ製品・サービスが、一貫された「久米島らしいブランド」として広く認識されるよう、分野を超えた連携が望まれています。

ふるさと納税返礼品種別数



資料：企画財政課資料

久米島らしい景観

- ◆景観重点地区において、琉球赤瓦を活用する際の一部助成を行っています。
- ◆良好な景観を有する地域また集落においては、重点的な景観づくりを推進します。
- ◆久米島らしい景観づくりについては、地域と行政の連携による景観形成、美化活動が必要となります。
- ◆子や孫世代、さらにその先の世代へ素晴らしい久米島の景観を継承するために、持続可能なライフスタイル・ビジネスモデルの検討が必要となります。



赤瓦葺き替えに対する助成事業

久米島らしい結婚披露宴

- ◆島内で結婚披露宴を行う際の助成を行っていますが、助成件数は年々減少しています。



久米島町結婚披露宴助成金（PR写真）

施策の展開

Free Space

久米島ブランドの確立 商観

- ◆特産品等のイメージや安全性などの評価水準の向上により、付加価値を高め、全国への販路拡大を推進します。
- ◆官民の連携の下、「久米島らしいブランド」の定義の検討及び新商品の創出に取り組みます。
- ◆久米島ファンを増やすために、HP・SNS等を用いて情報発信を行い、久米島ファンクラブ等の交流人口の増加に努めます。

久米島らしい景観づくりへの支援 建設

- ◆景観計画の取り組みの周知を強化するとともに、準景観地区指定等についても検討に努めます。
- ◆伝統的景観を有する集落や賑わいを創出する商店街など、久米島らしい景観を有する場所について、重点的な景観形成を推進します。
- ◆住民が主体となる景観づくり及び美化活動への支援制度の確立を図ります。

結婚しやすい、したくなる島づくり 町民

- ◆結婚披露宴に対する助成の広報を強化するとともに、助成金額、支給条件の見直しに努めます。
- ◆久米島において結婚披露宴を行わない要因を分析し、課題の把握に努めます。
- ◆結婚新生活支援金に対する広報を強化し、結婚しやすい環境づくりに努めます。

目指そう指標

ふるさと納税

基準値（令和2年）

寄附額 138 百万円

件数 7,181 件

目標値（令和7年）

200 百万円

10,870 件

物産展等販売額

基準値（令和元年）

24 百万円

目標値（令和7年）

27 百万円

≡ keyword ≡

準景観地区

市町村が、良好な景観の保全を図るため、景観法の規定に基づき指定した地区。

準景観地区では、市町村の条例により、建築物の形態意匠、建築物の高さ、壁面の位置、建築物の敷地面積の制限を定めることができる。

島を訪れる、島に帰る人たちに▶情報発信力の強化



「
施策
41
」

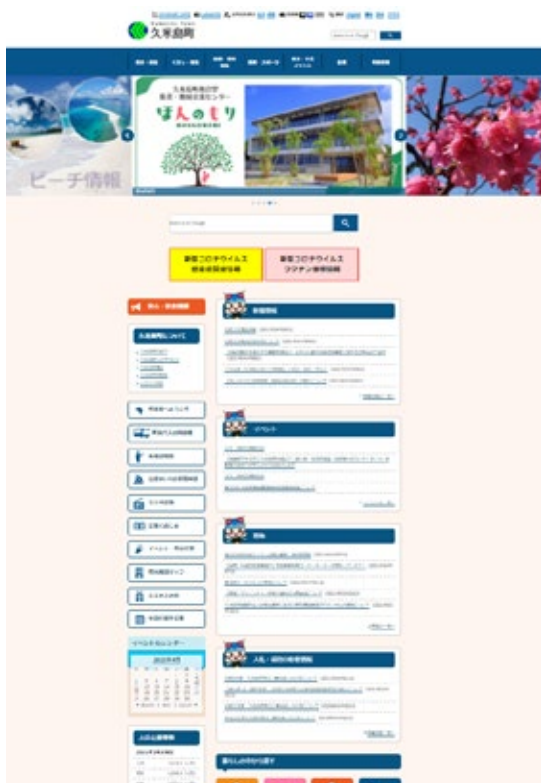
情報発信力の強化



現状と課題

情報発信方法

- ◆町の取り組みやまちづくり計画、財政情報などを公表し、透明性の高い行政経営が求められます。
- ◆ホームページや広報誌、ラジオ、SNS、防災無線を活用し、町政情報や地域情報の発信に取り組んでいます。
- ◆ホームページは、より早く町政の最新情報を発信しています。
- ◆FM くめじまの難聴地域の解消が課題となっています。



資料：久米島町ホームページ



資料：久米島町公式 LINE（案内チラシ）

施策の展開

Free Space

行政情報システムの充実 **総務**

- ◆透明性の高い町政情報の発信、ホームページの情報更新に努めます。
- ◆FM くめじまと連携して積極的に町の情報発信に努めます。
- ◆必要な情報を必要な人へ、必要な時に届ける仕組みを検討します。

情報化社会に対応する島づくり **総務** **商観** **プロ**

- ◆防災無線の日常管理及びメンテナンスを徹底します。
- ◆引き続き、FM くめじまの難聴地域の解消に努めます。
- ◆テレビのデータ放送を活用し、町民への情報発信に努めます。
- ◆SNS を活用した情報発信が好評であり、行政のデジタル化と併せて、効率的・効果的な運用に努めます。
- ◆台風や万が一の自然災害に備え、情報の収集・発信に関する防災訓練に取り組みます。
- ◆防災・観光・教育の観点から必要箇所への Wi-Fi の整備や情報化社会に対応するインフラの整備に努めます。

目指そう指標

久米島町
ホームページ
アクセス数

基準値

—

目標値（令和 7 年）

182,830 件

※令和 3 年度より集計開始のため基準値の設定はありません。

久米島町
公式LINE
登録者数

基準値（令和 2 年）

1,192 人

目標値（令和 7 年）

1,430 人

≡ keyword ≡

SNS

ソーシャルネットワークサービスの略。個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。

島を訪れる、島に帰る人たちへ▶交流人口・移住定住人口の増大



「
施策
42
」

交流文化の推進



現状と課題

技術交流等

- ◆ハワイ郡コナと姉妹島を締結しており、海洋深層水を活用した相互の研究交流事業を行っています。
- ◆産業分野では、アジア諸国の外国人技能実習生の受け入れを行っています。

交流イベント

- ◆久米島まつりや久米島マラソンなどのイベントは、島民の交流のみならず、久米島出身者や久米島ファンが交流する本町の一大イベントとなっています。
- ◆子どもから高齢者まで多くの町民が参加できる祭りを開催することで町民の融和と連携に取り組んでいます。
- ◆全国各地において、久米島出身者やファンが集う郷友会、コミュニティが生まれており、定期的な集会やイベントが催されています。
- ◆平成 28 年から「世界の久米島ンチュ大会」を開催しており、継続して開催することを予定します。
- ◆平成 21 年から久米島町婦人会が主体となって、久米島と島外の人を結ぶ取り組みとして、久米島ファンクラブが立ち上げられました。ファンクラブ会員は特別住民票の発行や島内施設を島民料金で利用できます。



久米島まつり（令和元年）



世界の久米島ンチュ大会（平成 28 年）

- ◆新潟県十日町市と小学生同士の「なかさと交流」を行っています。
- ◆佐賀県佐賀市と中学生同士の「佐賀交流」を行っています。

施策の展開

Free Space

技術交流等事業の拡充 **産業** **プロ**

- ◆海洋深層水事業は、交流研究を促進するとともに、官民学が連携した産業展開及び技術研究・開発を推進します。
- ◆大学や研究機関と連携し、久米島での技術研究及び開発に資する施設の導入・誘致に関する可能性調査を検討します。
- ◆関係団体と連携を図り、外国人技能実習生の受け入れ先を増やしながら円滑な事業実施を図ります。
- ◆地域特性を活かした産業と人材の育成につながる技術交流を推進します。

交流人口の拡大 **総務**

- ◆交流機会の創出に資するイベントの継続的な開催を推進します。
- ◆久米島出身者ネットワークを活かした産業と人材の育成につながる交流を推進し、様々なイベントに参加する町民の増加を目指します。
- ◆久米島ファンクラブの取り組みは、関係人口の創出が図られることから、継続を支援します。
- ◆「なかさと交流」及び「佐賀交流」を継続して実施します。

目指そう指標

久米島まつり
来場者数

基準値（令和元年）

8,434 人

目標値（令和 7 年）

14,840 人

交流人口

基準値（令和元年）

107,424 人

目標値（令和 7 年）

124,410 人

≡ keyword ≡

世界の久米島ンチュ大会
2016年の第6回世界のウチナーンチュ大会にあわせて「第1回 世界の久米島ンチュ大会」を開催。国内外で活躍する久米島関係者の絆を深め、久米島の活性化と相互の発展、未来に繋ぐネットワークの構築を目指す。

島を訪れる、島に帰る人たちへ▶交流人口・移住定住人口の増大



「施策43」

観光の振興



現状と課題

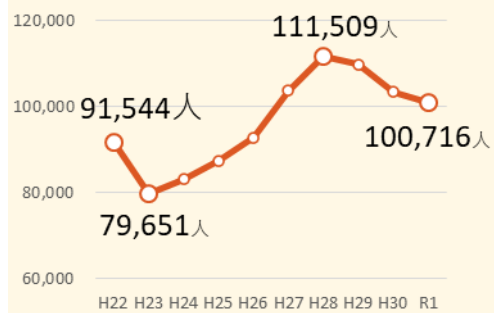
観光の受入体制

- ◆久米島のPRを目的として、観光大使に11名（令和3年4月現在）を任命しています。
- ◆久米島町観光協会が中心となり、旅プランや飲食・土産品、宿泊に関する情報発信、誘客イベントに取り組んでいます。
- ◆令和2年6月に久米島版DMO推進協議会が設立され、島民と多様な関係者が一丸となった「チーム久米島」を築き、久米島の地方創生を目指して活動しています。
- ◆行政と観光協会のみならず、横断的な各産業の連携による、戦略的な事業展開、効果的な観光振興に向けて、豊かな自然や食材、文化資源を活用した、さらなる観光開発が望まれます。
- ◆体験型・交流型観光を推進するため、民泊等の受け入れを担う組織の強化を図る必要があります。また、体験ガイドの高齢化に伴う新たな人材の確保や育成が課題となっています。
- ◆海洋深層水関連施設への視察者や研究生を受け入れるなど、産業分野を観光資源として活用しています。

観光環境

- ◆久米島への入域観光客は、約10万人前後で推移し、主に観光地巡りやマリンレジャーを目的とした観光が行われています。
- ◆沖縄県が実施した観光満足度調査における久米島の評価は、海の美しさ、景観の項目は高いものの、宿泊施設、食事、土産品の項目は低い状況となっています。
- ◆需要が高いマリンレジャーは、事業者における不法投棄船・長期駐艇船があるため、船舶管理の指導を行う必要があります。

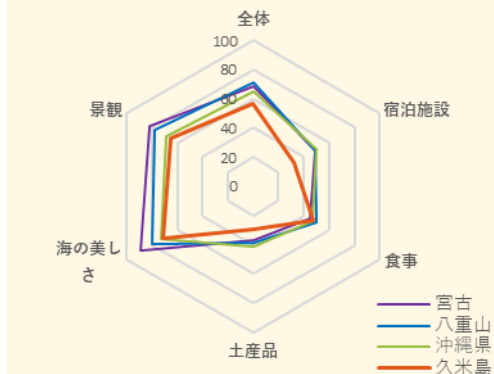
観光入域客数



資料：産業振興課集計資料（産業の概況）

観光客の満足度

（大変満足と答えた人の割合）



資料：令和元年度観光統計実態調査

施策の展開

Free Space

観光戦略の構築・推進 **商観** **プロ**

- ◆新規観光大使の申請手続きをスムーズに行うため、推薦人である久米島町観光協会との連携強化を図ります。
- ◆ワーキング会議や、推進会議の実施を継続的にを行い、観光振興計画に掲げる施策の推進を図ります。
- ◆久米島版 DMO 推進協議会と協働で、「観光まちづくり」を促進し、地域活性化による「島民」、「観光客」、「多様な関係者」の満足度の最大化を目指します。
- ◆行政、久米島町観光協会及び各産業が連携・連動できる体制の強化を図ります。
- ◆本町の自然環境、歴史文化、産業などの地域資源と人を活かした体験型・交流型観光の推進やインバウンド振興を含めた新たな誘客戦略の検討を進めます。
- ◆観光産業従事者の人材育成の研修を促進し、資質向上や新たな人材の確保にも繋がります。
- ◆海洋深層水関連施設を活用した産業視察・産業観光を推進します。

受入体制の充実 **プロ** **商観** **産業**

- ◆町内の通信環境の充実と強化を図り、ワーケーションに対応する環境整備を検討します。
- ◆観光客が訪れる施設や場所の維持管理や清掃を促進し、快適な観光環境を創出します。
- ◆入域観光客数の維持又は増加を図り、特に観光満足度向上に努めます。
- ◆町独自の観光満足度調査の実施により、観光客の満足度や需要を把握し、久米島観光の魅力の向上と、課題の解決に努めます。
- ◆不法投棄船・長期駐艇船への適切な行政指導を行うとともに、泊フィッシャリーナの適正な施設管理・使用を推進し、快適で賑わいのある観光振興に繋がります。

目指そう指標

久米島町
入域観光客数

基準値（令和元年）

100,716 人

目標値（令和 7 年）

138,000 人

≡ keyword ≡

マリンレジャー

海で行うレジャーの総称。ヨット・サーフィン・ダイビング・釣りなどがある。

インバウンド

主に日本の観光業界において、外国人の訪日旅行あるいは、訪日外国人旅行者という意味で使われる。

島を訪れる、島に帰る人たちに▶交流人口・移住定住人口の増大



「施策44」

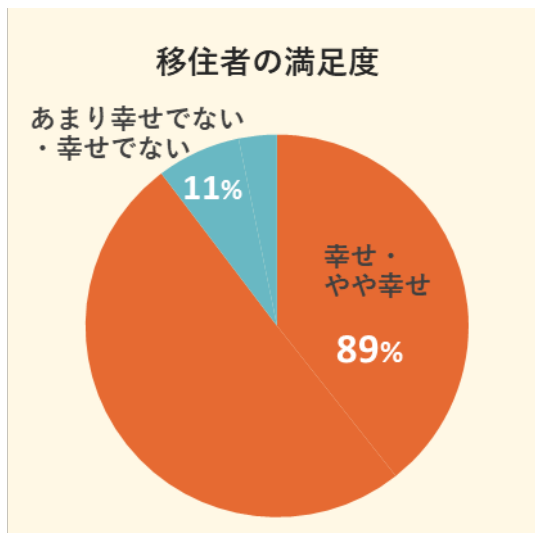
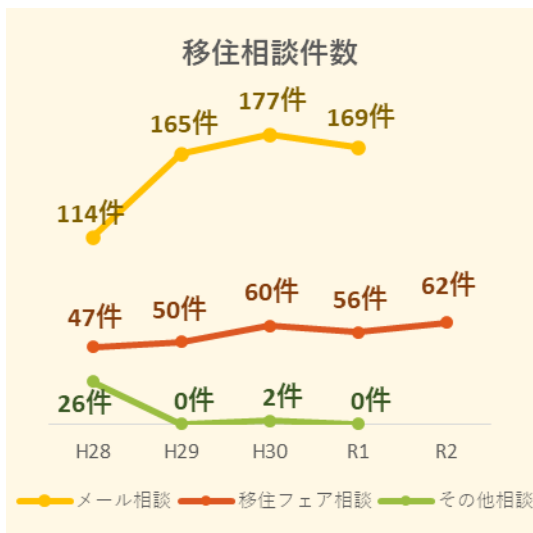
移住定住促進体制の充実



現状と課題

移住・定住受入れ体制

- ◆本町の人口は、毎年約100人ずつ減少しています。
- ◆人口減少に歯止めをかけるため、移住定住相談窓口である「島ぐらしコンシェルジュ」の発足をを行い、移住・定住の取り組みを推進しています。
- ◆島ぐらしコンシェルジュに相談を行い、移住してきた人数は発足時の平成28年5月から令和3年3月末までに135名（定住率約84%）となっています。
- ◆転入出アンケート、移住希望者登録時のアンケートにより、移住・定住を妨げる要因の分析を行っています。
- ◆移住・定住希望者からは、住む場所が見つからない、仕事が見つからない、地域に馴染めないといった課題が挙げられています。



施策の展開

Free Space

移住・定住促進 企画 商観

- ◆久米島へ移住・Uターンを検討している人を対象に仕事・暮らし・住まいの情報発信を推進します。
- ◆久米島町の認知度向上のため、久米島の魅力を各種メディア媒体で情報発信に努めます。
- ◆移住・定住促進に向けて「住宅不足」の解消に努めるとともに、「久米島町空き家等対策活用計画」に基づき空き家の利活用を推進します。
- ◆働く場所の確保・提供のため、民間企業と連携した求人情報の発信を行います。
- ◆島ぐらしコンシェルジュの体制強化を推進し、移住者が地域に馴染めるよう、サポート体制の構築を図ります。
- ◆県内外のイベントへ参加することで、本町のPRを行い関係人口・交流人口の拡大を図ります。

目指そう指標

町の支援による 移住者数（累計）

基準値（令和2年）

135 人

目標値（令和7年）

284 人

人口社会増減数

基準値（令和2年）

－ 42 人

目標値（令和7年）

－ 38 人

≡ keyword ≡

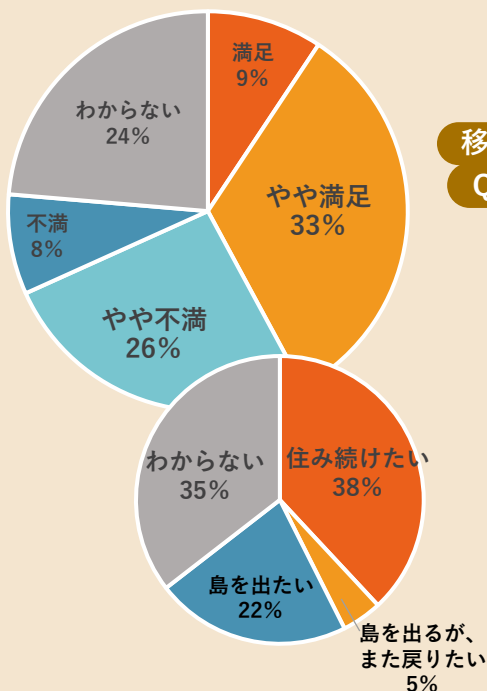
コンシェルジュ
フランス語でアパートの管理人を意味する。現在では、客の希望に応じてさまざまな提案や手配などをする総合世話係という意味合いで使われる。



住民アンケート結果⑧

—— 島を訪れる 島に帰る 人たちへ 編 ——

Q. 久米島町は移住者にとって住みよい環境だと思いますか？



● 1位：やや満足 33%

● 2位：やや不満 26%

移住者の方

Q. これからも島に住み続けたいと思いますか？

● 1位：住み続けたい 38%

● 2位：わからない 35%

移住者の環境について、「満足」および「やや満足」の合計が、4割と満足度があまり高くない結果となりました。

理由としては、住宅や雇用などに関する情報提供不足の意見がみられ、人口を減らさないためにも、移住や雇用に関する情報を入手しやすい提供方法の検討が求められています。さらに、移住者などが住み続けたいと感じる環境づくりが必要です。

また、島を訪れる人々に対して、観光の質を向上させるために、久米島高校への観光について学ぶことのできる学科の新設の意見もみられ、どのように人材を育てていくのかも課題です。

みなさんの声



- 住める家が少なく、選択肢があまりない。(30代男性)
- 人々は親切で住みやすいが、自分からコミュニティに入れずうまく馴染めない人もいる。(30代女性)
- 久米島高校に観光に特化した課をつくって卒業後に働ける環境を作ってはどうか。(60代女性)
- 町のホームページから情報が得づらい。知り合いがいないと聞くことも難しい。(20代女性)

計画づくりの一幕



フォトギャラリー

久米島町振興計画審議会・検討委員会

久米島町の施策づくりや考え方の方向性について、大学の教授などの学識経験者や町内の各種関係機関の役員、そして町の職員が集まり、よりよい計画とするために意見をもらいました。



目指そう指標一覧

各施策で整理した指標の他、一覧表とおり「目指そう指標」を設定します。

また、目標値設定の考え方は、「目標値の分類・水準」の通りです。

目標値の分類・水準

実績値の有無			実績値の県・全国との比較	目標値の水準	分類番号
町	県	全国	(減少を目指す指標は不等号を読み替える)		
○	○	○	町値 < 県値 < 全国値	県値（ただし、町値と県値の差が僅少である場合は全国値とすることもある）	1
○	○	○	町値 < 全国値 < 県値 全国値 < 町値 < 県値	県値	2
○	○	○	県値 < 町値 < 全国値	全国値（ただし、町値と全国値の差が僅少である場合は町の過去の実績を勘案して設定）※	3
○	○	○	全国値 < 県値 < 町値 県値 < 全国値 < 町値	町の過去の実績を勘案して設定（過去最高値とすることもある）※	4
○	○	×	町値 < 県値	県値	5
○	○	×	県値 < 町値	町の過去の実績を勘案して設定※	6
○	×	×	町独自調査等に基づく値 (アンケート以外)	町の過去の実績を勘案して設定（過去最高値とすることもある）※	7
○	×	×	町独自調査等に基づく値 (アンケート)	80%を下回る場合：80% 80%を上回り 90%を下回る場合：90% 90%を上回る場合：100%	8
×	○	○	県値 < 全国値、全国値 < 県値	県値	9
×	×	○	全国値	全国値	10

※増減率を用いる場合：直近の実績値に増減率を乗じて設定

増減率を用いない場合：平均実績値又は実績最高値に1.1（インセンティブ）を乗じて設定（平均実績値に平均増加ポイントを加算することもある）

目指そう指標一覧表

基準値及び目標値の年次は「年度」を基本としています。（H：平成、R：令和）

施策			目指そう指標	単位	基準値	目標値 (R7)	分類番号
生まれる	1	出産できる島の実現	合計特殊出生率	—	2.07 (H29)	2.31	4
			出生率	—	8.5 (R1)	11.2	2
			出生数	人	62 (R1)	85	7
			産前産後の満足度(住民アンケート)	%	18 (R2)	80	8
育つ	2	出産サポートの充実	周産期死亡率(出産千人当たり)	—	16.1 (R1)	3.3	2
			低体重児出生率	%	11.3 (R1)	9.4	3
			死産率(出産千人当たり)	—	60.6 (R1)	24.7	1
			待機児童数(4月1日時点)	人	10 (R2)	0	7
育つ	3	子育て支援体制の充実	子育てのしやすさ(住民アンケート)	%	75.1 (R2)	80	8
			ファミリーサポート利用件数	件	141 (R1)	160	7
			ファミリーサポート会員数(累計)	人	166 (R2)	190	7

施策			目指そう指標		単位	基準値	目標値 (R7)	分類番号
育つ	4	子どもの遊び場の充実	子どもの遊び場の満足度 (住民アンケート)		%	50 (R2)	80	8
	5	発達障がい児の支援充実	5歳児健診対象児童のうち、要フォローと診断された児童への支援率		%	100 (R2)	100	7
			保育所・園における保育の質の向上 (保育士研修参加者の割合)		%	－	90	7
	6	子ども健康プロジェクトの推進	糖尿病になる可能性があり生活の改善が必要な子 (インスリン量高値9以上) の割合	小学5年生	%	30.1 (R1)	27	7
				中学1年生	%	33.3 (R2)	30	7
			糖尿病予備軍(HbA1c(N) 高値5.5以上) に該当する生徒の割合 (高校1年生)		%	0 (R2)	0	7
学ぶ	7	幼児教育の充実	幼稚園就園率		%	100 (R2)	100	7
			幼児1人当たり図書貸出冊数		冊	－	30.5	10
	8	小中学校教育の充実	全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国との差	小学6年生	ポイント	+ 1.1 (H27～R1 平均)	+ 2 (R3～R7 平均)	6
				中学3年生	ポイント	-6 (H27～R1 平均)	± 0 (R3～R7 平均)	6
			「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	小学6年生	%	75 (R1)	84	1
				中学3年生	%	66.6 (R1)	78.8	1
			全国体力・運動能力、運動習慣等調査における平均点数の全国との差	小学生	ポイント	0.7 (R1)	2.9	7
				中学生	ポイント	-2.1 (R1)	1.3	7
			高等学校等進学率		%	97.2 (R1)	98.7	3
			英検3級以上相当の英語力を有する中学3年生の割合		%	22.4 (R2)	37.4	5
			学校施設耐震化率		%	71.8 (R2)	100	7
			就学援助率		%	22 (R2)	20.4	1
	9	高校教育の充実	久米島高校を受験した町内中学3年生の割合		%	84 (R2)	90.5	7
			久米島高校定員充足率	園芸科	%	50 (R2)	71	7
				普通科	%	55.8 (R2)	71	7
			英検準2級以上相当の英語力を有している高校3年生の割合		%	27.4 (R2)	38.2	5
			高校卒業後の進路決定率 (町内中学校出身者のみ)		%	92.7 (R1)	94.8	3
			大学等進学率 (町立中学校出身者のみ)		%	64.4 (R1)	72.8	4

施策			目指そう指標	単位	基準値	目標値 (R7)	分類 番号
学ぶ	10	文化・社会教育環境の充実	町が主催又は支援する文化関連イベントの参加人数	人	764 (R1)	840	7
			町が主催又は支援する社会教育関連イベントの参加人数	人	381 (R1)	510	7
			博物館入館者数	人	6,126 (R1)	6,950	7
	11	生涯学習体制の充実	町民1人当たり図書貸出冊数	冊	—	3.62	9
			図書館図書貸出冊数	冊	8,972 (R2)	48,730	7
			図書館利用者数	人	3,277 (R2)	8,980	7
			博物館入館者数	人	6,126 (R1)	6,950	7
			社会体育施設利用者数 (B & G プール、ホテルドーム)	人	27,670 (R1)	30,500	7
働く	12	連携する産業振興体制づくり	1人当たり町民所得	千円	2,360 (H29)	2,600	7
			町内総生産(実数)	億円	239 (H29)	264	7
			従事者数(全産業)	人	3,855 (H27)	4,240	7
			建設業町内総生産(実数)	百万円	2,836 (H29)	2,740	7
			仕事の満足度(やりがい・達成感) (住民アンケート)	%	72.8 (R2)	80	8
	13	くらしの立つ農業地域づくり	農業産出額	億円	32.2 (H30)	39	7
			農業町内総生産(実数)	百万円	1,555 (H29)	2,180	7
			耕作放棄地面積	ha	65 (H27)	55	7
	14	多面的な漁業の振興	水産業町内総生産(実数)	百万円	817 (H29)	900	7
			海面漁業漁獲量	t	602 (H30)	650	7
			海面養殖業収穫量	t	2,766 (H30)	3,380	7
	15	製造業の振興	製造業町内総生産(実数)	百万円	2,609 (H29)	3,076	7
			製造品出荷額等 (従業者4人以上の事業所)	万円	491,400 (H30)	526,850	7
			製造業事業所数 (従業者4人以上の事業所)	事業所	11 (R1)	15	7
			製造業従業者数 (従業者4人以上の事業所)	人	210 (R1)	230	7
	16	商業・サービス業の振興	卸売業・小売業町内総生産(実数)	百万円	1,199 (H29)	1,300	7
			宿泊・飲食サービス業総生産(実数)	百万円	1,295 (H29)	1,430	7
			不動産業総生産(実数)	百万円	1,906 (H29)	2,060	7
			専門・科学技術、業務支援サービス業総生産(実数)	百万円	848 (H29)	960	7
			商店街の空き店舗率	%	40 (R1)	10	2
	17	働きやすい職場環境の整備	就業率	%	93.3 (H27)	97.3	5
			女性就業率	%	93.6 (H27)	97.6	5
			完全失業率	%	6.7 (H27)	2.7	1
			雇用者報酬(市町村民所得・実数)	百万円	12,426 (H29)	13,670	7
			民間法人企業所得(市町村民所得・実数)	百万円	1,806 (H29)	2,030	7
			個人企業所得(市町村民所得・実数)	百万円	2,437 (H29)	2,920	7

施策			目指そう指標	単位	基準値	目標値 (R7)	分類番号
暮らす	18	交通の便利な島づくり	町営バス乗車人数	人	46,163 (R1)	58,000	7
			町営バスを通学に利用した生徒数	人	5,084 (R1)	7,730	7
			タクシー利用人員	千人	82 (H30)	96	7
			航空便を利用した町民の人数	人	80,197 (R1)	81,600	7
			フェリー乗船者数	人	46,743 (R1)	52,400	7
	19	安全な水の安定供給	水の安全度（水質基準項目達成率）	%	100 (R2)	100	7
			施設維持管理財源の確保（水道料金徴収率）	%	99.1 (R1)	100	7
	20	ゴミのない島づくり	一般廃棄物排出量（生活系＋事業系）	t	3,580 (R1)	3,325	7
			一般廃棄物1日1人当たり排出量	g/人・日	1,269 (R1)	1,071	7
			一般廃棄物資源化量	t	216 (R1)	333	7
			一般廃棄物資源化率	%	6 (R1)	10	7
			不法投棄件数	件	35 (R2)	15	7
	21	環境を守る下水道・し尿処理	水洗化率（公共下水道接続率）	%	64 (R2)	88.1	5
			下水道整備の計画面積整備率	%	77 (R2)	95	6
	22	安心して暮らせる島づくり	交通事故発生件数	件	3 (R1)	0	7
			人口1万人当たりの交通事故率	%	3.8 (R1)	0	7
			ハブ咬傷者数	人	1 (R2)	0	7
			ハブクラゲ刺症者数	人	0 (R2)	0	7
			狂犬病予防接種率	%	68.7 (R2)	80	3
	23	災害に強い島づくり	町防災訓練参加率	%	25 (R1)	32	7
			出火件数	件	7 (R2)	0	7
			り災世帯数	世帯	2 (R2)	0	7
			住宅用火災警報器設置率	%	67 (R2)	82.6	3
			消防吏員数に占める救急救命士数の割合	%	38.7 (R1)	40	7
			消防職員充足率	%	62 (R1)	78.3	7
			消防団員数（条例定数40名）	人	40 (R1)	40	7
	24	快適な住環境づくり	空き家バンクマッチング件数（累計）	件	10 (R2)	45	7
			商店街の空き店舗率	%	40 (R1)	9.8	2
			納骨堂収容数	基	1 (R2)	82	7
			子どもの遊び場の満足度（住民アンケート）[再掲]	%	50 (R2)	80	8
	25	島民の健康づくり推進	特定健診受診者におけるメタボリックシンドローム該当者の割合（国民健康保険ベース）	%	34.7 (R2)	15	1
			特定健診受診者におけるメタボリックシンドローム予備軍該当者の割合（国民健康保険ベース）	%	21 (R2)	11.9	1
			がん検診要精密検査対象者のうち未受診者又は受診状況の把握ができない者	人	44 (R2)	0	7

施策			目指そう指標		単位	基準値	目標値 (R7)	分類 番号
暮らす	26	スポーツ・レクリエーションの振興	ホテルドーム利用者数		人	25,755 (R1)	28,330	7
			パークゴルフ場利用者数(町民)		人	20,675 (R1)	28,380	7
			久米島マラソンエントリー数(町民)		人	522 (R1)	600	7
	27	福祉の充実	困窮世帯の割合(小中学生)		%	25.3 (H30)	13.5	1
			障がい者ヘルパー数(介護兼任者を 含む)		人	9 (R3)	10	7
			障がい福祉居宅介護サービス提供量		時間	1,574 (R2)	1,750	7
			がい福祉サービス利用者のうち島内 でサービスを利用する者の割合		%	60.9 (R2)	70	7
			認知症サポーター数(累計)		人	973 (R2)	1,070	7
	28	多様なニーズ に応えられる 町づくり	島での暮らしを幸せだと感じる人の 割合(住民アンケート)		%	84 (R2)	90	8
			20歳～39歳の女性人口		人	657 (R2)	725	7
			婚姻率(人口千人当たり)		—	4.5 (R1)	5.8	2
老いる	29	高齢者の生き がいある暮らし づくり	介護認定を受けていない高齢者の割 合		%	76.9 (R2)	81.8	5
			久米島町老人クラブ連合会加入会員 数		人	524 (R2)	660	7
	30	高齢者の健康 増進	平均寿命	男性	歳	80.3 (H27)	82.2	7
				女性	歳	86.9 (H27)	87.9	7
	31	高齢者が安心 して暮らせる 島づくり	地域サロン参加人数 (20 公民館等通いの場の提供)		人	2,400 (R1)	2,640	7
			チャーがんじゅー大学・体操教室参 加者数		人	4,989 (R1)	5,490	7
次世代	32	新しいビジネ スの創出	新規設立・設置法人数		法人	10 (R2)	15	7
			民営事業所数		事業所	651 (R1)	720	7
			従事者数(全産業)[再掲]		人	3,855 (H27)	4,240	7
	33	未来を見据え た人材育成	将来、久米島で暮らしたい中高生の 割合(中学生アンケート)		%	35.8 (R2)	80	8
			前村幸秀人材育成基金活用生徒数		人	50 (R2)	55	7
	34	伝統文化の継 承と文化遺産 の保護・活用	伝統行事開催件数	旧盆エイサー	字	8 (R1)	8	7
				ハーリー	字	3 (R2)	3	7
				沖縄角力	字	5 (R1)	5	7
			博物館入館者数[再掲]		人	6,126 (R1)	6,950	7
			文化財指定件数(町指定、県指定、 国指定)(累計)		件	70 (R2)	71	7
			工芸産業(久米島紬)従事者数		人	94 (H30)	114	7
			久米島紬後継者研修終了者数		人	5 (R2)	6	7
	35	食糧自給率の 向上	学校給食食賄材料に占める地元産物 の割合(費用ベース)		%	22 (R2)	26	7
	36	再生可能エネ ルギーによる エネルギー自 給率向上	再生可能エネルギー自給率		%	3.1 (H30)	14.1	7
			CO2 排出量削減率	一般	%	—	9.4	7
				公共・公用 施設	%	—	12	7

施策			目指そう指標	単位	基準値	目標値 (R7)	分類 番号
次世代	37	島の豊かな自然資源の保護・活用	天然記念物指定件数（町指定、県指定、国指定）（累計）	件	26 (R2)	26	7
			ウミガメ館入館者数	人	14,888 (R1)	17,330	7
			久米島ホテル館入館者数	人	6,454 (R1)	8,960	7
			自然や文化の満足度（住民アンケート）	%	56 (R2)	80	8
	38	連携する総合計画推進	島でのくらしの幸福度（住民アンケート）	%	83.7 (R2)	90	8
			本計画の各施策の柱に掲げる目指そう指標の平均達成率	%	—	80	7
	39	住民にわかりやすく効率的な行財政運営	行政サービスの満足度（住民アンケート）	%	62.4 (R2)	80	8
			実質公債費比率	%	6.2 (R1)	5.8	3
			財政力指数	—	0.20 (R1)	0.23	7
			経常収支比率	%	96.5 (R1)	87.5	2
			人１人当たり人件費・物件費等の決算額	千円	391 (H30)	340	7
			自主財源比率（歳入全体に占める自主的に収入できる財源の割合）	%	24.3 (R1)	34.9	5
			町民１人当たり税負担	千円	87 (H30)	99	5
			町税徴収率	%	96 (R1)	97.2	5
島を訪れる 島に帰る	40	久米島らしいライフスタイル・ブランドの確立	ふるさと納税寄附額	百万円	138 (R2)	200	7
			ふるさと納税寄附件数	件	7,181 (R2)	10,870	7
			物産展等販売額	百万円	24 (R1)	27	7
	41	情報発信力の強化	久米島町ホームページアクセス数	件	—	182,830	7
			久米島町公式 LINE 登録者数	人	1,192 (R2)	1,430	7
			観光協会ホームページアクセス（セッション）数	件	225,881 (R1)	312,340	7
			移住・定住サイトアクセス数	件	67,074 (R2)	108,020	7
			FM くめじまアクティブユーザー（ダウンロード）数	件	4,704 (R2)	5,180	7
	42	交流文化の推進	久米島まつり来場者数	人	8,434 (R1)	14,840	7
			交流人口	人	107,424 (R1)	124,410	7
	43	観光の振興	久米島町入域観光客数	人	100,716 (R1)	138,000	7
			観光収入	億円	72.8 (H29)	102.5	7
			沖縄県入域観光客数に占める久米島町入域観光客数の比率	%	1.06 (R1)	1.3	7
			久米島町入域観光客数のうち外国客	人	2,000 (H28)	2,200	7
			観光客１人当たり消費額	円	66,302 (H29)	74,279	7
			観光客の平均滞在日数	日	3.6 (H29)	3.96	7
			観光客の満足度（旅行全体）	%	58.9 (R1)	65	5
	44	移住定住促進体制の充実	町の支援による移住者数（累計）	人	135 (R2)	284	7
			人口社会増減数	人	-42 (R2)	-38	7



第 3 部

行 革 大 綱

— 行 財 政 經 營 —



行財政経営のこれからの取り組み

久米島町では、平成17年度から2次にわたる行政改革大綱「久米島町行政改革プラン」を策定し、行財政改革に取り組んできました。

これまでは、総合計画とは別に久米島町行政改革プランを策定し進めてきましたが、今回の改定分からは、実効性を一層高めるために、後期基本計画に行財政改革に関する方針等を盛り込み一体的に管理・運営します。

また、従来の「コストの削減」を主とした方針から、「町民サービスの質の向上」に注力する方針に方向転換を行い、業務全体の可視化を起点とした行財政の経営に努めます。

町民と共にすすめる持続可能な島づくり

社会情勢や人口構成の変化等に伴い、行政サービスに対する町民のニーズは一層多様化し、行政需要は増加の一途をたどっています。

今後も、人材や財源など限られた経営資源の下で、町民の求めるサービスに応えていくためには、町民との協働や簡素で効率的に機能する組織づくりなど、より質の高い効率的な行財政経営体制の構築が必要となります。

また、行財政の経営で最も重要となる「効率的かつ効果的」な財政の推進方針として、公共施設等の整備・更新に当たっては、将来の人口推計を踏まえた需要予測による整備後の活用方策、維持管理費の見通しについて必要な精査・検証を行った上で判断します。非施設系については、経営的な視点を取り入れ、計画的な執行管理と財務情報に関する説明責任の充実による業務全体の可視化に努めます。

上述を踏まえ、以下の4つの視点から、町民サービスの向上と健全な財政運営の確保を図り、将来に向けて持続可能な行財政経営を推進していきます。

《 行財政経営の4つの視点 》

町民のニーズに応えることができる組織づくりと職員の育成

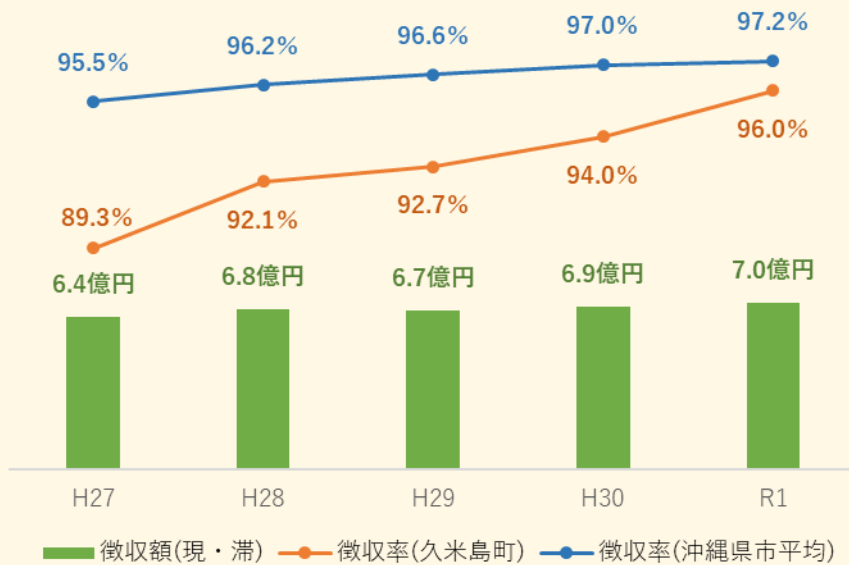
- 1 社会の変化に対応できる組織づくり及び人材の育成による町民サービスの向上
- 2 行政のデジタル化による町民サービスの向上

効率的で効果的な行財政経営を行う

- 3 持続可能な財政運営
- 4 公共施設マネジメント

町税の推移

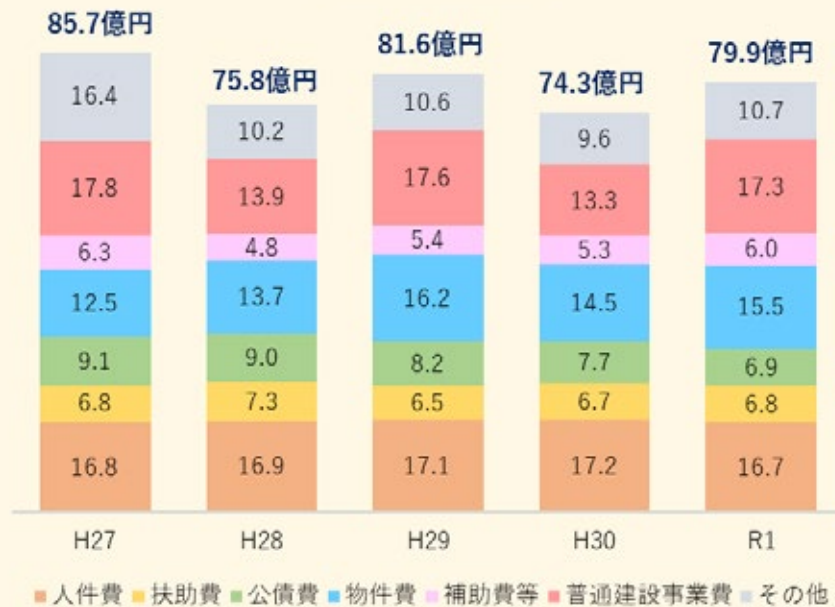
町税徴収額・徴収率（現年度分+滞納繰越分）



資料：沖縄県 _ 市町村税徴収実績

歳出状況

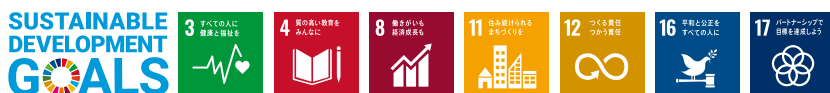
性質別歳出決算状況



資料：総務省 _ 地方財政状況調査 _ 決算状況調

町民のニーズに応えることができる組織づくりと職員の育成

1. 社会の変化に対応できる組織づくり及び人材の育成による町民サービスの向上



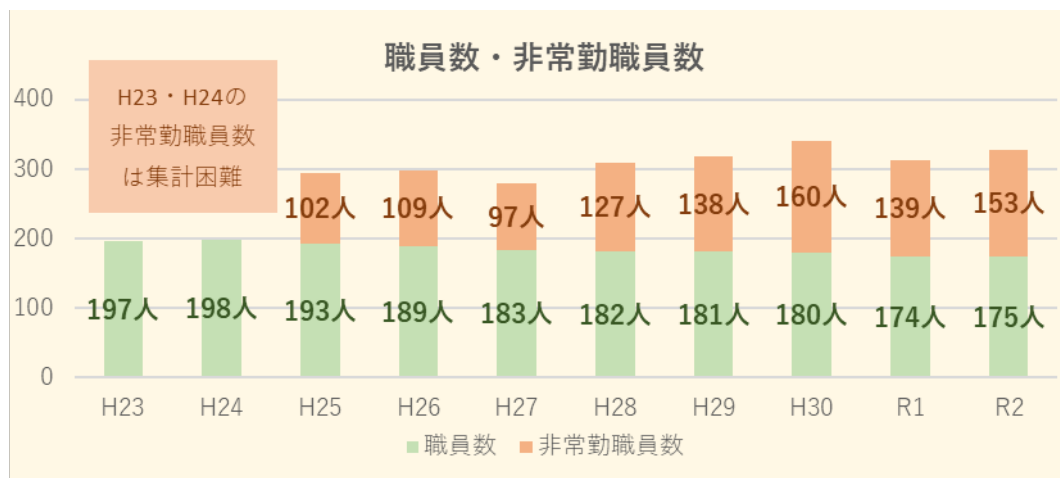
現状と課題

社会の変化に対応できる組織づくり

- ◆多様化・複雑化する町民ニーズへの対応や、法律や制度の改正、地方分権の推進に伴い役場の業務量は更に増加することが見込まれます。他方で、職員数の減少により職員一人当たりの負担が大きくなる中、長時間労働の是正に伴い高い生産性が求められています。
- ◆ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、長時間労働の是正や柔軟な働き方に対応できる組織への改編など働き方改革の取り組みが、全国の各自治体で進んでいます。本町の取り組みとしては、職員の生活状況や業務に応じた勤務が可能となる時差出勤制度を導入しました。
- ◆部分最適に陥らないよう、各課の取り組み状況を全庁的に共有する取り組み等を行っていく必要があります。

人材の育成

- ◆令和2年住民アンケートによると、行政に対する満足度が62.4%となっております。
- ◆町民の町政に対する理解と信頼を高めるためには、職員一人ひとりが行政のプロとして自覚と責任を持ち、自ら考え行動することが重要となります。
- ◆各分野における住民の目線に立った行政サービスの提供に向けて、継続的に業務の改善に取り組む必要があります。



資料：総務省「地方公共団体定員管理関係資料」

総務課資料「沖縄県調査」臨時・非常勤職員に関する調査

施策の展開

Free Space

組織づくり 総務 企画

- ◆増加する業務量に対応するため、事務事業の見直しを図るとともに、RPA等のデジタル技術の活用による業務の改善、業務量の軽減等を図ります。
- ◆新たな業務が生じる場合は、その事務量や運営方法等を十分精査した上で、必要な人員配置や定員管理に努めます。
- ◆役場の恒常的に生じる定型業務のマニュアル化をはじめ、施策・事業・町主催イベント等の見直しにも取り組むなど、町の振興を図る上で肝要な生産性の高い業務に職員が集中できる環境づくりに努めます。
- ◆テレワーク導入や管理職向けのマネジメントスキルに関する研修の実施など、職員のワーク・ライフ・バランス実現のため、個人の置かれた状況に合った働きやすい職場の環境づくりに努めます。また、時間の使い方の工夫・改善により長時間労働の是正に努めます。
- ◆業務内容やデータを共有するための仕組みづくり等により、業務の可視化を図り、質の高い行政サービスの創出につなげていきます。

人材の育成 総務 企画

- ◆町民の多様なニーズに的確に対応できるよう、「人材育成基本方針（仮称）」を策定の上、政策形成能力や必要とされるスキル・知識が高まる各種研修等を計画的に実施し、課題を解決する力と意欲を持った職員の育成に努めます。
- ◆町の施策や事業については、十分なデータの収集、分析、予測を行い、合理的な根拠に基づいて事業を推進する、EBPMに取り組み、より質の高い町民サービスの提供や費用対効果の向上に努めます。
- ◆役場の顔となる窓口サービスに関する研修を行い、窓口サービスの向上に努めます。

≡ keyword ≡

ワーク・ライフ・バランス
仕事と生活の調和。やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方のこと。

部分最適

全体の中で、一部だけが最適な状態になること。全体最適の反対。

目指そう指標

超過勤務時間
職員一人あたり
(年間)

基準値（令和元年）

64 時間

目標値（令和 7 年）

57 時間

RPA

ロボティックプロセスオートメーションの略。人工知能を備えたソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。

年次有給休暇
消化率

基準値（令和元年）

37%

目標値（令和 7 年）

40%

EBPM（エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング）

政策等について、経験や勘、前例、慣習等に頼るのではなく、合理的な根拠を基に政策形成を行うこと。

町民のニーズに応えることができる組織づくりと職員の育成

2. 行政のデジタル化による町民サービスの向上



現状と課題

行政のデジタル化

- ◆マイナンバー制度を利用した各種証明書のコンビニ等での交付サービスなど、ICT(情報通信技術)を活用した取り組みの余地がありますが、中枢をなすマイナンバーカードの普及率が全国と比較して低い水準にあります。
- ◆マイナポータル等を活用したオンラインでの新たな行政サービスについて検討が必要となります。
- ◆政府機関や企業のサーバー等への不正アクセスや情報漏えいが社会問題となっており、個人情報など機密性の高い情報の保護に必要な、情報セキュリティの強化が求められています。
- ◆スマートフォンの急速な普及など、情報通信分野の進展に伴い、様々な場面で決済手段としてキャッシュレス化が進んでいます。
- ◆少子高齢化が進行する本町では、行政経営、町民生活など様々な面で解決すべき課題が山積しています。この課題を解決する際にICT等を活用する際は、人を中心とした人に優しいテクノロジーを前提とする必要があります。
- ◆書面・押印・対面主義の見直し、情報のデジタル化による業務の効率化といった行政における業務改善の余地が存在しています。



久米島町公式ホームページ



久米島町公式LINE



広報くめじま電子版

施策の展開

Free Space

デジタル化の推進 町民 総務 税務 企画

- ◆マイナンバーカードの普及促進によるマイナポータルの活用をはじめ、ICT(情報通信技術)を駆使したインターネット上で利用できる行政サービスの導入に努めます。
- ◆オンラインの手続き等に不慣れな高齢者等への配慮など情報格差対策を図ります。
- ◆研修等による職員のデジタルリテラシー向上に努めつつ、情報セキュリティ対策に万全を期し、情報資産の保護を推進します。
- ◆使用料、手数料や税の支払いにおいて、電子マネーやクレジット等によるキャッシュレス化を推進します。
- ◆誰もが自分らしく生きられる共生社会の実現に向けて、既存の社会関係資本との必要な連携も図りつつ、地域の実情や課題に応じた人に優しいテクノロジーの活用を推進します。
- ◆行政が持つデータについて、国が示す推奨データセットに指定されたデータの公開を進めるなど、オープンデータの推進に努めます。
- ◆書面・押印・対面主義の見直し、デジタル化等による業務効率化に努めます。

業務の効率化 総務 企画

- ◆デジタルトランスフォーメーション(DX)を全庁的な取り組みとして計画的に推進するため、大局的な視点から各課の取り組みを有機的に連携させる組織づくりと推進計画(方針又はアクションプラン等)の策定に努めます。
- ◆ICT関連技術導入前の、各課の業務量や業務フローを把握した上で、デジタル化を行うことで、慣習等による事務形態を改善するとともに、職員を定型的な業務から解放し、思考的な業務に注力できるよう努めます。

keyword

キャッシュレス
現金ではなく、クレジット・電子マネーなどを利用して支払いや受け取りを行うこと。

テクノロジー
科学技術。科学的知識等を応用する方法のこと。

デジタルリテラシー
デジタル技術を十分に使いこなせる能力。

共生社会
誰もが生き生きと人生を送ることができる社会・さまざまな人々の能力が発揮されている社会のこと。

社会関係資本
社会や地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念のこと。

オープンデータ
インターネットなどを通じて誰でも自由に入手し、利用・再配布できるデータの総称のこと。

デジタル・トランスフォーメーション(DX)
ICT(情報通信技術)が社会のあらゆる領域に浸透することによってもたらされる変革のこと。

目指そう指標

マイナンバー
カード
の普及率

基準値(令和2年)

14%

目標値(令和7年)

100%

電子決裁率

基準値(令和2年)

—

目標値(令和7年)

50%

※令和3年度より集計開始のため基準値の設定はありません。

3. 持続可能な財政運営



現状と課題

財政の運営

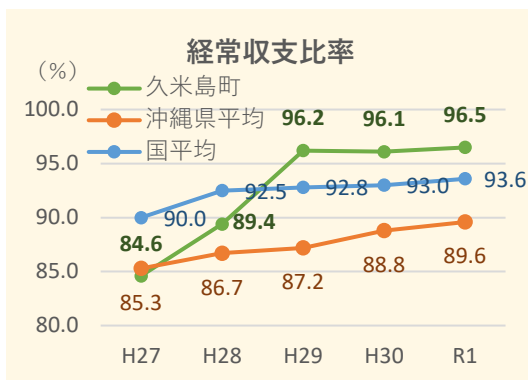
◆本町の平成27年度と令和元年度の決算を比較すると、歳入の根幹である町税収納額は約6千万円増加しています。他方、歳出では物件費のうち、委託料が約2.8億円と大きく増加したものの、公債費を2.1億円抑制したこと収支の均衡を保っています。

◆全国における各自治体の財政状況を判断する本町の経常収支比率96.5%（令和元年度決算）は、沖縄県内41市町村中39位となっており、財政の硬直化が進み、弾力性の乏しい財政状況にあります。

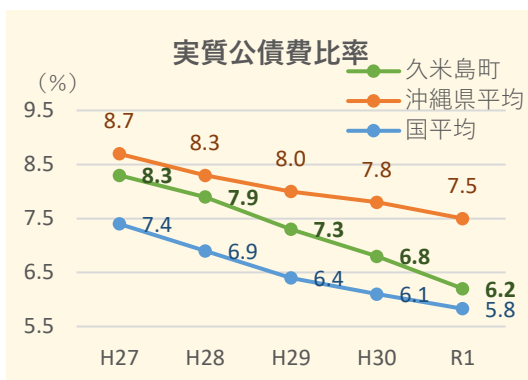
◆厳しい財政状況の中、一層特色のある島を実現するためには、総花的な施策ではなく、選択と集中の考え方の下、戦略的に経営資源（ヒト・モノ・カネ）を投入する必要があります。

◆本町の各公共施設は、老朽化が著しい状態となっています。特に喫緊の課題である学校教育施設に、耐震補強や長寿命化を施す必要がありますが、多額の費用を要することになり、将来的な負担の増加が懸念されます。

◆今後予定されている大規模な公共施設の整備費用に充てる起債（借入金）の返済が将来の公債費を押し上げることが想定される一方、人口減少や少子高齢化等の深化を背景に、税収の減少と社会保障関連費用の増加が見込まれることから、深刻な財政難に陥ることが予想されます。



資料：総務省「地方財政状況調査」決算状況調



資料：総務省「地方財政状況調査」決算状況調

収納強化・自主財源の確保

◆令和元年度における町税収納額は約7億円、収納率は96.0%となっています。今後も持続可能な財政運営を行うために、高い収納率を維持しつつ、歳入の維持又は増加を図る必要があります。

施策の展開

Free Space

財政運営 企画

- ◆予算編成については、前例・横並び主義からの脱却を前提に費用対効果を不断に検証し、施策の方向性を明確にした上で、真に必要な取り組みに柔軟かつ重点的に経営資源（ヒト・モノ・カネ）を投下する仕組みを構築することで、実効性を一層高めつつ、不要不急な経費等の削減に努め、経常収支比率の改善や弾力性のある財政運営に努めます。
- ◆喫緊の課題である学校教育施設全般について、今後の施設の在り方を十分に検討した上で耐震補強や長寿命化等を推進します。
- ◆実質公債費比率は、比率を下げることにのみに依拠せず、財政の悪化を早期に発見し未然に対策を講ずることに注力する他、交付税措置（補填）のある有利な起債（借入金）の選択など財政負担の軽減に努めます。

収納強化・自主財源の確保 税務 総務 企画 福祉 水道

- ◆税及び税外債権の収納率を向上させるとともに、使用料等の受益者負担の適正化、未利用地の売却や有効活用の推進など、積極的に自主財源の確保を図ります。
- ◆徴収や滞納整理に関する高い知識を有する人材の育成のため、職員研修の充実強化に努めます。
- ◆ふるさと納税への取り組みをより一層強化し、返礼品等による地産外消の相乗効果として、販路拡大と久米島町の知名度アップに努めます。

目指そう指標

≡ keyword ≡

経常収支比率

基準値（令和元年）
96.5%

目標値（令和7年）

87.5%

実質公債費比率

基準値（令和元年）
6.2%

目標値（令和7年）

5.8%

公債費

地方公共団体が発行した地方債（借入）の元利償還等に要する経費のこと。

経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源が、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に、どの程度使われているかという割合のこと。

実質公債費比率

地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率のこと。

4. 公共施設マネジメント



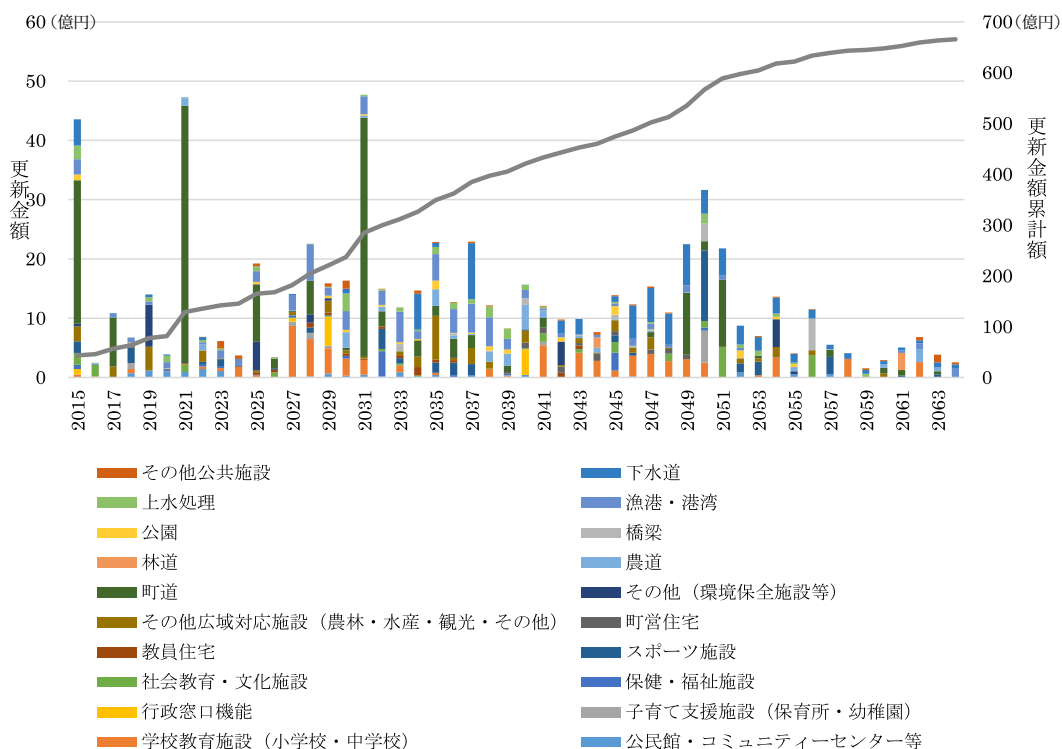
現状と課題

公共施設等の老朽化

- ◆過去に整備された公共建築物、各種インフラ資産の供用開始から一定の期間が経過し、老朽化が進んでいます。
- ◆施設等を適切なタイミングで改修・更新（建替）を行うことは、町民の安全・安心な行政サービスを提供する上で重要な課題となります。

公共施設等整備に要する更新費用

- ◆公共建築物、インフラ資産を含めた公共施設全体の今後 50 年間（2015 年～ 2065 年）で要する更新費用（試算）は、総額約 666 億円、年間約 13 億円に上ります。これは、公共施設等を定期更新した試算であり、維持管理費を含めると、試算以上の維持管理コストが必要となります。



資料：久米島町公共施設等総合管理計画（公共建築物とインフラ資産の年度別更新金額）

施策の展開

Free Space

公共施設等の集約・複合化、整備・更新 **企画**

- ◆必要な施設の新設や既存施設の建替が必要となる場合、効率的な運営と利用者の利便性向上、財政負担の軽減等のために、全庁連携して類似の機能等を有する施設を集める「集約化」や、施設の余剰スペースに異なる用途の施設を同居させる「複合化」等に努めます。
- ◆施設等の整備・更新・大規模改修に当たっては、将来の人口推計を踏まえた需要予測による整備後の活用方策、維持管理費の見通しについて十分に精査・検証を行います。

公共施設等の長寿命化 **企画**

- ◆本来の耐用年数を超えて使用できるよう、長寿命化工事を行い、建替に要する工事費の縮減による、財政負担の軽減を図ります。

民間活力の導入推進 **企画**

- ◆公共施設等の余剰スペースの有効活用を図るため、行政財産の一部を民間事業者に貸し付け、民間事業者が施設を運営するなどといった、トライアルサウンディングを推進します。
- ◆整備・更新・大規模改修が必要とされた施設等については、民間事業者の経営ノウハウや技術的能力、資金等が活用できる PPP/PFI 手法の導入を検討し、低廉かつ質の高い公共サービスの向上に努めます。

≡ keyword ≡

目指そう指標

トライアルサウンディング
公共施設等の暫定利用を希望する民間事業者を募集し、一定期間、実際に使用してもらう制度のこと。

PPP

パブリック・プライベート・パートナーシップの略。公共サービスの民間開放。行政が民間の事業者と協力し、公共サービスのうち民間でできる事業はできるだけ民間に委ねようとする枠組み。公民連携のこと。

PFI

プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略。民間資金を活用した公共施設整備。公共事業・公共工事に民間の資金やノウハウを導入し、経費の節減やよりよい公共サービスの提供を図る手法のこと。

公共施設等
延床面積

基準値（令和 2 年）

9.5 万㎡

目標値（令和 7 年）

9.4 万㎡

PPP/PFI 等、
民間活力を
新規に活用した施
設・エリア数

基準値（令和 2 年）

0 件

目標値（令和 7 年）

3 件

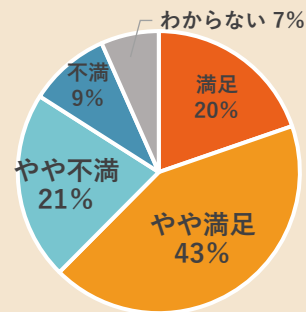


住民アンケート結果⑨

久米島町 行政サービス 編

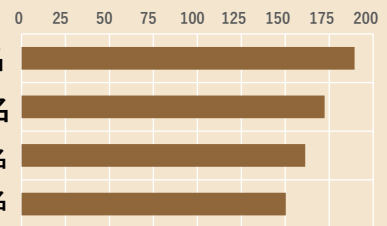
Q. 役場での手続きなど、
職員の対応についてどう感じますか？

- 1位：やや満足 43%
- 2位：やや不満 21%



Q. 久米島の人口減少に歯止めをかけるために重要な取組みは？

- 1位：島の資源を活用した新たな仕事づくり 189名
- 2位：通院など、医療保険体制の充実 172名
- ・労働環境や給与などの待遇改善 161名
- ・島外への移動における交通費負担軽減 150名



役場職員の対応については、「満足」および「やや満足」の合計が6割を超え、比較的満足度が高い結果となりました。

理由をみると、実際に丁寧に対応された経験のある意見が多くみられました。しかし、窓口での声掛けを望む意見や、デジタル化に対する要望も多くみられました。そのため、さらなるサービス向上が求められています。

総合計画では、人口8,500人を目標として掲げています。しかし、現在人口は減少傾向にあり、必要な取組みとして「島の資源を活用した新たな仕事づくり」「通院など、医療保険体制の充実」に対する意見が多くあがりました。夢つむぐ島の実現に向けて、行政と町民が一体となって島づくりに取り組んでいく必要があります。

みなさんの声



- 丁寧にわかりやすく案内して頂けるので助かっています。(30代女性)
- パソコンに向かっている職員が多く声をかけづらい。住民から声をかけてはじめて対応する場合があるので、声掛けがほしい。(60代女性)
- アナログが多いが、デジタル化してきているのでこれから期待する。(30代男性)
- 久米島の未来のために、まずは行政職員が同じ目標を持ち、固定概念を打破して、町民を引っ張ってくれる存在になってくれたら、すごく変わって魅力のある島になるのではないかと思います。(40代女性)
- アンケートにて満足・不満などを住民と共有し、大きな島改革をしてほしい。報告を楽しみにしています。(60代男性)



第 4 部

参考資料



SDGs 施策対応表

後期基本計画の44の施策及び行額大綱－行財政経営－に対応するSDGs（持続可能な開発目標）を次に整理します。



施策の柱		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
生まれる	1 出産できる島の実現	●		●	●	●			●		●						●	
	2 出産サポートの充実	●		●	●	●			●		●						●	
育つ	3 子育て支援体制の充実	●		●	●	●			●		●						●	
	4 子どもの遊び場の充実			●	●	●						●				●	●	
	5 発達障がい児の支援充実	●		●	●	●					●						●	
	6 子ども健康プロジェクトの推進	●		●	●	●											●	
学ぶ	7 幼児教育の充実	●		●	●	●					●						●	
	8 小中学校教育の充実	●		●	●	●	●				●						●	
	9 高校教育の充実	●		●	●	●					●						●	
	10 文化・社会教育環境の充実	●		●	●	●					●						●	
	11 生涯学習体制の充実	●		●	●	●					●						●	
働く	12 連携する産業振興体制づくり		●		●	●			●	●	●		●		●	●		●
	13 暮らしの立つ農業地域づくり		●		●	●			●	●	●		●		●	●		●
	14 多面的な漁業の振興		●		●	●			●	●	●		●		●			●
	15 製造業の振興		●		●	●			●	●	●		●		●			●
	16 商業・サービス業の振興		●		●	●			●	●	●		●		●			●
	17 働きやすい職場環境の整備		●		●	●			●	●	●		●		●			●

施策の柱		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
暮らす	18 交通の便利な島づくり			●								●		●				
	19 安全な水の安定供給			●			●							●	●	●		
	20 ゴミのない島づくり			●			●					●	●		●	●		
	21 環境を守る下水道・し尿処理			●			●					●	●		●	●		
	22 安心して暮らせる島づくり			●		●	●				●	●	●	●	●	●		
	23 災害に強い島づくり											●		●		●		
	24 快適な住環境づくり			●			●	●				●	●	●	●	●		
	25 島民の健康づくり推進	●		●	●						●							
	26 スポーツ・レクリエーションの振興	●		●	●						●							
	27 福祉の充実	●		●	●						●							●
	28 多様なニーズに応えられる町づくり			●										●			●	●
老いる	29 高齢者の生きがいある暮らしづくり	●		●	●						●						●	●
	30 高齢者の健康増進	●		●	●						●						●	
	31 高齢者が安心して暮らせる島づくり	●		●	●						●						●	
次世代	32 新しいビジネスの創出		●		●	●			●	●	●		●		●	●		●
	33 未来を見据えた人材育成		●		●	●			●	●	●						●	●
	34 伝統文化の継承と文化遺産の保護・活用				●	●			●			●	●			●	●	
	35 食糧自給率の向上	●	●										●	●	●			
	36 再生可能エネルギーによるエネルギー自給率向上						●	●				●	●	●	●	●		
	37 島の豊かな自然資源の保護・活用				●		●					●	●	●	●	●		
	38 連携する総合計画推進												●				●	●
島を訪れる 島に帰る	39 住民にわかりやすく効率的な行財政運営												●				●	●
	40 久米島らしいライフスタイル・ブランドの確立		●			●			●	●	●		●		●		●	
	41 情報発信力の強化					●					●							
	42 交流文化の推進					●									●			
	43 観光の振興		●			●			●	●	●	●	●		●	●	●	
	44 移住定住促進体制の充実								●	●	●	●						

行財政経営の4つの視点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
行革大綱 (行財政経営)	1 社会の変化に対応できる組織づくり及び人材の育成による町民サービスの向上			●	●				●			●	●				●	●
	2 行政のデジタル化による町民サービスの向上			●	●					●		●	●					
	3 持続可能な財政運営								●			●	●				●	●
	4 公共施設マネジメント											●	●					

久米島町振興計画審議会

所属	職名・経歴	委員氏名（敬称略）
沖縄国際大学	教授	前村 昌健
琉球大学	准教授	小島 肇
久米島町教育委員会	委員	儀間 啓子
久米島町農業委員会	委員	大城 将司
久米島商工会	会長	嘉手苺 一（第1回、第2回） 大道 敦（第3回）
久米島町観光協会	会長	比嘉 護
J Aおきなわ久米島支店	支店長	大田 喜信（第1回、第2回） 仲村渠 勝（第3回）
久米島漁業協同組合	代表理事組合長	田端 裕二
久米島紬事業協同組合	理事長	松元 徹
沖縄振興開発金融公庫	課長	池添 昭二
ドリー部チャレンジ	つなぐう代表	儀間 一美
産業振興課	課長	佐久田 等
商工観光課／出納室	室長	當間 直也
教育課／商工観光課	課長	濱元 尚哉
福祉課	課長	上原 あゆみ
議会事務局	事務局長	吉永 千枝美
町民課	課長	吉永 みゆき

○久米島町振興計画審議会規則（抜粋）

（趣旨）

第1条 この規則は、久米島町附属機関の設置に関する条例（平成14年久米島町条例第19号）第3条の規定に基づき、久米島町振興計画審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第2条 審議会は、町長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を調査し、審議する。

- (1) 総合計画策定に関する事項
- (2) 国土利用計画策定に関する事項
- (3) 景観計画策定に関する事項
- (4) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める事項

－ 以下省略 －

計画策定の経過

年	月	会議名等	内容
2020 (令和 2)	9	第 1 回 球美トーク (職員ワーキンググループ)	次の 5 年間に向けて、どのような計画づくりを進めていくか、若手職員で議論しました。
	10	町民アンケート調査	町民が日頃感じている、久米島での暮らしの満足度や役場に求めることを調査しました。
		学生アンケート調査	中学生・高校生が思い描く、将来の久米島、仕事、暮らしについて調査しました。
		経済団体ワークショップ (観光協会、漁協、商工会、紬組合)	産業分野の立場や視点から、島の現状や課題、将来の仕事や暮らしのあり方を議論しました。
	11	第 2 回 球美トーク (職員ワーキンググループ)	これまでの 10 年間を振り返り、これまでの成果や課題を共有し、次の 5 年・10 年の島づくりの方策を検討しました。
		経済団体ワークショップ (農協)	産業分野の立場や視点から、島の現状や課題、将来の仕事や暮らしのあり方を議論しました。
		第 1 回 久米島町振興計画審議会	前期基本計画及び総合戦略に関する評価と検証を行いました。
2021 (令和 3)	12	町民ワークショップ	「“稼げる島”になるために」をテーマに、産業活動の実態や課題、今後取り組むべきことを議論しました。
	2	第 3 回 球美トーク (職員ワーキンググループ)	次の 5 年間における「施策展開」と「目指そう指標」を検討しました。
	4	第 2 回 久米島町振興計画審議会	これまでの成果をとりまとめた後期基本計画（素案）を確認しました。
	6	第 3 回 久米島町振興計画審議会	後期基本計画の最終案を確認しました。



— 島人みんなで織り上げる未来 —

第1回

久米島の未来を考える若手検討組織

球美トーク

現行のまちづくりの指針となる、第2次久米島町総合計画が2021年より後期に差し掛かります。総合計画（後期基本計画）と総合戦略を一本化した新たな計画です。

久米島町の未来に向けて、どのような計画づくりを進めていくか、若手職員で熱く議論を交わしました。

2020.9.29(火) 18:00~20:00

参加者：21名(4グループ)



WORK: どんな総合計画・戦略を作りたいか考えよう!

各グループのワークシートをご紹介します!

若手が動く!
団塊世代は
サポートへ

幸福度調査

サルでも
わかる!?

行政の役割の
認識につなげる!

バイブルになる

ニーズをひろって
行政と住民をつなぐ

クイズで
楽しく!

手帳サイズで
持ち歩ける

あるものを
もっと活用!

インフラ整備より
メンテナンス

久米島の未来は
こう創ろう!

作りながら
成長できる

稼ぐ島

誘客になる
ビジネス

リターン

仕事の選択肢

50年先の島に
何を残すか

豊富なデータ
で久米島が
わかる!

子どもにも
わかりやすい!

教材として
つかえる

横幕で
情報発信

他人事 NG!

全島
イルミネーション

継続できる計画

「島全体で共有できるものにしたい」
「行政職員が活用しやすいものにしたい」という
想いが、それぞれのチームから出てきました。
その想いを実現するための、計画の表現方法や
島の重要課題に向けた施策などのアイデアも続々!

次回は…11月に開催予定!

夢つむぐ島 一島人みんなで織り上げる未来

経済団体 ワークショップ

開催報告

2020.10.26(月) 16:00~18:00

参加者 : 22名(住民・町役場職員)

参加団体: 久米島町観光協会、久米島漁業協同組合
久米島商工会、久米島紬事業協同組合
JAおきなわ久米島支店(後日個別開催)

現行のまちづくりの指針となる、第2次久米島町総合計画が2021年度より後期に差し掛かります。総合計画(後期基本計画)と総合戦略を一本化した、5ヶ年計画の策定に取り組んでいます。

今回は久米島町の産業分野を代表する皆さまと、それぞれの立場からみた島の現状や課題について、町役場職員も加わり、熱く議論を交わしました。各団体の皆さまから頂いた声を、新たな計画の具体的な方針や施策づくりに反映していきます!

久米島町観光協会



- ✓観光全般の満足度向上!
- ✓現状評価の共有と相談し合える関係性の構築
- ✓「久米島ならではの」をつくる

久米島商工会



- ✓島内の技術を高めて島に売上を!
- ✓都市とのネットワーク強化で情報収集・拡散
- ✓新たな視点も交えた商品開発をする

久米島漁業協同組合



- ✓深層水を活用して養殖の生産拡大
- ✓教育との連携で将来の担い手に繋げる!
- ✓環境保全や資源の管理

久米島紬事業協同組合



- ✓文化財として守る・産業として発展する
- ✓全てを作り上げる織子の気持ちも大切に
- ✓島民にもっと愛され、発信力も up!

町民ワークショップの開催について

町民皆さまを対象に、久米島町の目指すべき姿を考えるワークショップを開催します!どなたでもご参加いただけます。

ご来場お待ちしております!

日時:令和2年12月19日(土)午後2時~午後4時
場所:具志川農村環境改善センター 大ホール





— 島人みんなで織り上げる未来 —

久米島の未来を考える若手検討組織

第2回 球美トーク

2020.11.20(金) 15:30~17:30
参加者 : 15名(3グループ)

WORK: 久米島町のこれまでを総括! → 目指すべき未来とは

それぞれが移住・島に帰ってきた頃を思い出したり、時には懐かしみながら、様々な意見が出てきました!



老後も安心して島で暮らしたいね

生産者の働く環境は...

久米島の規模感を活かして、地域みんなで子育てできそう!

専門職の人材を島に呼び込めるような体制づくりも大事だね



島外からの移住者が増えたよね

お店も仕事も増えて来たけど減った・無くなったものもあるね



全体人口は減少しても子たくさんな島に!

水産物や久米島牛をブランド化したい!

人の力と機械をうまく併用できると仕事が多様化するね

若い女性が活躍できると子育て世帯に魅力的な島になるね

「働く拠点」の考え方が変化してきた! 2拠点居住もありでは...?

高校魅力化プロジェクトが始まったね

次回は1月に開催予定! 第1回の様子は、広報2020年11月号に掲載しています

経済団体ワークショップ

JAおきなわ久米島支店



先月号に掲載したワークショップの続編です! 11月25日に、JAさんと町役場職員で久米島町の現状や課題、今後の展望について語り合いました。

— 主な意見 —

- ✓ 島内でお金をまわす仕組みをつくる!
- ✓ 食育強化で子ども達の農業の関心UP
- ✓ 牛・らっきょう・甘しょ等の強みを伸ばす

久米島町振興計画審議会

当審議会は、学識経験者、地域の代表者、役場職員などで構成し、久米島町の大事な計画づくりについて審議する組織です。



第1回の審議事項
(11月25日開催)

- 前期基本計画の評価と検証
- 第1次総合戦略の評価と検証

— 主な意見 —

- ✓ 人口減少が進む中で、基本構想で掲げた目標人口8,500人をどのように考えるか?
- ✓ 次の5年間の施策で結果を残し、第3次総合計画で新たな目標人口を設定してはどうか?

夢つむぐ島 — 島人みんなで織り上げる未来 —

夢つむぐ島

島人みんなで語り合おう!

町民ワークショップ 開催報告

2020.12.19(土) 14:00~16:30
場所: 具志川農村環境改善センター

久米島町では、次年度に始まる第2次久米島町総合計画の後期基本計画と、総合戦略を一本化した新たな計画を策定中です。

「“稼げる島”になるために」をテーマに、久米島町の産業活動における実態や課題、今後取り組むべきことについて語り合いました!

今回は感染症の感染拡大防止の観点から、少人数でのワークショップとして開催いたしました。何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

Program

- 総合計画とは? 計画づくりの歩み
- 久米島町の人口・経済・産業の実態 = グループワーク
- アイスブレイク (自己紹介)
私は〇年前に移住or帰ってきました!
当時と現在の島の印象は...??
現在のお仕事は...
- テーマトーク
- 発表・まとめ

まずは島暮らしを振り返って...



team アダルト

これまで、島の産業の中核を担ってきた世代を中心に語り合いました。次の世代でさらなる盛り上がりを見せるためのカギとは何か、様々な意見が飛び交いました!



team ヤング

若手世代、子育て世代の目線で語り合いました。参加者には移住者も多く、久米島ならではの地域性についても話題が広がりました!



子ども達が夢を持って島に帰ってこれるようにしたい!

海洋深層水の可能性を大人達がもっと知るべき

若手が島に帰ってきて起業し始めている!



週6労働多い...?

挑戦や専門化
しづらい空気があるかも...?

部屋探しに移動手段の準備...
新生活のハードルを下げる
待遇があると助かる!

他業種見学で
情報交換

自然環境を守りながら
ビジネスにつなげたい

「今のままでいい」という意識をなくす

後継者育成に力を入れて世代交代!

やっぱり、気力と行動力は大事!



事業所間の連携で
輸送コスト減&新商品開発

久米島の強みを認識!
島の資源を活かした
事業を検討

人との結びつきが強いのは魅力的だけど、
競争原理が働きづらい...?

同じテーマながら、それぞれのチームで深まった話題の違いもあれば、共通して認識している課題もありました。発表では、互いに前のめりになり、最後まで白熱した時間となりました!

ビジネスコンテストで
競争心UPとかどう?

視点が全然違う!





—島人みんなで織り上げる未来—

学生
住民

アンケート結果のお知らせ

概要版

久米島町では、次年度に始まる第2次久米島町総合計画の後期基本計画と、まち・ひと・しごと総合戦略を一本化した新たな計画を策定中です。

昨年10月に実施したアンケート（住民意向調査）結果の中から、一部をご紹介します。

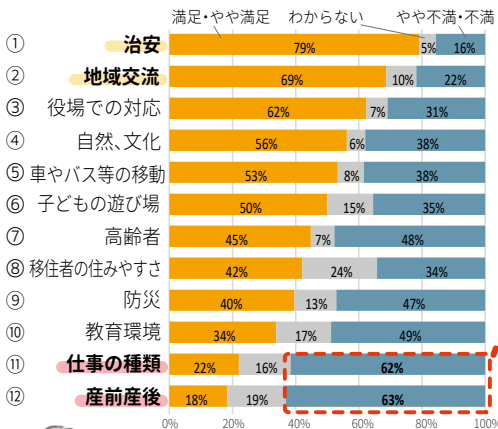
■実施期間： 住民）2020年10月1日～23日（世帯配布・WEB）
学生）各学校で10月中に実施

■対象： 住民）久米島町在住、または久米島町出身の方
学生）久米島町の全中学生、高校生

■回収方法 住民）郵送、WEBでの回収/482件（郵送：321件、WEB：161件）
/回収数： 学生）学校で回収/394件（中学生：200件、高校生：194件）

住民アンケート

島の暮らしの満足度について



満足の声

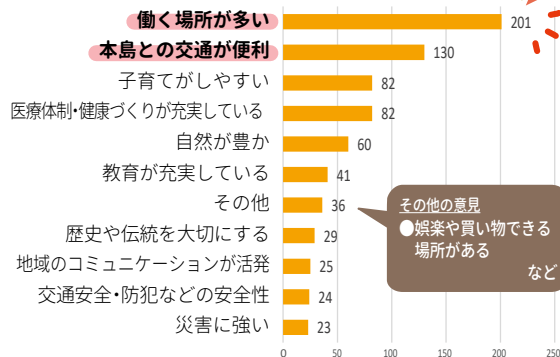
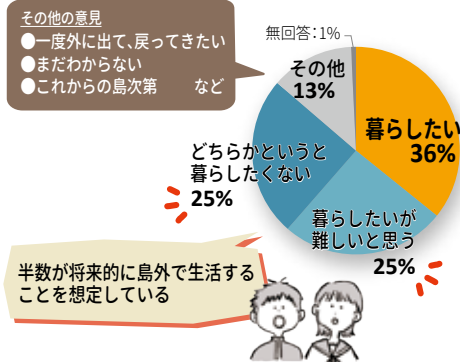
- ① 事件事故の話をあまり聞かない。顔見知りも多く、安心して暮らせる。
- ② 協力的・親切な人が多く、交流しやすい。程よい距離感。
- ③ 役場は、以前に比べて丁寧な対応をする人が多くなった。
- ⑤ 自家用車が必須だが、渋滞がなくて快適。
- ④⑥ 自然の中で遊べる場所が多く、子育て環境としてよい。
- ⑩ 高校魅力化プロジェクトの活動は良いと思う。
- ③ 担当者がいないと再度来庁しないといけなく…。複数で手続きが行えるようにしてほしい。
- ④ ゴミの投棄が多い。自然保全にもっと力を入れるべき。
- ⑧ 移住者の住む住宅の確保や、情報収集が難しい。
- ⑨ 津波などの災害発生時の避難場所や、流通がストップした際の備蓄が不安。防災情報が少なく、意識も低め。
- ⑩ 児童数が少なく、子ども同士が切磋琢磨し合える環境ではない。
- ⑪ 選択肢が限られ、条件に合う・やりたい仕事が見つけにくい。
- ⑫ 島内に産婦人科が無く、お産や不妊治療ができない。島外への通院は、金銭面や精神面、緊急時への不安が大きい。



不満の声

学生アンケート

将来の久米島での居住について/島で暮らすために重要なことについて



住民アンケートと同じように、仕事の選択肢が広がることが重要視されている！



一島人みんなて織り上げる未来

久米島の未来を考える若手検討組織

第3回 球美トーク

久米島町では、2021年に始まる第2次久米島町総合計画の後期基本計画と、総合戦略を一本化した新たな計画づくりに取り組んでいます。

今回は、職員研修の講師である浦野先生（あしコミュニティ研究所）もリモート参加で、若手職員の議論を見守りました。

2021.2.10(水) 14:00~16:30
参加者 : 15名(5グループ)



※ 目標達成指標とは？

総合戦略の役割で、目標を定量的にすることで、達成状況をよりわかりやすくするものです。

WORK: 次の5年における施策内容 & 目標達成指標は何で評価する？

グループごとに8つの島づくりの目標を分けて、その中でも重要だと考える施策内容（アイデア）を検討！その一部をご紹介します。

目標	「生まれる」世代のために	施策	出産でサポートの充実
施策の展開	出産休暇が取れず、仕事をやめなければならない。 仕事をやめずに出産できる環境を作るため、事業所等に働きかけていく。		
目標達成指標	出生数（年間100人を目標とする）		



Aグループ



Bグループ

目標	「学ぶ」世代のために	施策	幼児教育の充実
施策の展開	・ 幼児教育関係者（保育園の先生、各教育機関）の研修。 ・ 親の気づきにつなげるよう、参加しやすい勉強会の実施。 ・ 現場の声がきける環境づくり。（当事者目線の課題）		
目標達成指標	学力テスト県内順位	久米島高校進学者数	子育て世帯の移住者数

目標	「働く」世代のために	施策	連携する産業振興体制づくり
施策の展開	ワーキングホリデーや様々な体験（お試し農業や漁業）を通して、久米島への移住を推奨する。		
目標達成指標	島外からの新規就業者数	体験人数	



Cグループ



Dグループ

目標	「暮らす」すべての世代のために	施策	ゴミのない島づくり
施策の展開	・ 家庭ゴミ排出の削減を目指し、ごみの分別を細分化する。 ・ 町民へゴミ分別の啓発活動を推進する。 ・ 処理施設の環境を整える。		
目標達成指標	家庭ゴミ排出量	ゴミ分別に対する周知活動数	

目標	「島を訪れる」「島に帰る」人のために	施策	久米島らしいライフスタイルブランドの確立
施策の展開	・ 経済5団体と連携して、久米島らしい新商品の開発をする。 ・ 久米島ファンを増やすためにHP、SNS等の情報発信を強化する。 ・ 久米島ファンクラブ等の交流を増やす。		
目標達成指標	ふるさと納税の寄付額（魅力的な商品開発&久米島ファンの獲得）		



Eグループ

他にも施策(アイデア)がたくさん!

目標	施策
「生まれる」世代のために	出産できる島の実現
施策の展開	島外で出産しなければならない為、経済的・精神的不安が大きい。 負担の軽減策として、出産助成金を継続する。
目標達成指標	出産助成金により支援した人数

Aグループ

目標	施策
「老いる」世代のために 免許返納しても外出して欲しい世代	高齢者が安心して暮らせる島づくり
施策の展開	車の免許を返納したら移動が難しくなる。 →コミュニティバスの導入や町営バスのルートを見直して、 移動しやすくする。
目標達成指標	高齢者のバス利用満足度

目標	施策
「育つ」世代のために	子育て支援体制の充実(心に時間とゆとりを)
施策の展開	- 家庭環境によって子どもの可能性を無くさないよう、支援を充実する。 - 子育て教室の開催(基礎編、応用編)。 - 土日保育の実施。 - 子育て支援課の新設。
目標達成指標	支援満足度(目標100%!まずは60%以上)

Bグループ

目標	施策
「働く」世代のために	多面的な漁業の振興
施策の展開	漁業経営者の増加を図るために、担い手の育成・確保に取り組む。 短期雇用、お試しなど、新規就漁者が参入しやすい環境づくりなど。
目標達成指標	新規就漁(しゅうぎょう)者数 加工品の販売額

Cグループ

目標	施策
「暮らす」すべての世代のために	島民の健康づくり推進
施策の展開	- 特定検診受診率増加を目指し、受診勧奨!受信しやすい環境を整える。 - 町民が安心して生活できるよう、歯科医院や専門診療科を誘致する。
目標達成指標	健診受診率 歯科医院設置数 LHRカード所持者数

Dグループ

目標	施策
「次世代」のために	新しいビジネスの創出
施策の展開	- ビジネスコンテストの開催、事業所支援、エコシステムの確立。 - ワーケーション環境整備(構築)の支援と誘致。 - 深層水の取水量の増加。
目標達成指標	提案型新規ビジネスの公募 ワーケーション目的の入域者数 深層水を活用した新規事業数

Eグループ

第2次久米島町総合計画
後期基本計画・第2次久米島町総合戦略
2021 ▶ 2025

夢つむぐ島

島人みんなで織り上げる未来

発行年月 2021(令和3)年 6月
発行者 久米島町 企画財政課
〒901-3193
沖縄県島尻郡久米島町字比嘉 2870 番地
TEL (098) 985-7122
FAX (098) 985-7080



Kumejima Town

久米島町